

**群馬県児童生徒の食生活等実態調査
結果報告書**

平成31年3月

群馬県教育委員会

目次

I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象・抽出方法	1
3. 調査期間	2
4. 調査事項	2
5. 調査方法等	2
6. 調査の組織	2
7. 調査の秘密保持	3
8. 調査結果の公表	3

II. 食生活等の変化と食育の方向性

1. 食生活等の変化状況	4
(1) 食事はコミュニケーションの場	
①食事で気を付けていること（楽しく食べる）	6
②食事のあいさつ（「いただきます」「ごちそうさま」）	7
③共食の状況（朝食、夕食）	8
④食事の協同体験（テーブルの準備と後かたづけ）	10
⑤食事が楽しいと感じるとき （家族そろって食べる時、友達や地域のグループの仲間と食べる時）	12
⑥学校給食への思い （みんな（友達や先生）と一緒に食べられる、おいしい給食が食べられる）	13
(2) 食に関する知識・技能の習得と実践化	
①食育指導の状況	15
②食経験の広がり（給食では、家で食べられない料理が食べられる）	16
③食事で気を付けていること （3回の食事は必ず食べる、好ききらいをしない、栄養のバランスを 考えて食べる、塩からいものを食べすぎない）	17
④食品の主な働き（正答率）	19
⑤食品の生産地や旬（季節）への関心	20
⑥食品の栄養成分表示への関心	21
⑦好ききらいの有無	22
⑧きらいな食べ物への対応	23
⑨調理技能の習得（米飯を炊ける、みそ汁をつくれる）	24
⑩ダイエット経験	26
(3) 健康的な生活習慣の形成	
①朝食の摂取状況	27
②おやつの摂取状況	28
③夜食の摂取状況	29
④体育授業外での運動状況	30
⑤ふだんの就寝時刻	31
⑥睡眠で休養がとれているか	32

2. これからの本県の学校における食育のありかた	33
(1) 調査結果の概要	
①今回調査と前回調査の比較	33
(2) 調査結果からみた主な課題と本県の学校における食育の方向性	
①学校 ～教育活動全体を通じた食育の推進～	34
②家庭・地域 ～健康的な生活習慣の形成・心豊かな食生活の創造～	35
③食に関する指導体制の整備	36
【資料1】食に関する指導の方向性	37

Ⅲ. 調査結果（単純集計）

1. 食事状況	38
(1) 朝食	
①朝食の摂取状況	38
②朝食を食べない理由	39
③今朝の朝食で食べたもの	40
(2) 間食・夜食	
①おやつの摂取状況	41
②夜食の摂取状況	42
(3) 好ききらい	
①好ききらいの有無	43
②きれいな食べ物	44
③きれいな食べ物への対応	45
(4) 食事環境	
①共食状況（朝食・夕食）	46
②食事が楽しいとき	47
(5) 食事マナー	
①食事のあいさつ	48
②食事の手伝い（生活経験）	49
2. 休養、排便と運動	50
(1) 休養	
①ふだんの就寝時刻	50
②睡眠で休養がとれているか	51
(2) 排便の規則性	52
(3) 体育授業外での運動状況	53

3. 学校給食	54
(1) 学校給食への思い	54
4. 食に関する知識の実践化	55
(1) 食事で気をつけること	55
(2) 食に関する意識関心	
①食品の生産地や旬（季節）への関心	56
②食品の栄養成分表示への関心	57
③食品の主な働き	58
(3) 食育指導の状況	59
(4) 調理状況（米飯及びみそ汁の調理ができるか）	60
5. 体型	61
(1) 体型認識	61
(2) ダイエット経験	62

IV. 資料

1. 単純集計結果（調査票に添付）	63
-------------------	----

I . 調查概要

1. 調査目的

文部科学省が平成 29 年 3 月に告示した学習指導要領の総則においては、学校における食育の推進がこれまで以上に強調され、児童生徒の発達段階を考慮し、教育活動全体を通じて適切に行うものとされている。

本県では、平成 15 年に実施した「群馬県児童生徒の食生活等実態調査」より、食生活における「朝食欠食」「野菜嫌い」「不適切な間食摂取」等を提起し、「食に関する指導」の系統的推進を目的とした教師用手引き書「食を楽しみ健康になろう」を作成した。

また、平成 20 年度の同調査では、「調理に関する知識・技能の習得」を目指し、「作って食べよう！ぐんまの食育レシピ」を作成し、その後、学校、家庭、地域が連携を図りながら「食に関する指導」に取り組んできた。

本調査は、群馬の子どもたちが生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、児童生徒の食に関する状況を把握し、実態に即した指導を行うための資料を得るために実施するものである。

2. 調査対象・抽出方法

小学校 5 年生 981 人、中学校 2 年生 991 人を対象とし、県内の公立学校より抽出した調査対象校の児童生徒 1,972 人とした。抽出方法については、下記の通りである。

【抽出方法】

- ・抽出にあたっては、無作為抽出を原則とするが、県内で、教育事務所単位地域、性別に偏りがないように考慮した。
- ・調査対象は、抽出した調査対象学年（小学校 5 年生、中学校 2 年生）全児童生徒とした。
- ・群馬県年少人口（0～14 歳）の縮小版になるように、母集団を 1,000 人とする各市町村における年少人口を算出した。
- ・算出した年少人口をもとに、調査対象校を抽出する市町村及び調査人数を選定した。なお、抽出にあたっては、各市町村における年少人口をもとに、市部と郡部の対象者数の割合が概ね 5：1 になるように考慮した。
- ・抽出した該当市町村の調査対象である小学校 5 年生・中学校 2 年生の平成 30 年 5 月 1 日現在の児童数をもとに、調査対象校を抽出した。

3. 調査期間

平成 30 年 7 月に、対象校ごとに調査票の整理、回収等に留意して任意の調査実施日程を作成し行った。

4. 調査事項

次に掲げる内容について調査を行うものとする。

- (1) 食に関する意識・知識（栄養、旬等）
- (2) 食生活の実態（食事状況、間食、偏食等）
- (3) 日常生活の実態（食にかかわる手伝い、睡眠、運動の状況等）
- (4) 学校給食に関する意識
- (5) 健康状況

5. 調査方法等

- ・対象校は調査実務の主体となる担当者を置き、調査対象となる児童生徒を担当した。教員はこれに協力した。
- ・調査方法は、児童生徒による選択式（マークシート方式）アンケートとした。調査の実施に際しては、児童生徒が余裕をもつて的確に記入できるよう、各対象校においては実施時期及び時間に十分な配慮を行った。また、担当する教員は必要に応じ、児童生徒に調査票の記入に関する指導を行った。
- ・対象校の調査担当者は、調査実施後は調査票の記入漏れや誤記入の有無をチェックし、調査票を整理した。
- ・調査用紙表紙部分「身長・体重」の記入は、身体測定結果（4月）をもとに教職員が行った。

6. 調査の組織

- (1) 健康体育課が、総合企画立案と調査結果の検討、まとめを行う。
- (2) 対象校を管轄する教育事務所は、当該市町村の協力を得て、対象校における調査が円滑かつ効果的に実施されるよう指導を行った。

7. 調査の秘密保持

本調査では、児童生徒個人の私的なことに及ぶため、秘密保持に万全を期し、対象者及びその保護者等に危惧の念をいだかせないように留意した。

8. 調査結果の公表

調査結果の公表は健康体育課が行うこととした。

Ⅱ. 食生活等の変化と食育の方向性

1. 食生活等の変化状況

平成 15 年に実施した「群馬県児童生徒の食生活等実態調査」では、小学生、中学生、高校生の食をめぐる状況として下記の 2 点を明らかにし、「みんなが楽しくコミュニケーションを図りながら食事をする事」が重要であることを示した。

- － 1 家族と一緒に食事をする時間を共有している児童生徒は、学校給食も積極的に食べる、体の不調も少ない、嫌いな物に対しても挑戦してみようという意欲がみられる。また、マナーや食べ方についての指摘を受けながらも、食事の準備や後かたづけにも積極的にかかわっている。
- － 2 家庭での食事が楽しいとしている児童生徒の場合は、生活のリズムが確立されていたり、好き嫌いが少なく、体の不調を訴えたりすることも少ない。

この結果をもとに本県の学校における食育では、「食事は楽しく、ともに語らいながら」をあり方とし、食に関する指導を実施してきた。さらに、20 年以降の食育の方向性としては、これまでの基本的なあり方を踏襲しつつ、下記の 3 つを新たな指針としてきた。

食育のあり方

「食事は楽しく、ともに語らいながら」

指針

- (1) 食事はコミュニケーションの場（心豊かな食生活の創造）
- (2) 食に関する知識・技能の習得と実践化
- (3) 健康的な生活習慣の形成

その後、学習指導要領の総則に「食育」が明記されたことを踏まえ、教育活動全体を通じて食育を推進することを目指し、学校・家庭・地域が連携かつ継続して、各校の実情に即した食育の取組を展開してきた。

本章では上記の 3 つの指針を軸に児童生徒の食生活等の変化状況を検証する。検証方法としては、各々の軸に該当する項目の回答結果を前回調査（平成 25 年度群馬県児童生徒の食生活実態調査）の対応する回答結果と比較検証を行った。

検証項目

(1) 食事はコミュニケーションの場

- ①食事で気を付けていること（楽しく食べる）
- ②食事のあいさつ（「いただきます」「ごちそうさま」）
- ③共食状況（朝食、夕食）
- ④食事の協同体験（テーブルの準備と後かたづけ）
- ⑤食事が楽しいと感じるとき（家族そろって食べる時、友達や地域のグループの仲間と食べる時）
- ⑥学校給食への思い（みんな（友達や先生）と一緒に食べられる、おいしい給食が食べられる）

(2) 食に関する知識・技能の習得と実践化

- ①食育指導の状況
- ②食経験の広がり（給食では、家で食べられない料理が食べられる）
- ③食事で気を付けていること（3回の食事は必ず食べる、栄養のバランスを考えて食べる）
- ④食品の主な働き（正答率）
- ⑤食品の生産地や旬（季節）への関心
- ⑥食品の栄養成分表示への関心
- ⑦すききらいの有無
- ⑧きれいな食べ物への対応
- ⑨調理技能の習得（米飯を炊ける、みそ汁を作れる）
- ⑩ダイエット経験

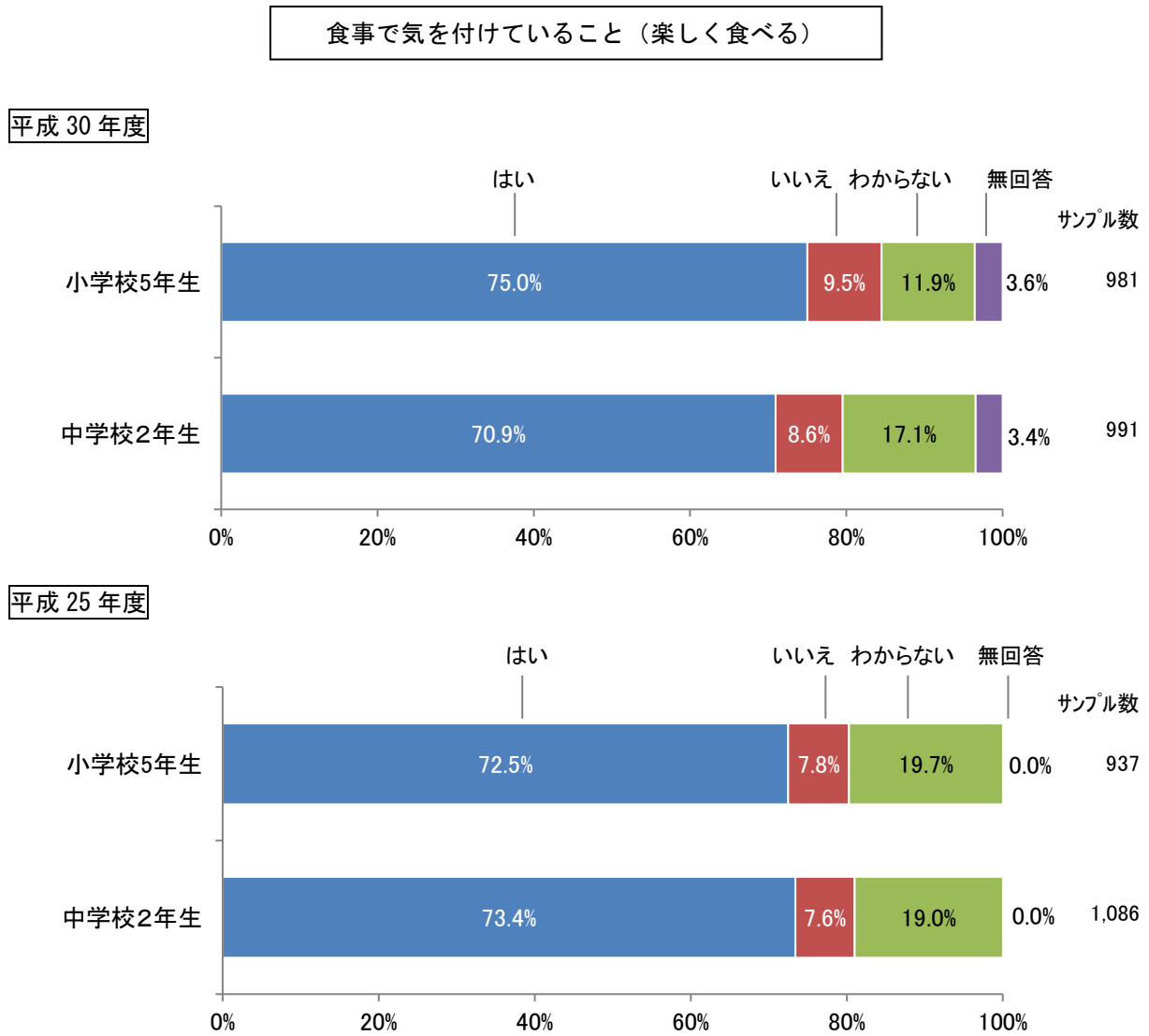
(3) 健康的な生活習慣の形成

- ①朝食の摂取状況
- ②おやつの摂取状況
- ③夜食の摂取状況
- ④体育授業外での運動状況
- ⑤ふだんの就寝時刻
- ⑥睡眠で休養がとれているか

(1) 食事はコミュニケーションの場

① 食事で気を付けていること（楽しく食べる）

食事で気を付けていることを比較すると、「楽しく食べる」とする割合は、小学生・中学生ともほぼ変わらない。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「楽しく食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

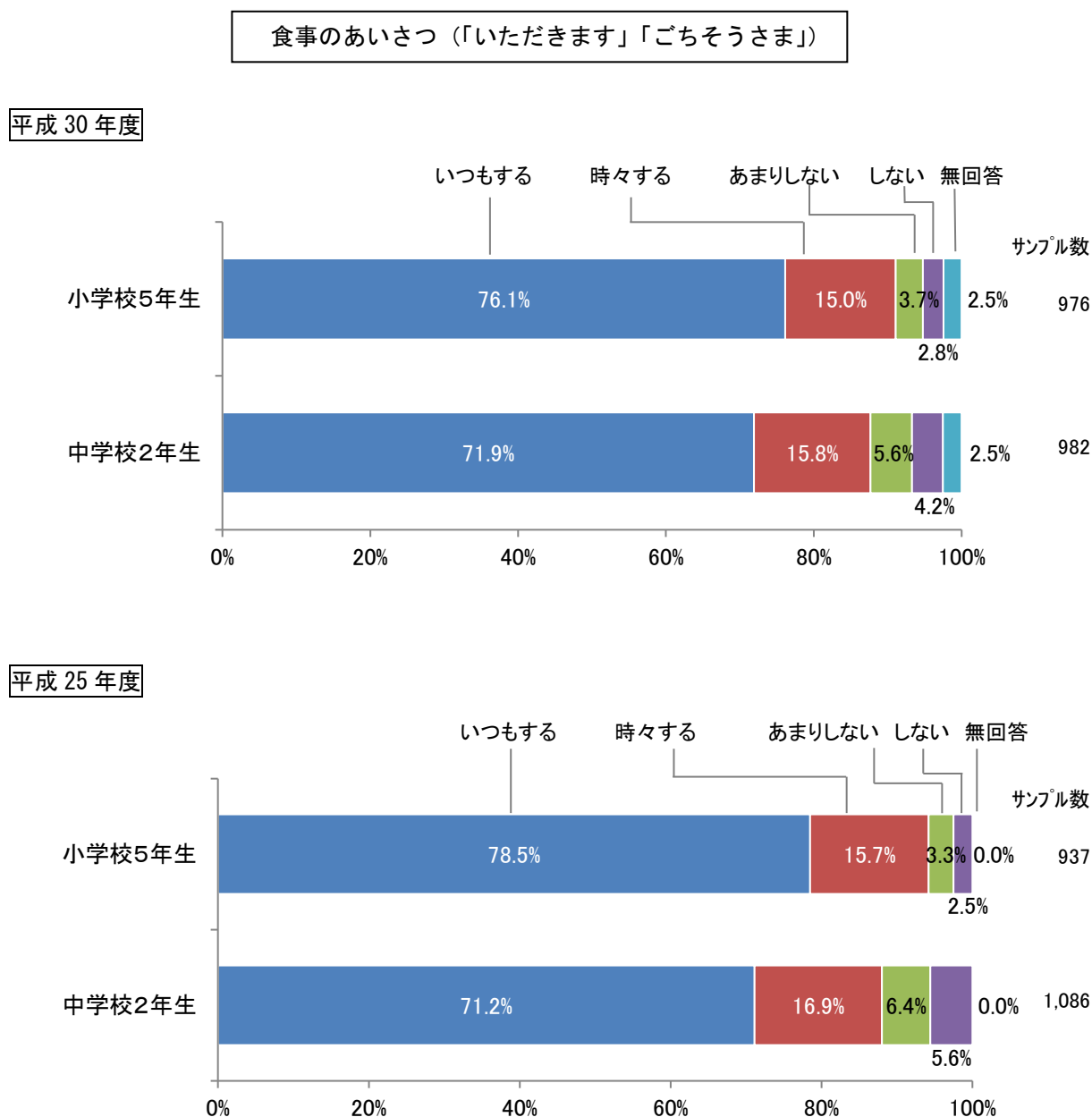
小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.62$, $P=0.20>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.55$, $P=0.21>0.05$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

② 食事のあいさつ（「いただきます」「ごちそうさま」）

食事のときのあいさつの状況を比較すると、「食事のあいさつをいつもする」とする割合は小学生、中学生ともほぼ変わらない。



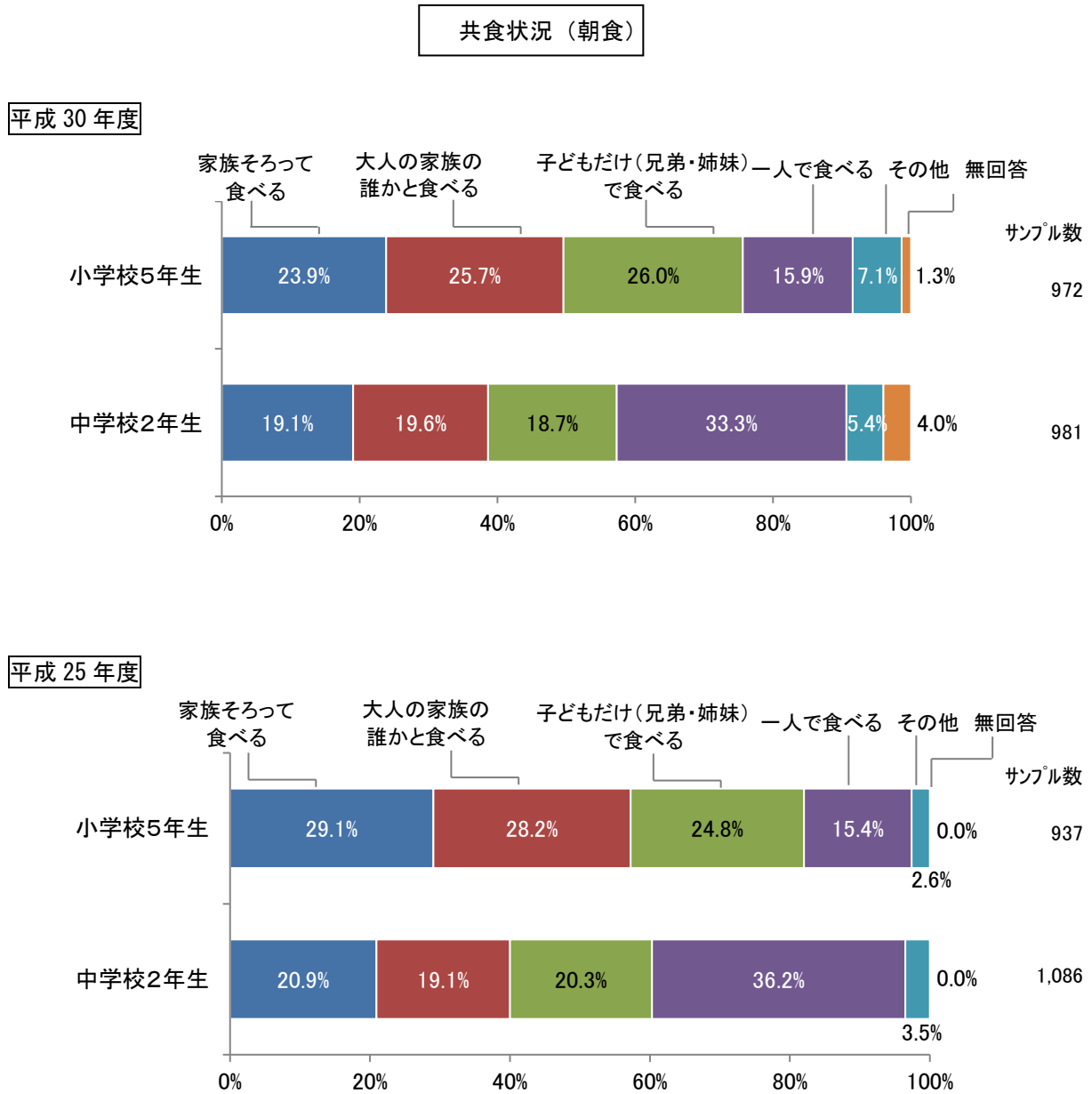
※平成 30 年度と平成 25 年度の「食事のあいさつをいつもする」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.59$, $P=0.20>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.12$, $P=0.71>0.05$)。

③ 共食の状況（朝食、夕食）

朝食の共食状況を比較すると、「家族そろって食べる」とする割合は、小学生で5.2ポイント低下している（小学生29.1%→23.9%）。



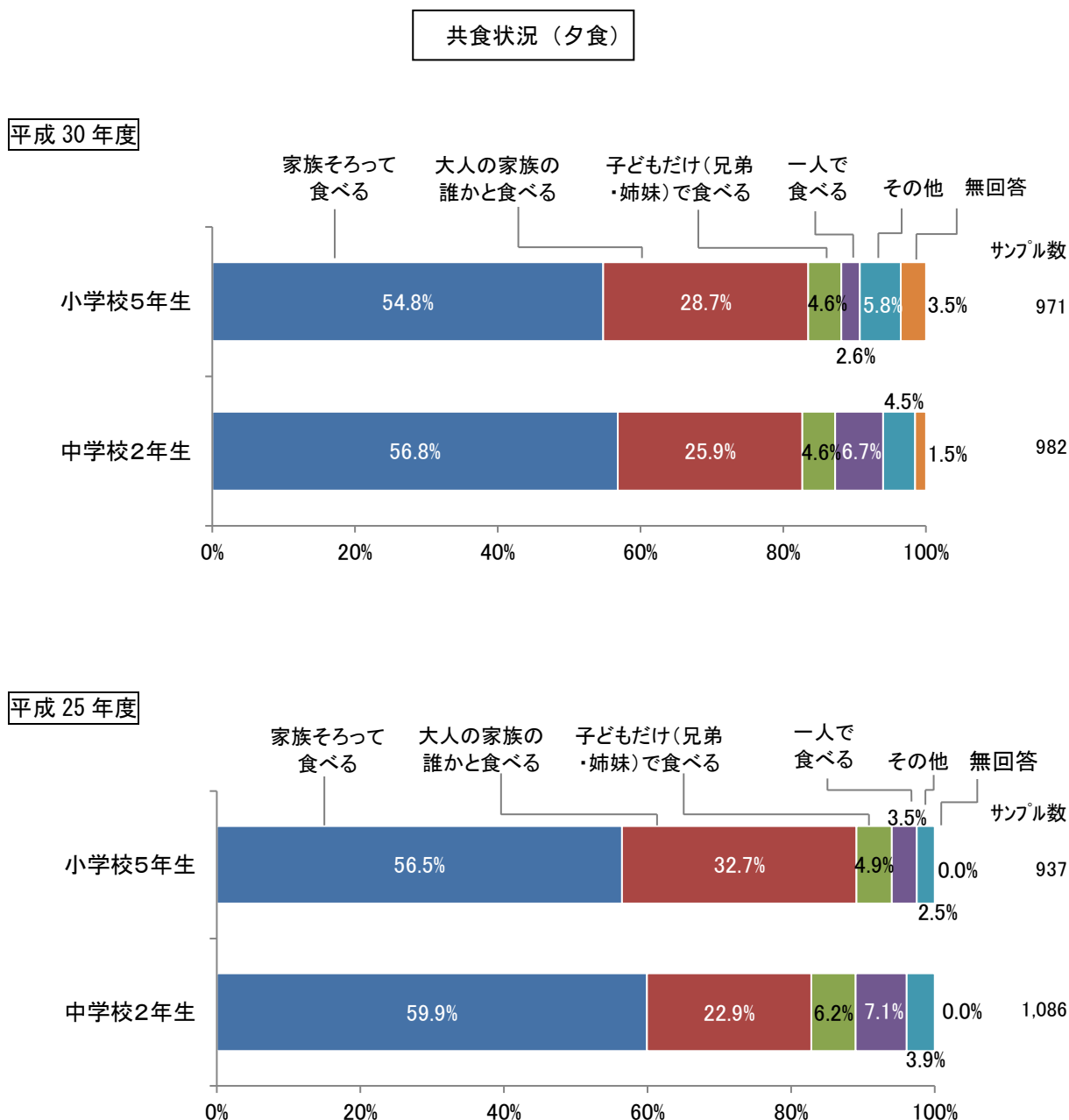
※平成 30 年度と平成 25 年度の「家族そろって食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられる（ $\chi^2=6.80$, $P=0.01<0.05$ ）。

中学生では有意な差がみられない（ $\chi^2=1.11$, $P=0.29>0.05$ ）。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

夕食の共食状況を比較すると、「家族そろって食べる」とする割合は、小学生・中学生ともほぼ変わらない。



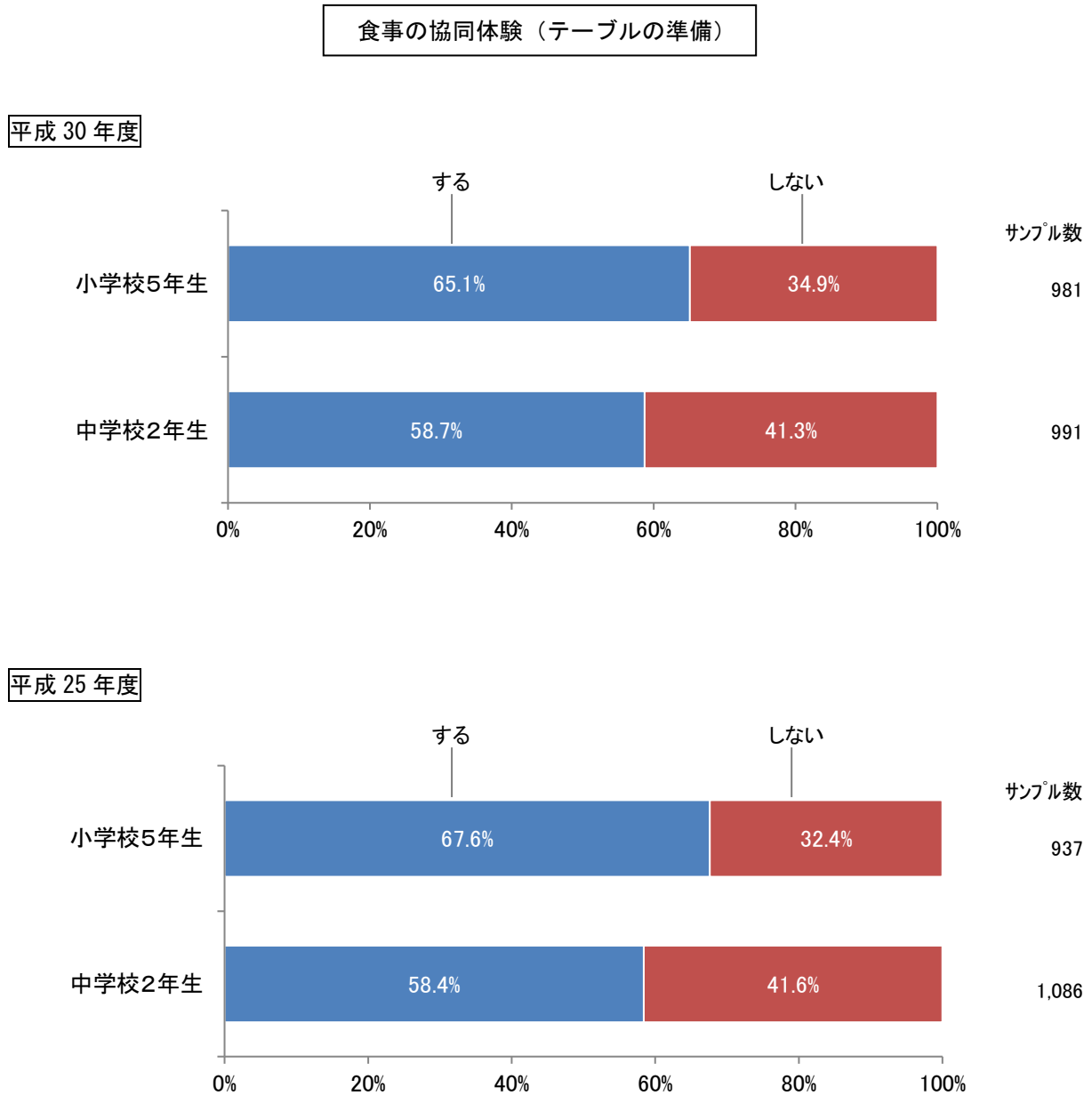
※平成 30 年度と平成 25 年度の「家族そろって食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.53$, $P=0.46>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.94$, $P=0.16>0.05$)。

④ 食事の協同体験（テーブルの準備と後かたづけ）

食事の協同体験状況を「テーブルの準備」で比較すると、小学生、中学生ともほぼ変わらない。



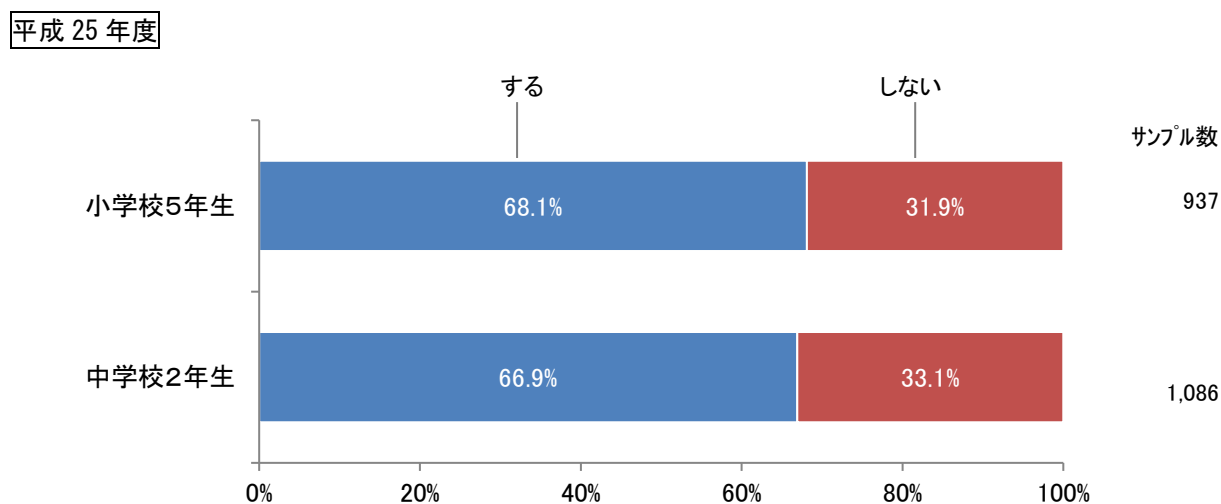
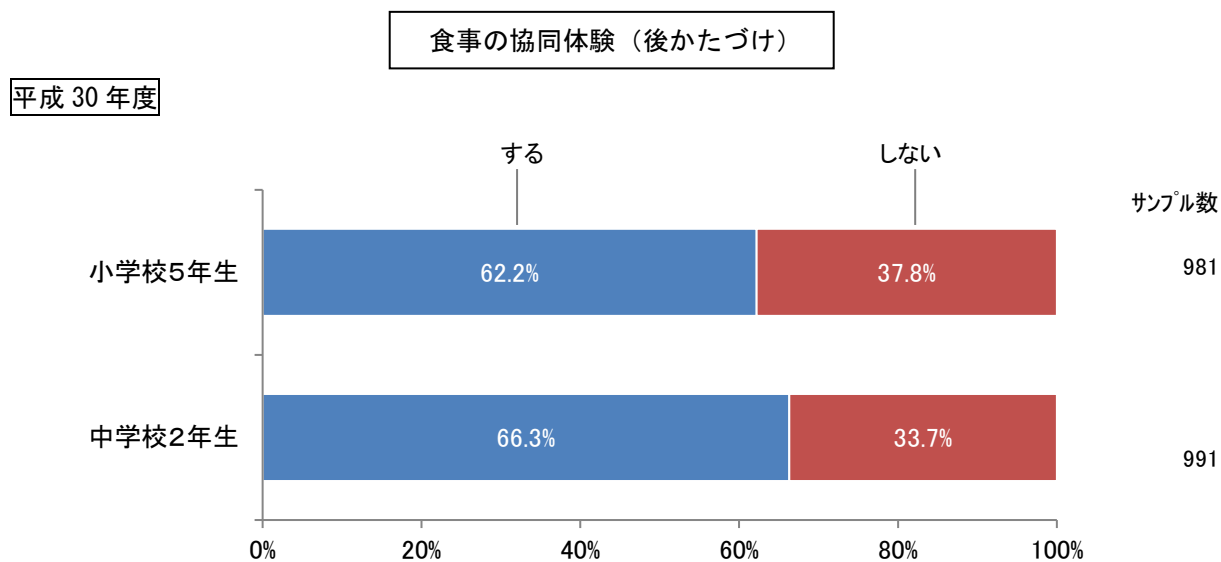
※平成 30 年度と平成 25 年度の「テーブルの準備」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.25$, $P=0.26>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.02$, $P=0.87>0.05$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

食事の協同体験状況を「後片付け」で比較すると、小学生で5.9ポイント低下している（小学生 68.1%→62.2%）



※平成 30 年度と平成 25 年度の「後かたづけ」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

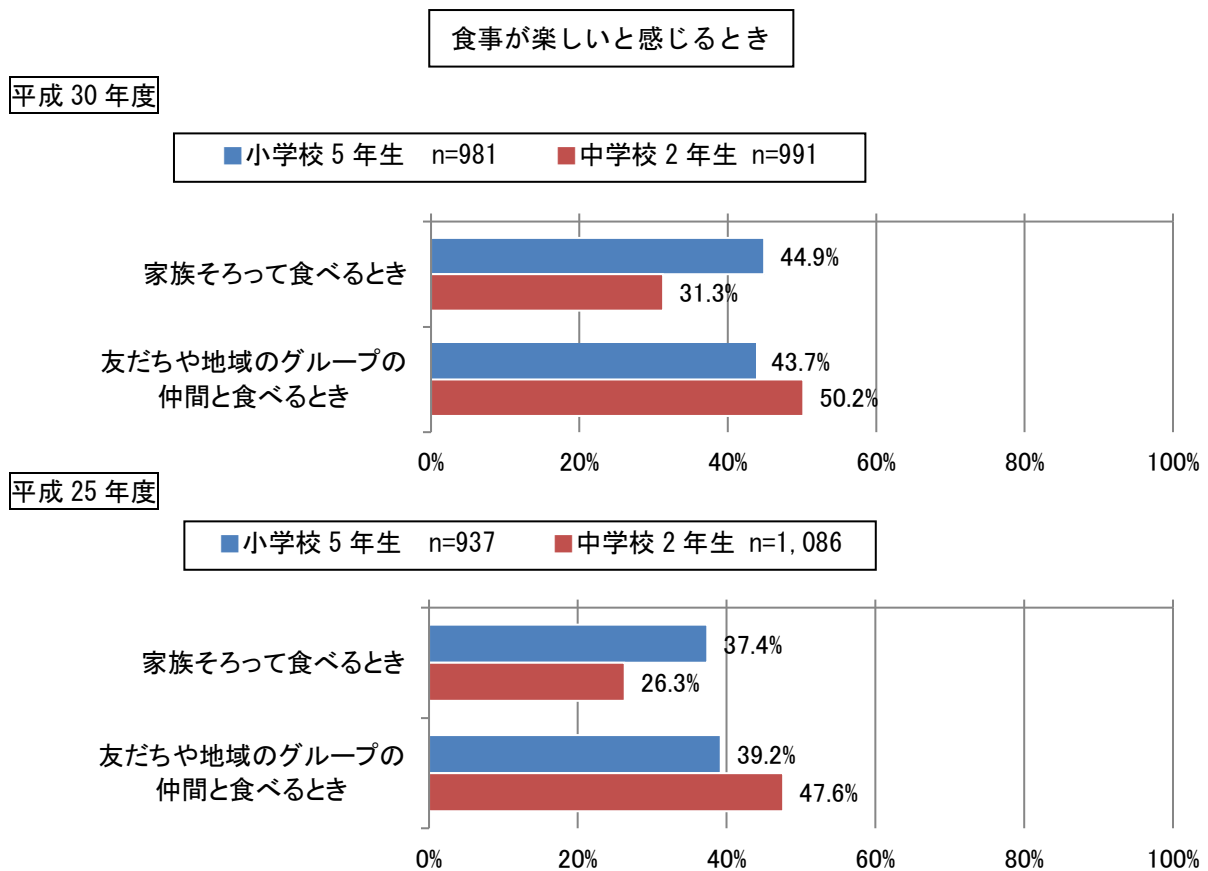
小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=7.36$, $P=0.01<0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.07$, $P=0.79>0.05$)。

⑤ 食事が楽しいと感じるとき

(家族そろって食べるとき、友達や地域のグループの仲間と食べるとき)

食事が楽しいと感じるとき(家族そろって食べるとき、友達や地域のグループの仲間と食べるとき)を比較すると、「家族そろって食べるとき」での食事を楽しいと感じる割合が、小学生で7.5ポイント、中学生で5.0ポイント上昇している(小学生37.4%→44.9%、中学生26.3%→31.3%)。また、「友達や地域のグループと食べるとき」では、小学生で4.5ポイント上昇している(小学生39.2%→43.7%)。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「家族そろって食べるとき」、「友達や地域グループの仲間と食べるとき」の差それぞれについて各学年でカイ二乗検定を行った。

「家族そろって食べるとき」

小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=11.12$, $P<0.01$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=6.43$, $P=0.01<0.05$)。

「友達や地域グループの仲間と食べるとき」

小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=4.11$, $P=0.04<0.05$)。

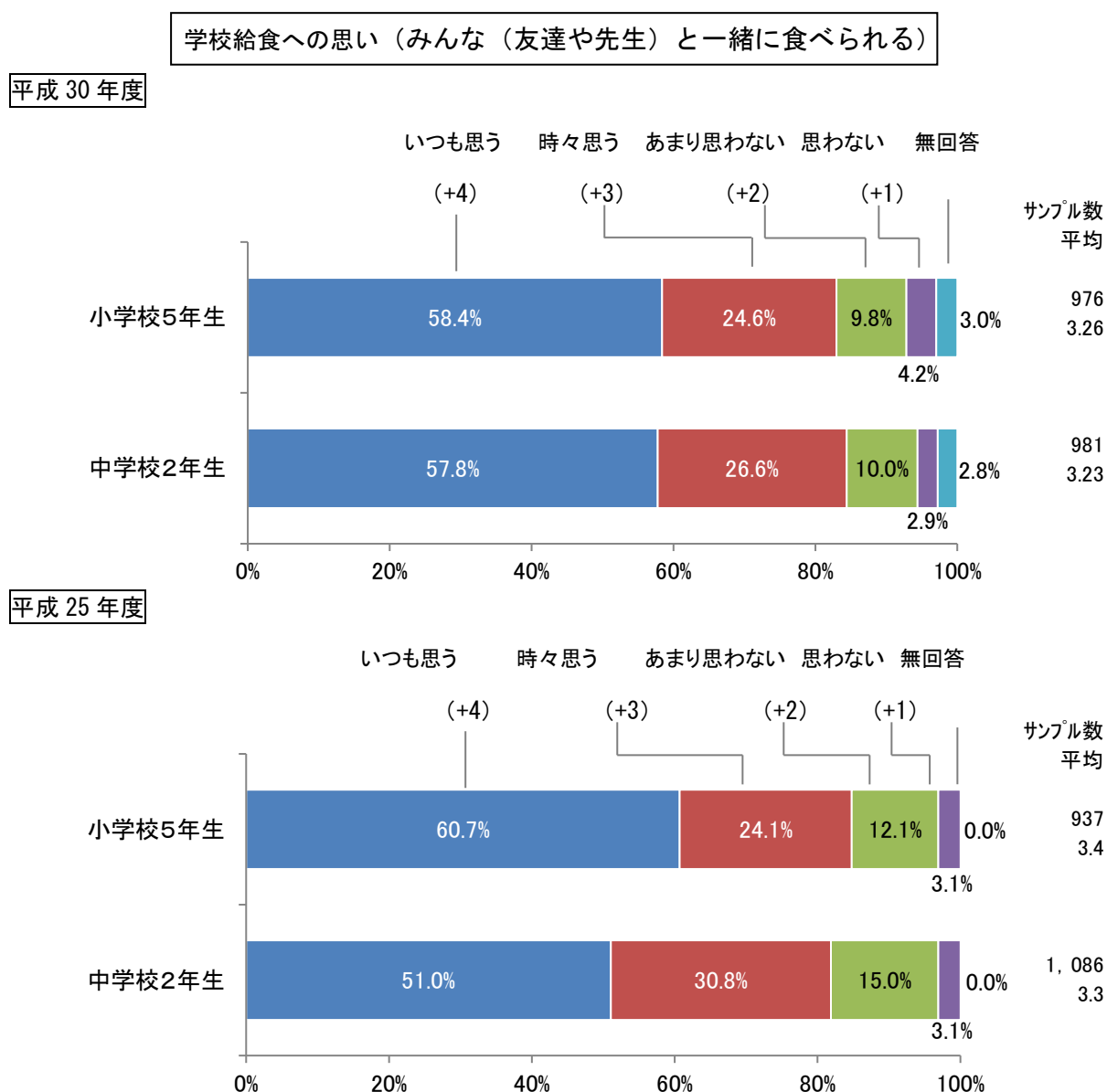
中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.14$, $P=0.70>0.05$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

⑥ 学校給食への思い（みんな（友達や先生）と一緒に食べられる、おいしい給食が食べられる）

学校給食への思い（みんな（友達や先生）と一緒に食べられる）を比較すると、「いつも思う」とする割合が、中学生では6.8ポイント上昇している（中学生 51.0%→57.8%）。

※回答各々に「いつも思う」+4、「時々思う」+3、「あまり思わない」+2、「思わない」+1と点数を与え、平均を算出している（P54 参照）。

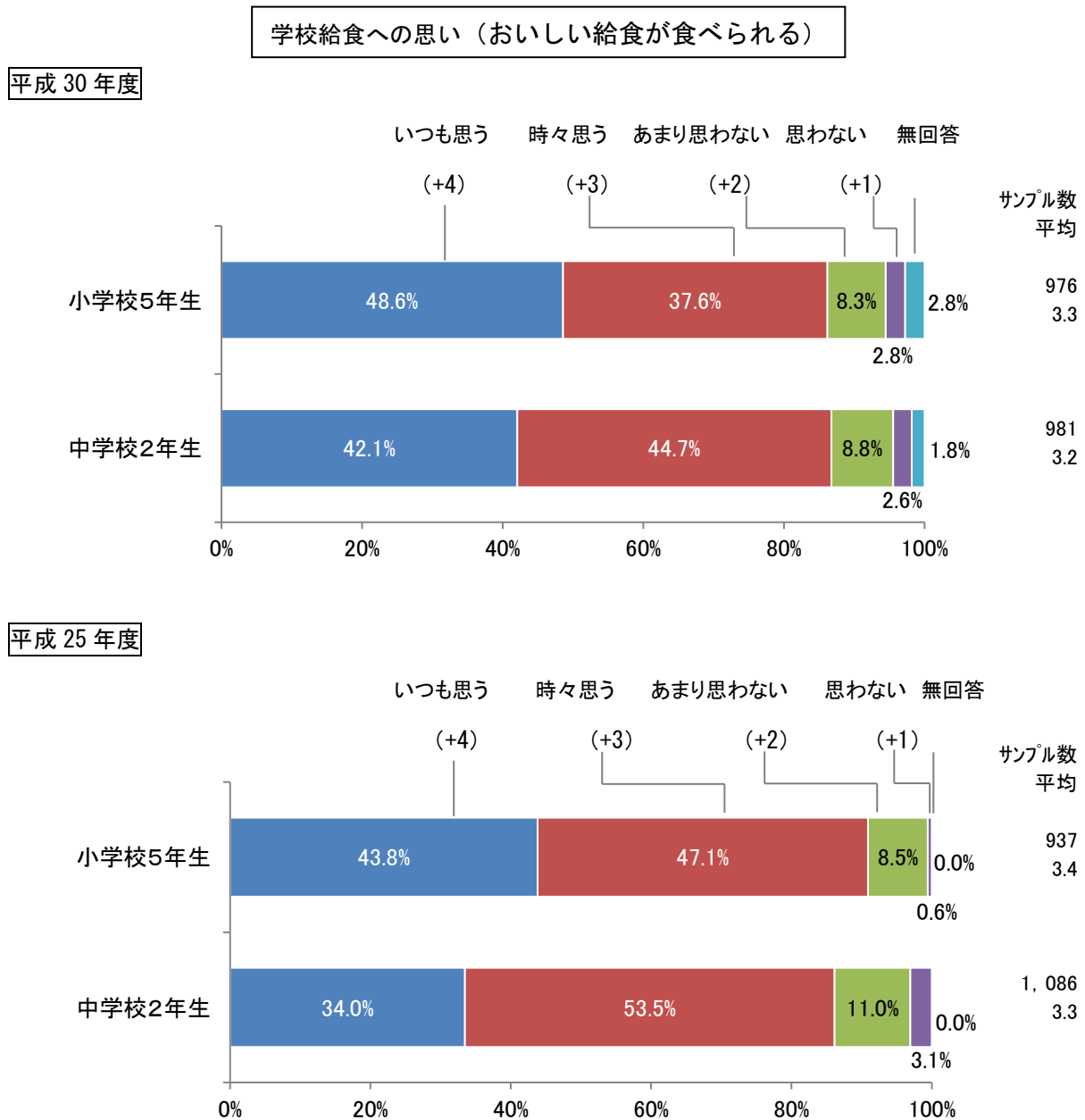


※平成 30 年度と平成 25 年度の「いつも思う」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.97, P=0.32>0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=9.56, P<0.01$)。

学校給食への思い（おいしい給食が食べられる）を比較すると、「いつも思う」とする割合が、小学生で4.8ポイント、中学生では8.1ポイント上昇している（小学生43.8%→48.6%、中学34.0→42.1%）。※回答各々に「いつも思う」+4、「時々思う」+3、「あまり思わない」+2、「思わない」+1と点数を与え、平均を算出している（P54参照）。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「いつも思う」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

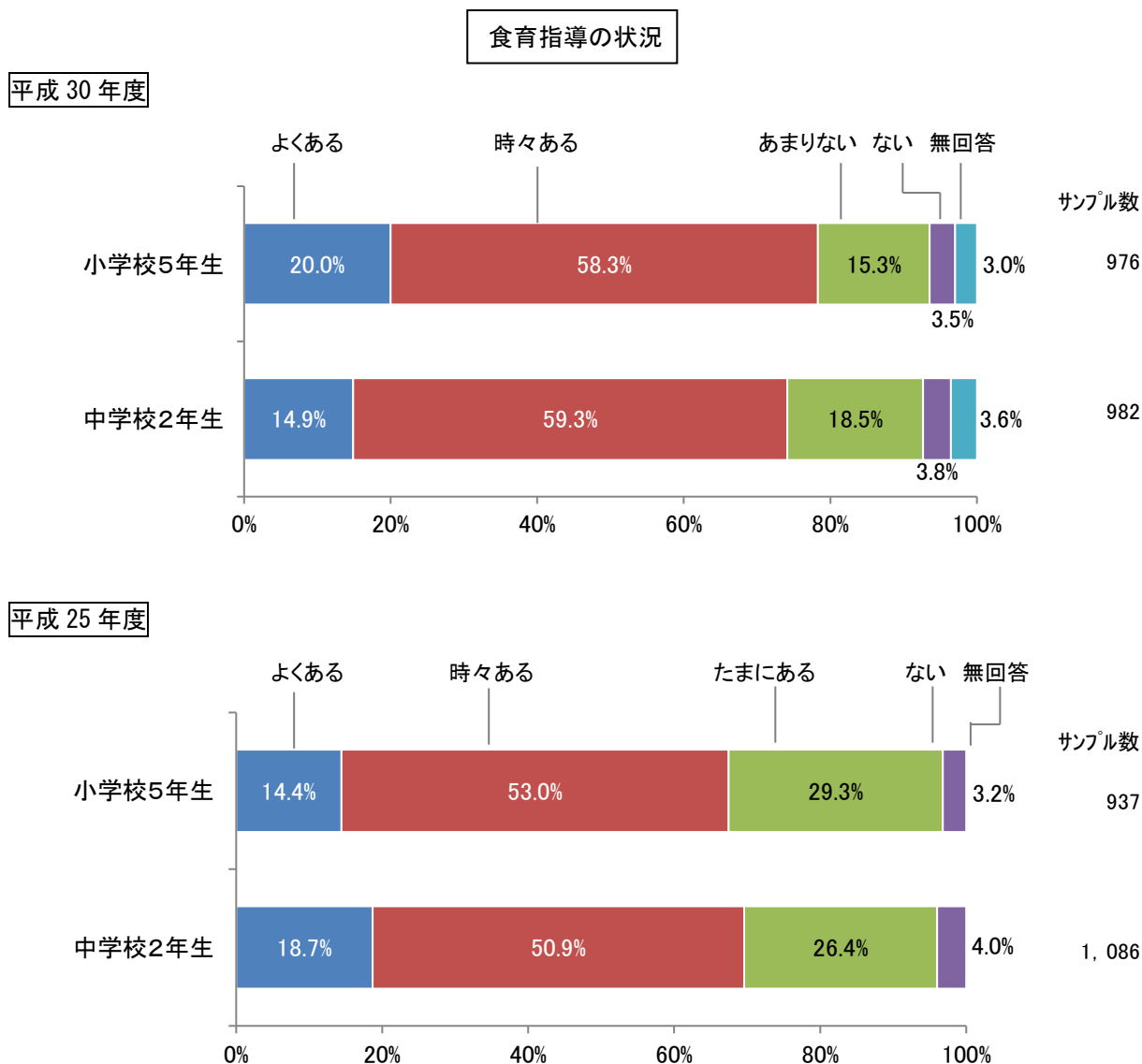
小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=4.45, P=0.03<0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=14.46, P<0.01$)。

(2) 食に関する知識・技能の習得と実践化

① 食育指導の状況

食育指導の状況としては、「よくある」「時々ある」を合わせた「(学校で食に関して学習することが) ある」とする割合をみると、小学生で10.9ポイント、中学生で4.6ポイント上昇している(小学生67.4%→78.3%、中学生69.6%→74.2%)。



※平成30年度と平成25年度の「(学校で食に関して学習することが) ある」とする割合の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=28.42$, $P<0.01$)。

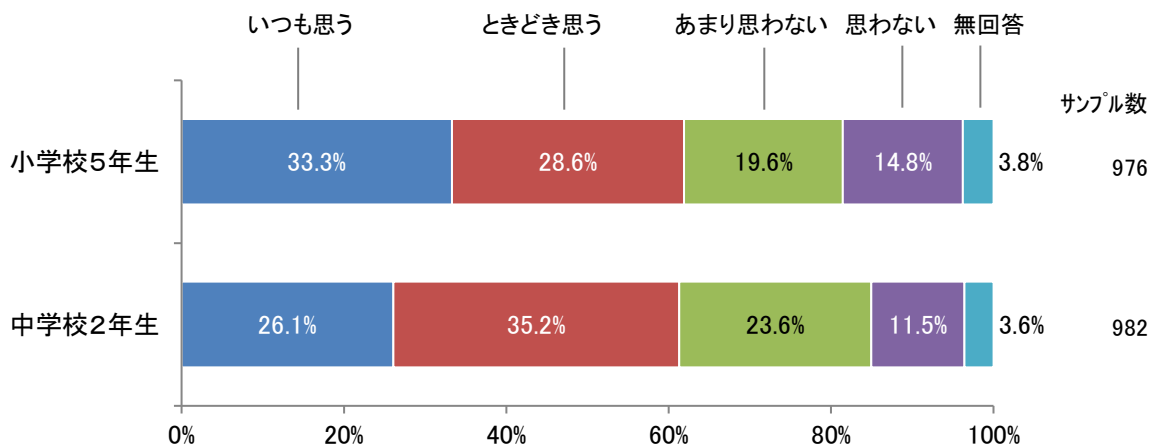
中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=5.20$, $P=0.02<0.05$)。

② 食経験の広がり（学校給食への思い（家で食べられない料理が食べられる））

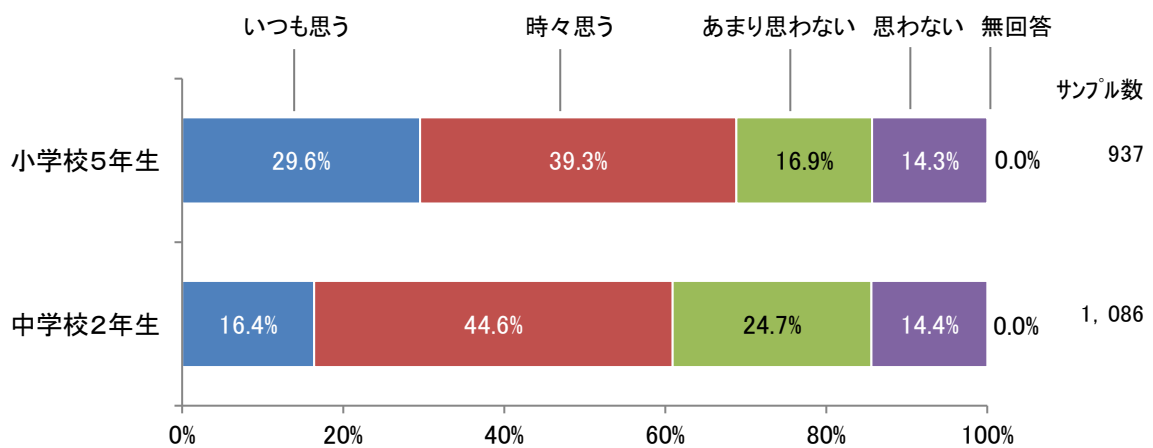
食経験の広がりとして、学校給食への思い「家で食べられない料理が食べられる」について、「いつも思う」とする割合をみると、中学生で9.7ポイント上昇している（中学生 16.4% →26.1%）。

学校給食への思い（家で食べられない料理が食べられる）

平成 30 年度



平成 25 年度



※平成 30 年度と平成 25 年度の「(家で食べられない料理が食べられると) 思う」とする割合の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=3.09$, $P=0.07>0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=29.13$, $P<0.01$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

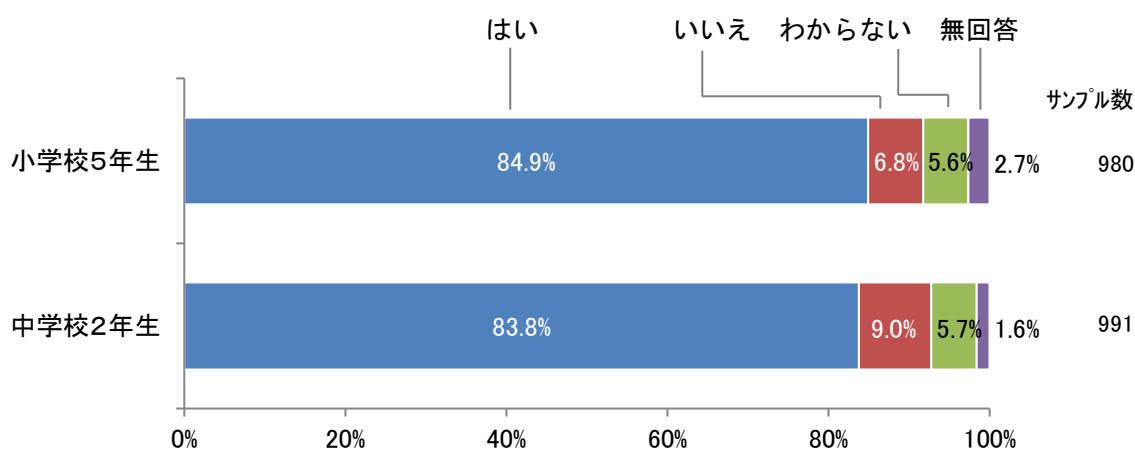
③ 食事で気を付けていること

(3回の食事は必ず食べる、栄養のバランスを考えて食べる)

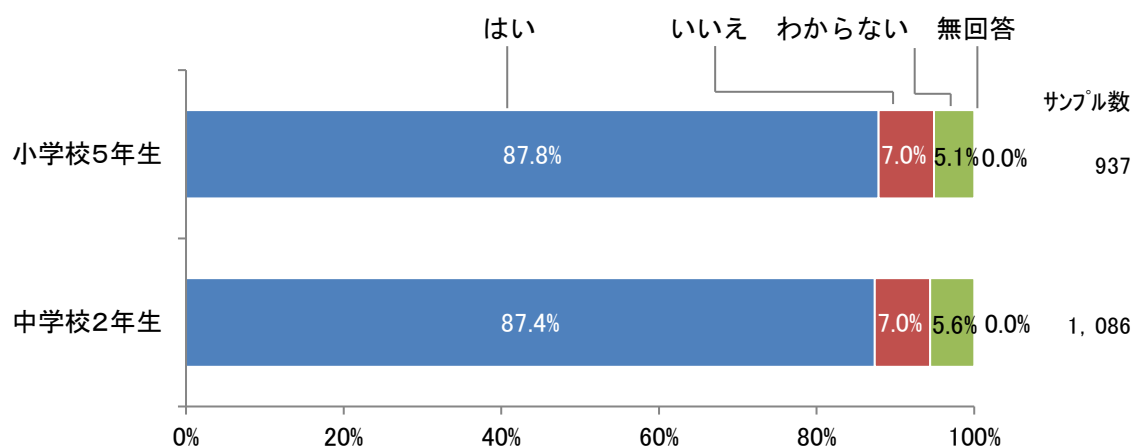
食事で気を付けていること(「3回の食事は必ず食べる」)を比較すると、中学生で3.6ポイント低下している(中学生87.4%→83.8%)。

食事で気を付けていること(3回の食事は必ず食べる)

平成30年度



平成25年度

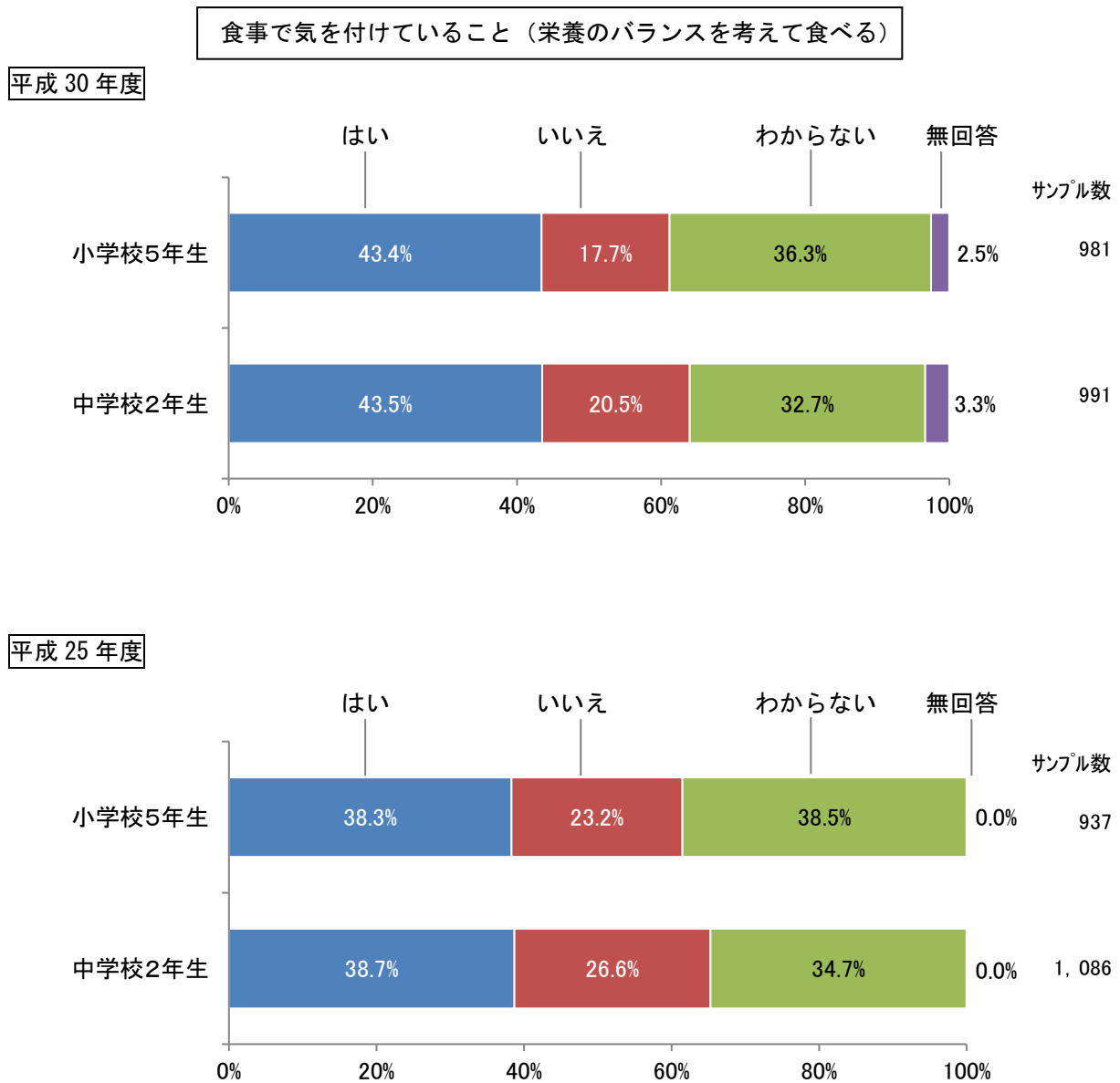


※平成30年度と平成25年度の「3回の食事は必ず食べることについて気を付けている」とする割合の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=3.23, P=0.07>0.05$)

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=5.55, P=0.02<0.05$)。

食事で気を付けていること（「栄養のバランスを考えて食べる」）を比較すると、小学生で 5.1 ポイント、中学生で 4.8 ポイント上昇している（小学生 38.3%→43.4%、中学生 38.7%→43.5%）。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「栄養のバランスを考えて食べることについて気を付けている」とする割合の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられる（ $\chi^2=5.18$, $P=0.02<0.05$ ）。

中学生では有意な差がみられる（ $\chi^2=4.97$, $P=0.03<0.05$ ）。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

④ 食品の主な働き

食品の主な働きについて平均の正答率を比較すると、小学生、中学生ともほぼ変わらないが、「牛乳」の主な働きに関する知識についての中学生の正答率は9.2ポイント低下した。

※正答率の上昇しているセルを着色。

なお、本内容は、小学校家庭科における「食品の栄養的な特徴を知ること」に関するものであり、調査対象小学校19校における調査時点での履修状況は、履修済み校1校、履修中3校、未履修校15校であった。

正答率(%)		米飯	魚	野菜	パン	牛乳	果物	平均
平成 30年度	小学校5年生	60.5	69.5	83.0	67.1	63.6	63.8	67.9
	中学校2年生	73.4	82.2	89.9	77.4	71.6	84.4	79.8
平成 25年度	小学校5年生	62.4	70.2	83.0	66.8	65.6	66.4	69.1
	中学校2年生	75.6	78.1	88.8	76.7	80.8	85.3	80.9

食品の主な働きについて、それぞれの食品の正解は、以下のとおりである。

食品	主な働き
ごはん	エネルギーのもとになる
魚	体をつくるもとになる
野菜	体の調子を整えるもとになる
パン	エネルギーのもとになる
牛乳	体をつくるもとになる
果物	体の調子を整えるもとになる

※平成30年度と平成25年度の正答率の平均の差について各学年でカイ二乗検定を行った

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.03$, $P=0.85>0.05$)。

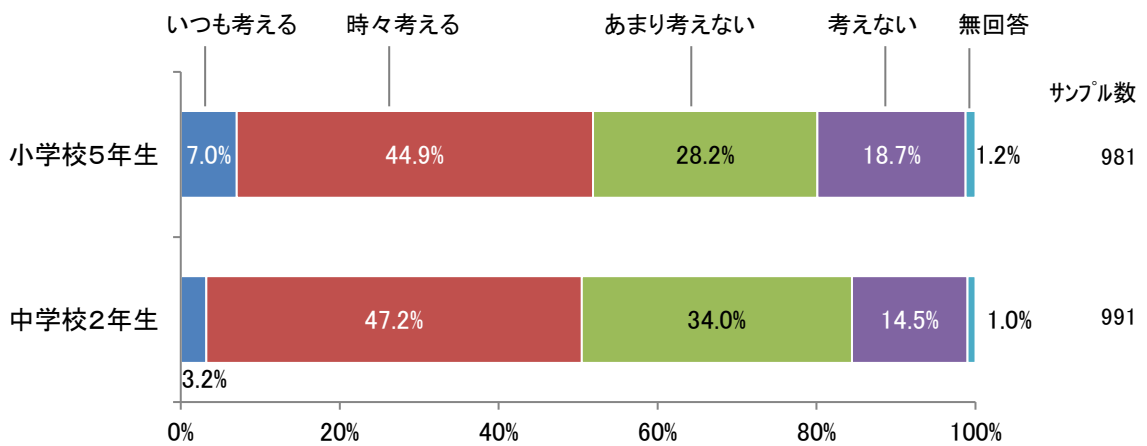
中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.84$, $P=0.84>0.05$)。

⑤ 食品の生産地や旬（季節）への関心

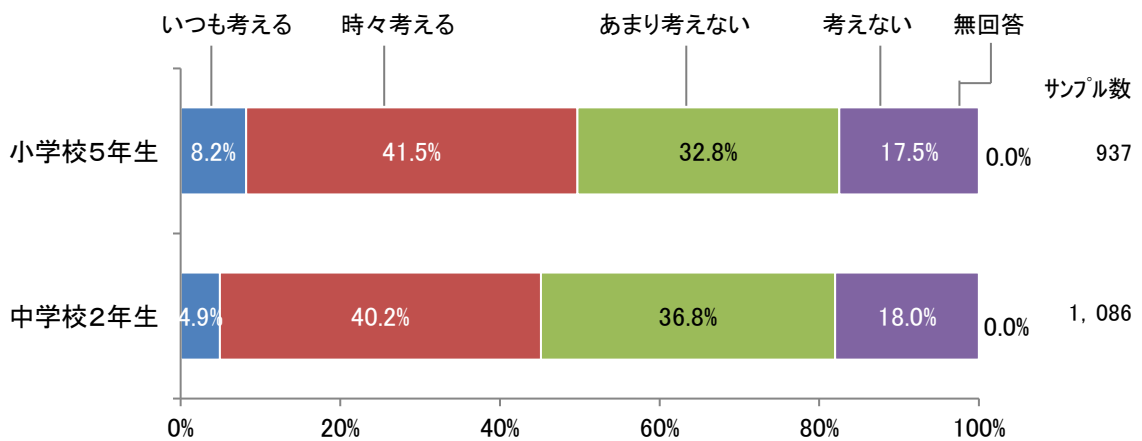
食品の生産地や旬（季節）への関心を比較すると、「いつも考える」と「時々考える」を合わせた「(食品の生産地や旬を)考える」とする割合が、中学生で5.3ポイント上昇している(中学生 45.1%→50.4%)。

食品の生産地や旬（季節）への関心

平成 30 年度



平成 25 年度

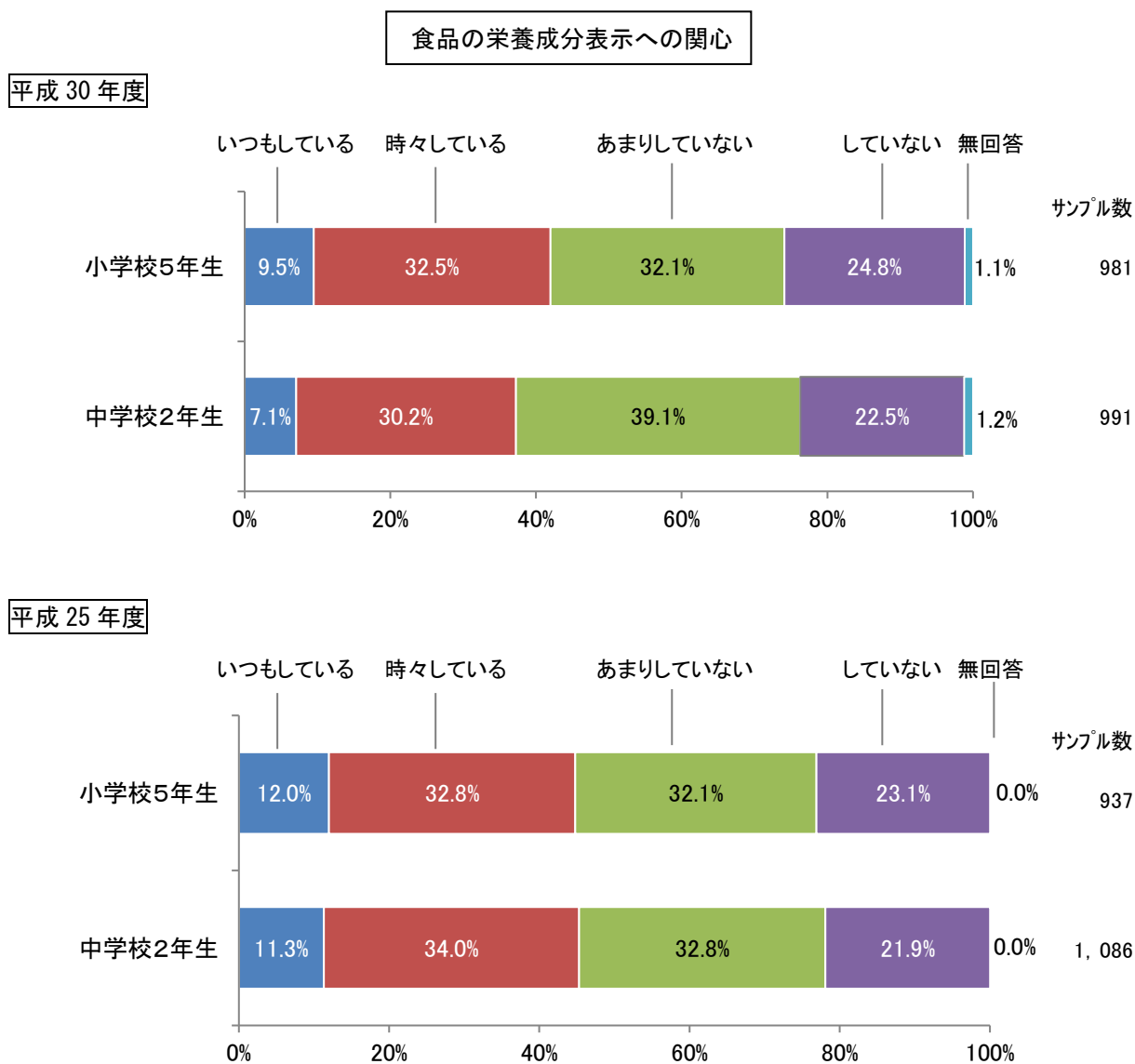


※平成 30 年度と平成 25 年度の「いつも考える」、「時々考える」を合わせた「(食品の生産地や旬を)考える」とする差について各学年でカイ二乗検定を行った。
 小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.89, P=0.34>0.05$)。
 中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=5.91, P=0.02<0.05$)。

Ⅱ. 食生活等の変化と食育の方向性

⑥ 食品の栄養成分表示への関心

栄養成分表示への関心を比較すると、「いつもしている」と「時々している」を合わせた「(食品の栄養成分表示を参考に) している」割合は、中学生で8ポイント低下している(中学生45.3%→37.3%)。



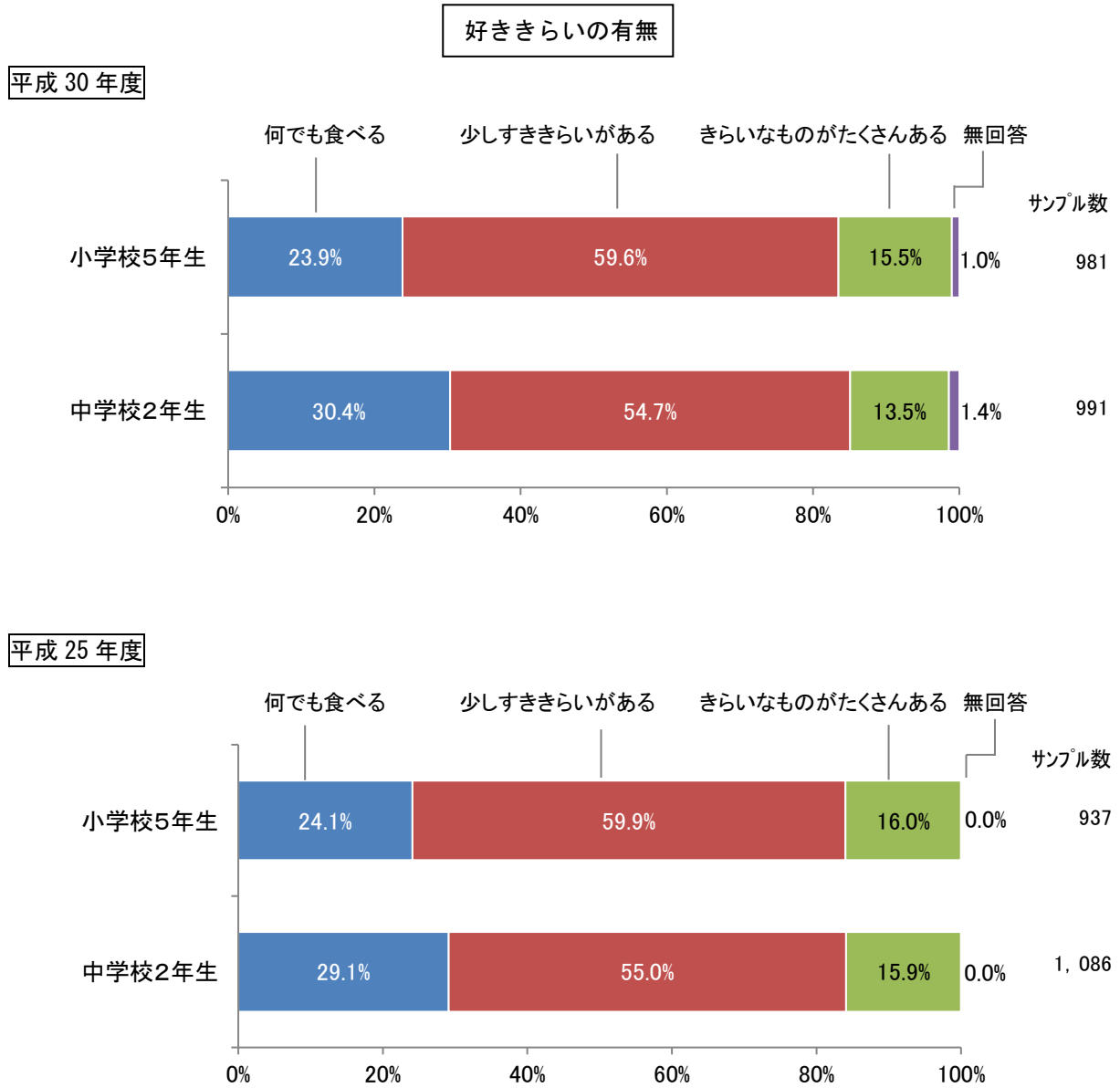
※平成 30 年度と平成 25 年度の「いつもしている」、「時々している」を合わせた割合の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=1.68, P=0.20>0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=13.9, P<0.01$)。

⑦ 好ききらいの有無

好ききらいの有無を比較すると、「(好ききらいなく) 何でも食べる」とする割合は、小学生・中学生ともほぼ変わらない。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「何でも食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

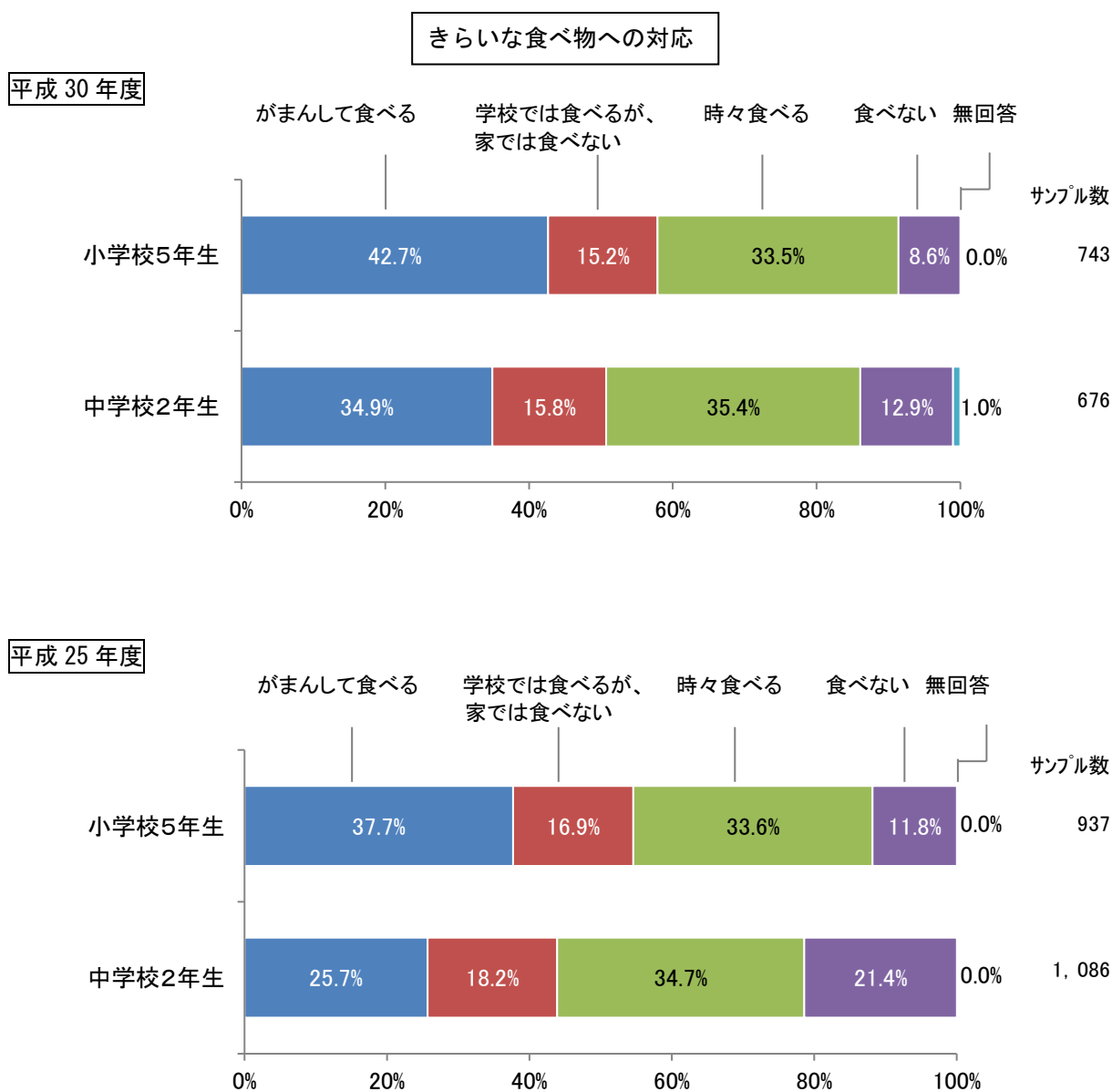
小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.02$, $P=0.89>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.40$, $P=0.53>0.05$)。

Ⅱ. 食生活等の変化と食育の方向性

⑧ きらいな食べ物への対応

きらいな食べ物への対応で比較すると、「(きらいな食べ物を) がまんして食べる」とする割合は、小学校で5.0ポイント、中学生で9.2ポイント上昇している(小学生37.7%→42.7%、中学校25.7%→34.9%)。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「がまんして食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

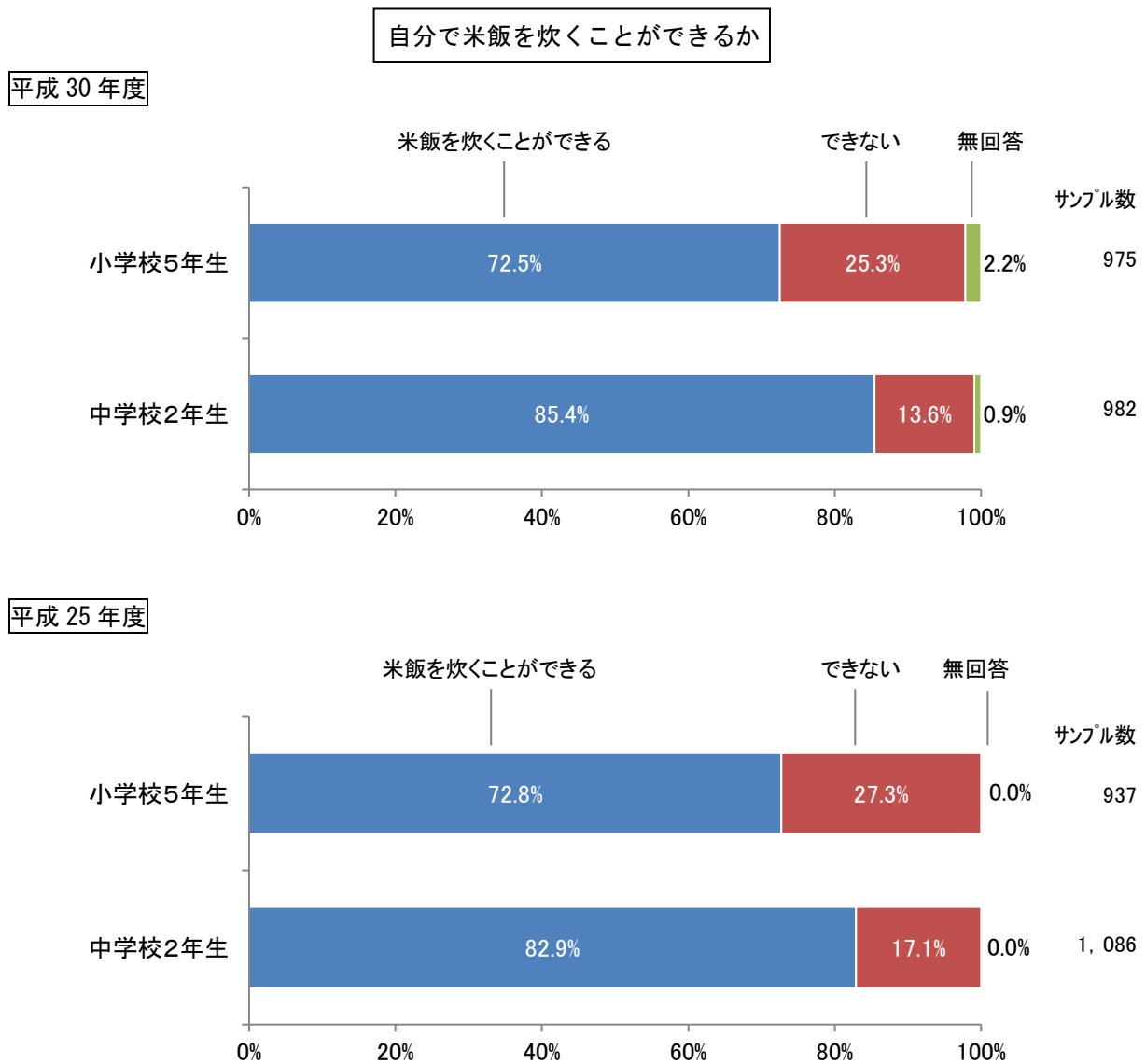
小学生では有意な差がみられる ($\chi^2=4.31, P=0.04<0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=17.12, P<0.01$)。

⑨ 調理技能の習得（米飯を炊ける、みそ汁をつくれる）

調理技能の習得状況について、自分で米飯を炊くことができる割合は、小学生・中学生ともにほぼ変わらない。

なお、本内容は、小学校家庭科における「米飯及びみそ汁の調理ができること」に関するものである。調査実施時点での小学校（19校）の履修状況は、履修済み0校、履修中0校、未履修19校であった。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「自分で米飯を炊くことができる」の差について各学年でカイニ乗検定を行った。

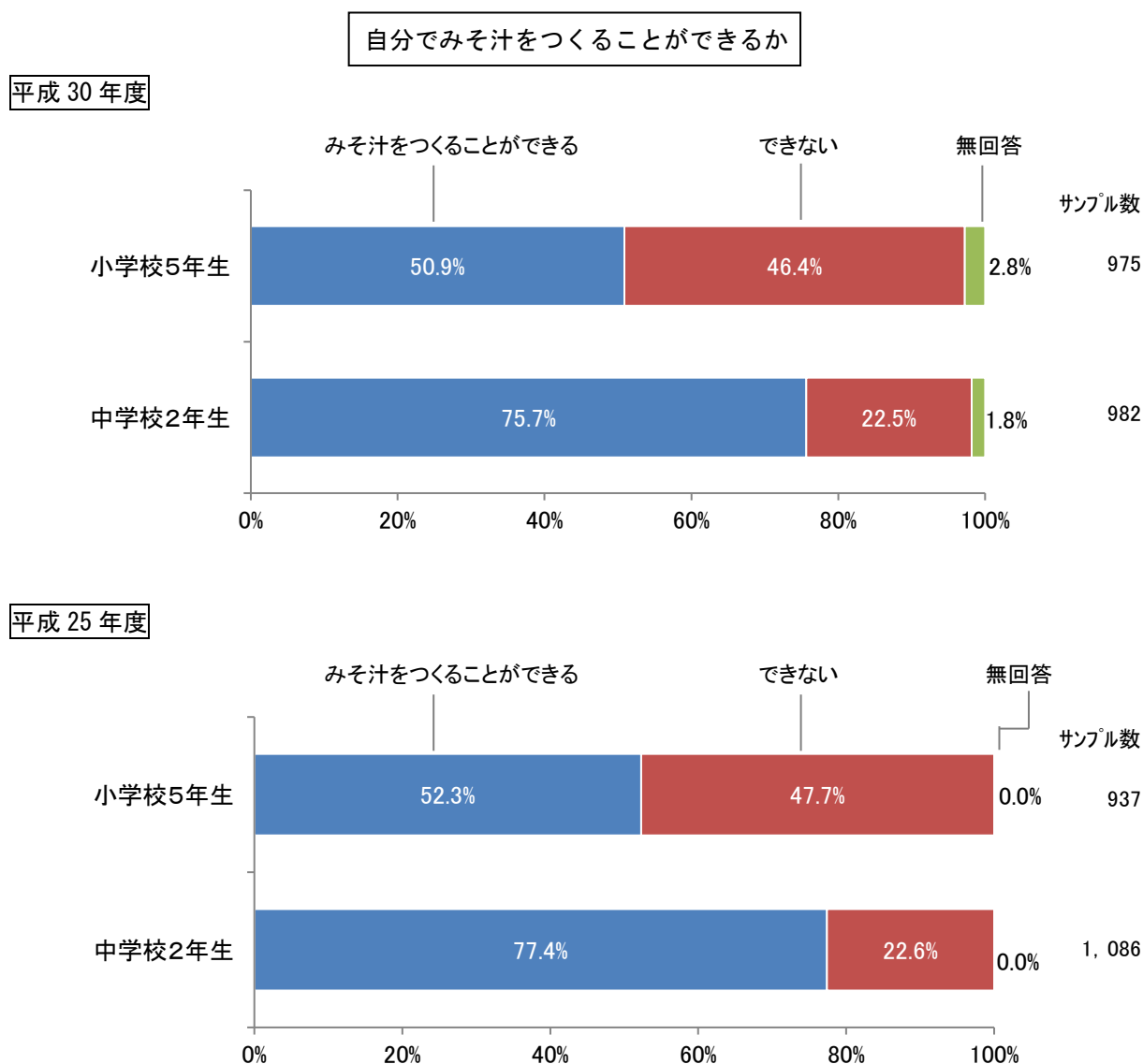
小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.02$, $P=0.89>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=2.53$, $P=0.11>0.05$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

調理技能の習得状況について、自分でみそ汁をつくることのできる割合は、小学生・中学生ともにほぼ変わらない。

なお、本内容は、小学校家庭科における「米飯及びみそ汁の調理ができること」に関するものである。調査実施時点での小学校（19校）の履修状況は、履修済み0校、履修中1校、未履修18校であった。



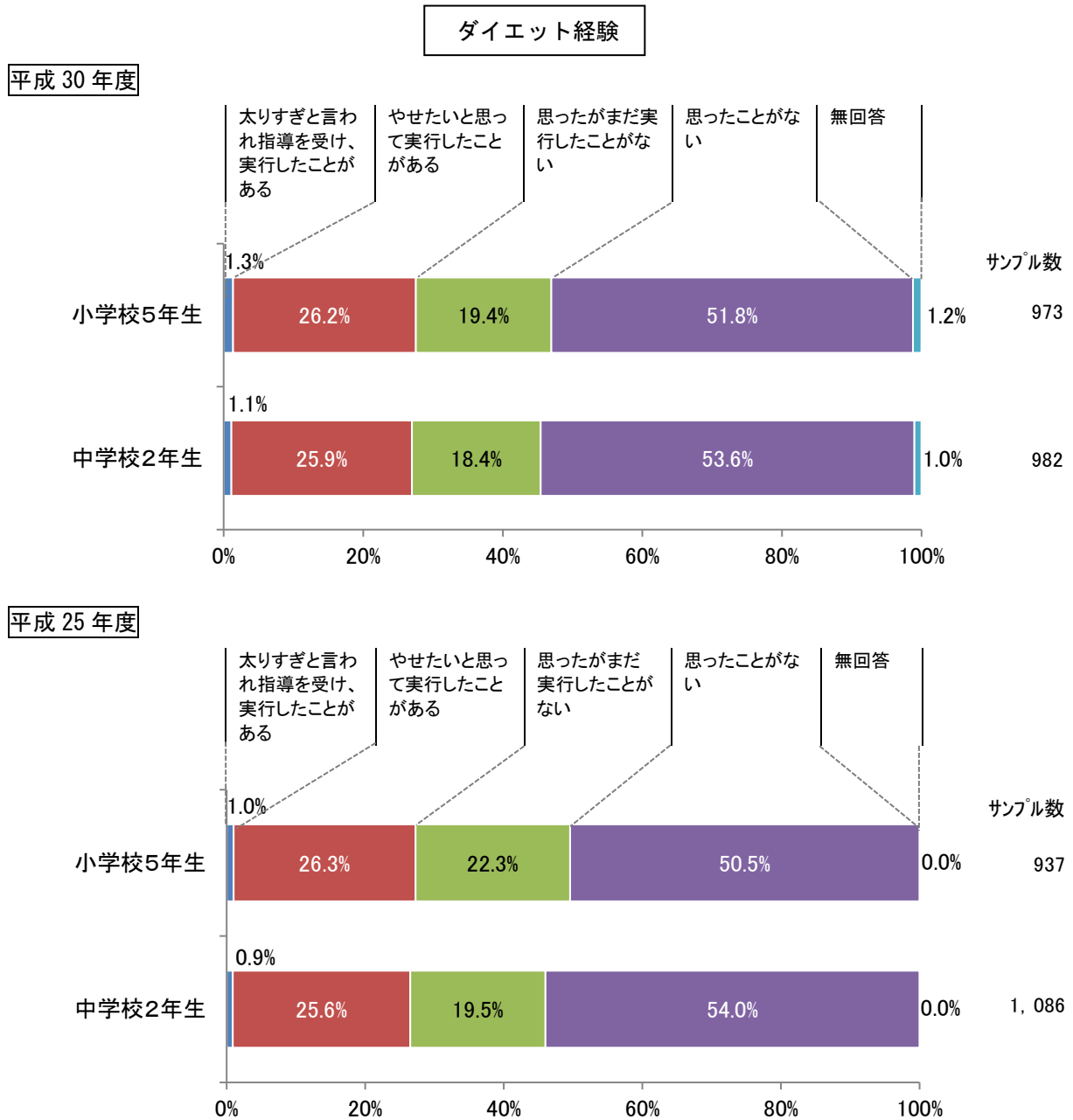
※平成 30 年度と平成 25 年度の「自分でみそ汁をつくることのできる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.39$, $P=0.53>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.91$, $P=0.34>0.05$)。

⑩ ダイエット経験

ダイエット経験の状況を比較すると、「やせたいと思って実行したことがある」とする割合は、小学生・中学生ともにほぼ変わらない。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「やせたいと思って実行したことがある」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

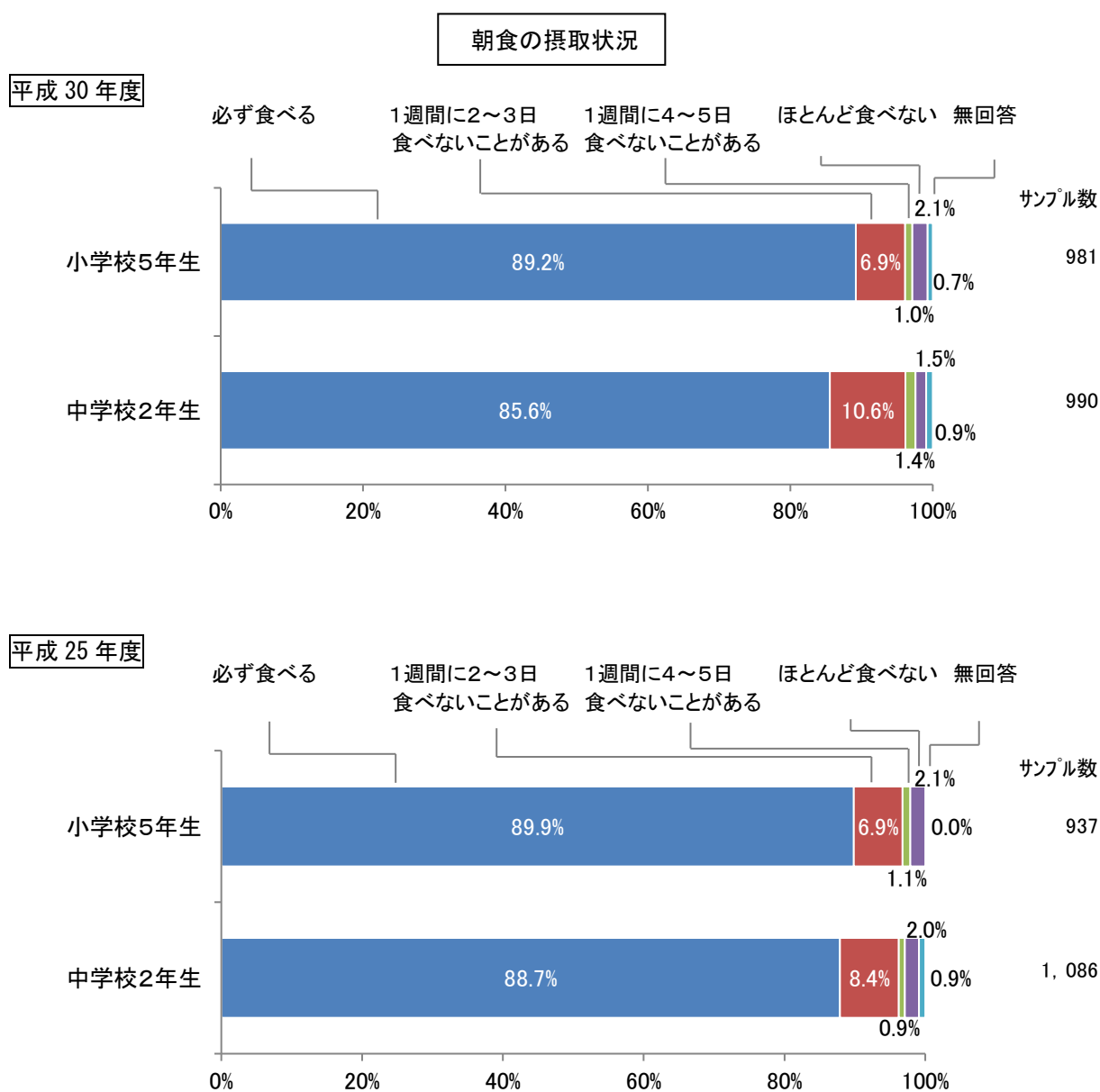
小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.00$, $P=0.96>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.02$, $P=0.89>0.05$)。

(3) 健康的な生活習慣の形成

① 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況を比較すると、「(朝食を) 必ず食べる」とする割合が、中学生で 3.1 ポイント低下している (中学生 88.7%→85.6%)。



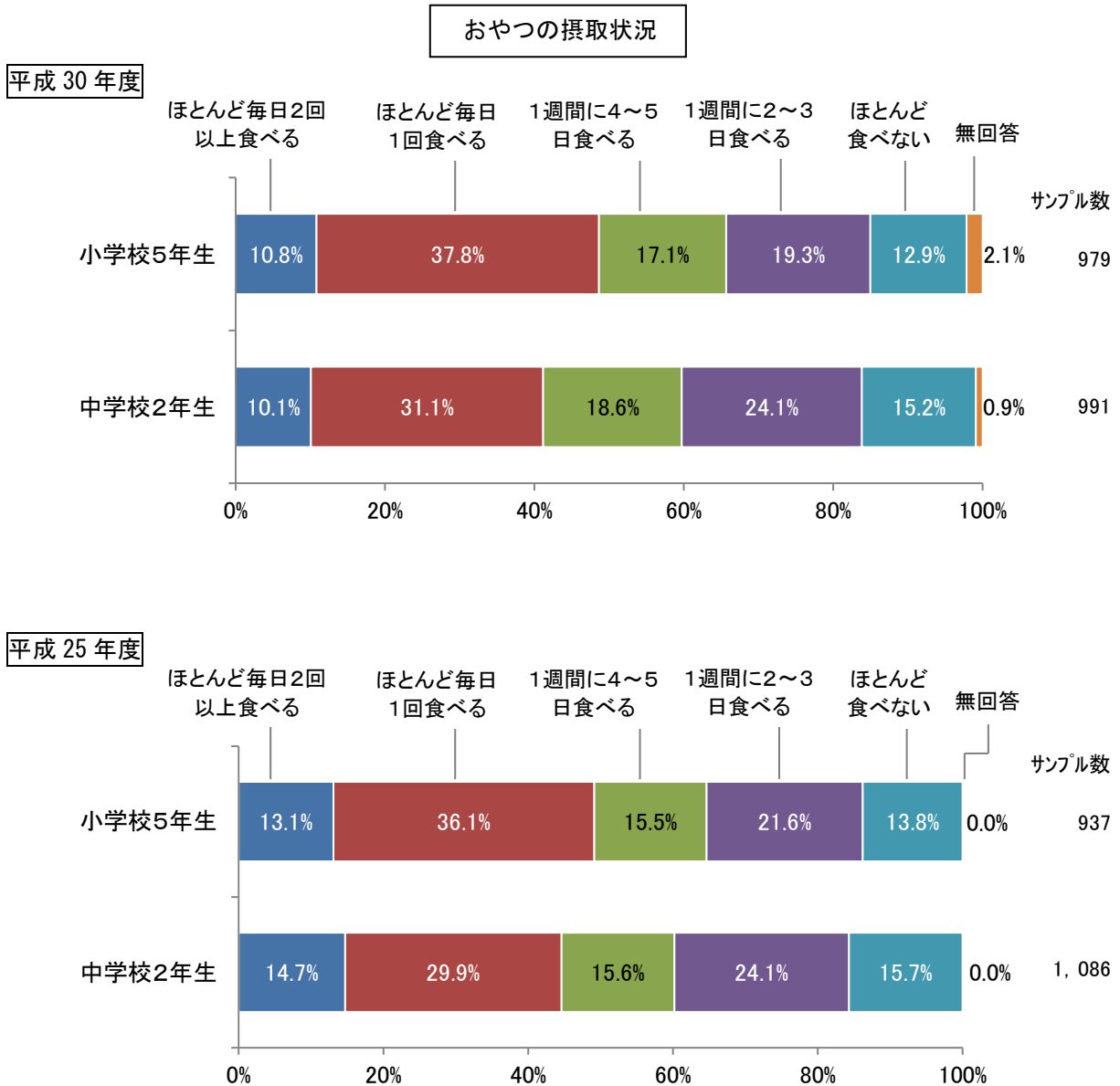
※平成 30 年度と平成 25 年度の「必ず食べる」の差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.23$, $P=0.63>0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=4050$, $P=0.03<0.05$)。

② おやつ摂取状況

おやつ摂取状況を比較すると、「ほとんど毎日2回以上食べる」と「ほとんど毎日1回食べる」を合せた「(おやつを)毎日1回以上食べる」とする割合は、小学生・中学生ともほぼ変わらない。

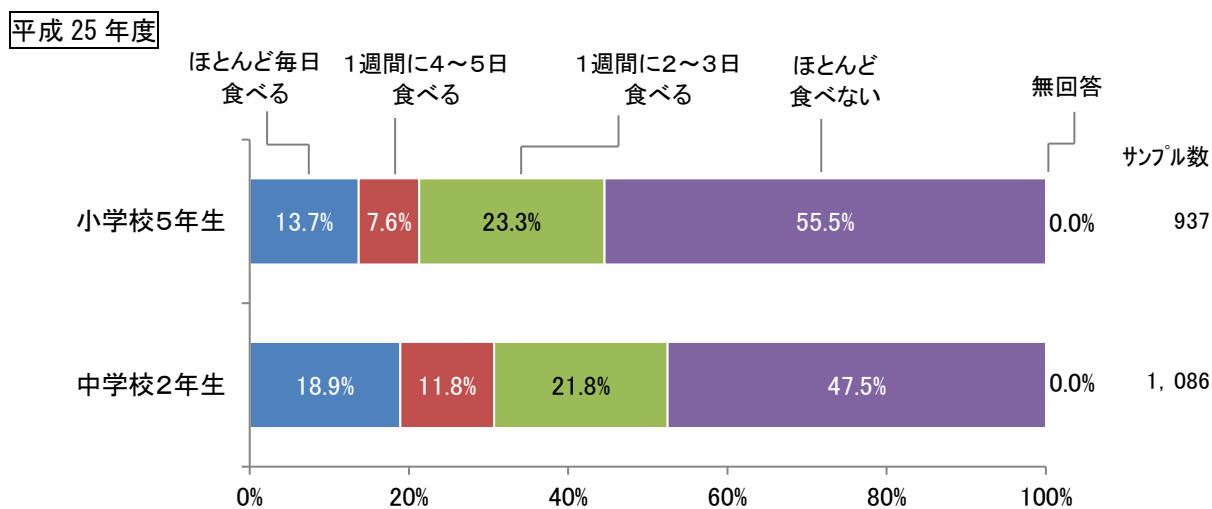
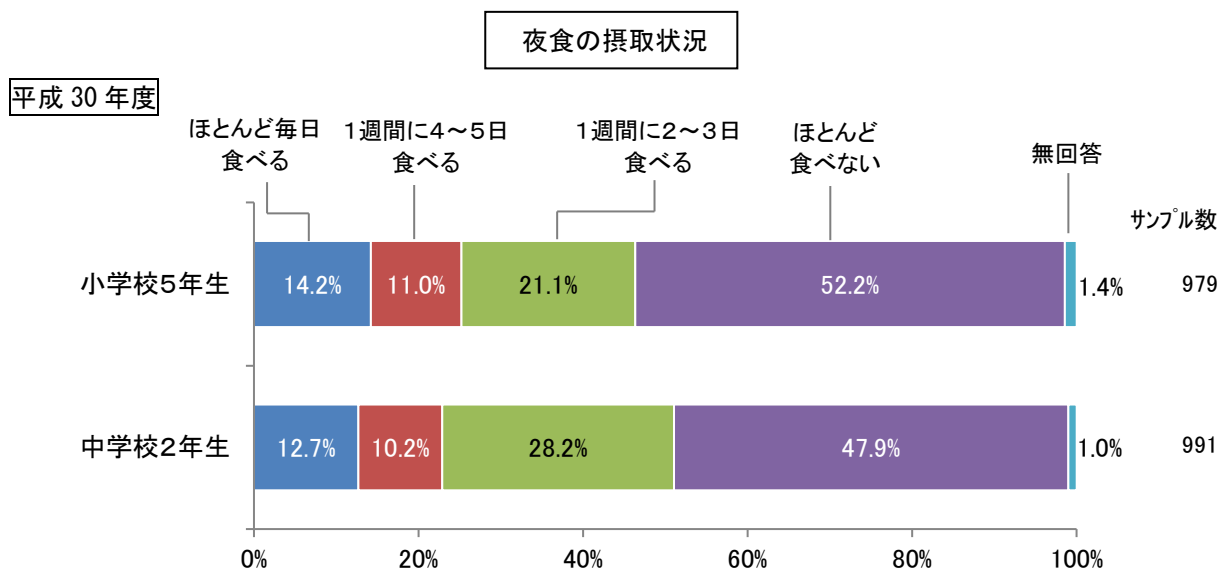


※平成 30 年度と平成 25 年度の「ほとんど毎日2回以上食べる」と「ほとんど毎日1回食べる」を合せた「(おやつを)毎日1回以上食べる」とする差について各学年でカイ二乗検定を行った。小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.06$, $P=0.80>0.05$)。中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=2.44$, $P=0.11>0.05$)。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

③ 夜食の摂取状況

夜食の摂取状況を比較すると、「(夜食を) ほとんど毎日食べる」とする割合が、中学生で、6.2ポイント低下している(18.9%→12.7%)。



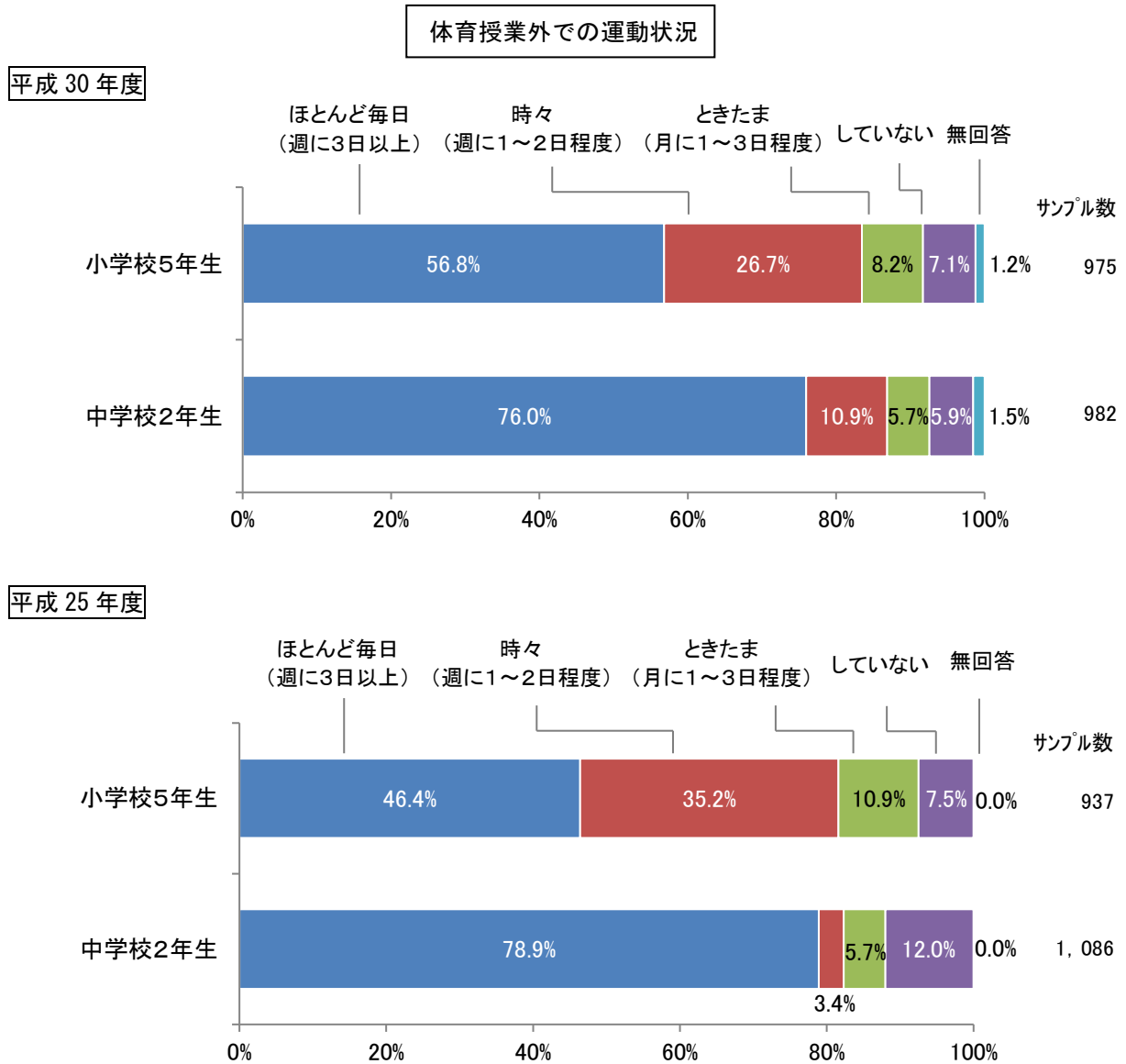
※平成 30 年度と平成 25 年度の「(夜食を) ほとんど毎日食べる」とする差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.11$, $P=0.73>0.05$)。

中学生では有意な差がみられる ($\chi^2=14.69$, $P=0.01<0.05$)。

④ 体育授業外での運動状況

体育授業外での運動状況を比較すると、「ほとんど毎日（週に3日以上）体を動かしている」とする割合が、小学生で10.4ポイント上昇している（46.4%→56.8%）。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「ほとんど毎日（週に3日以上）体を動かしている」とする差について各学年でカイ二乗検定を行った。

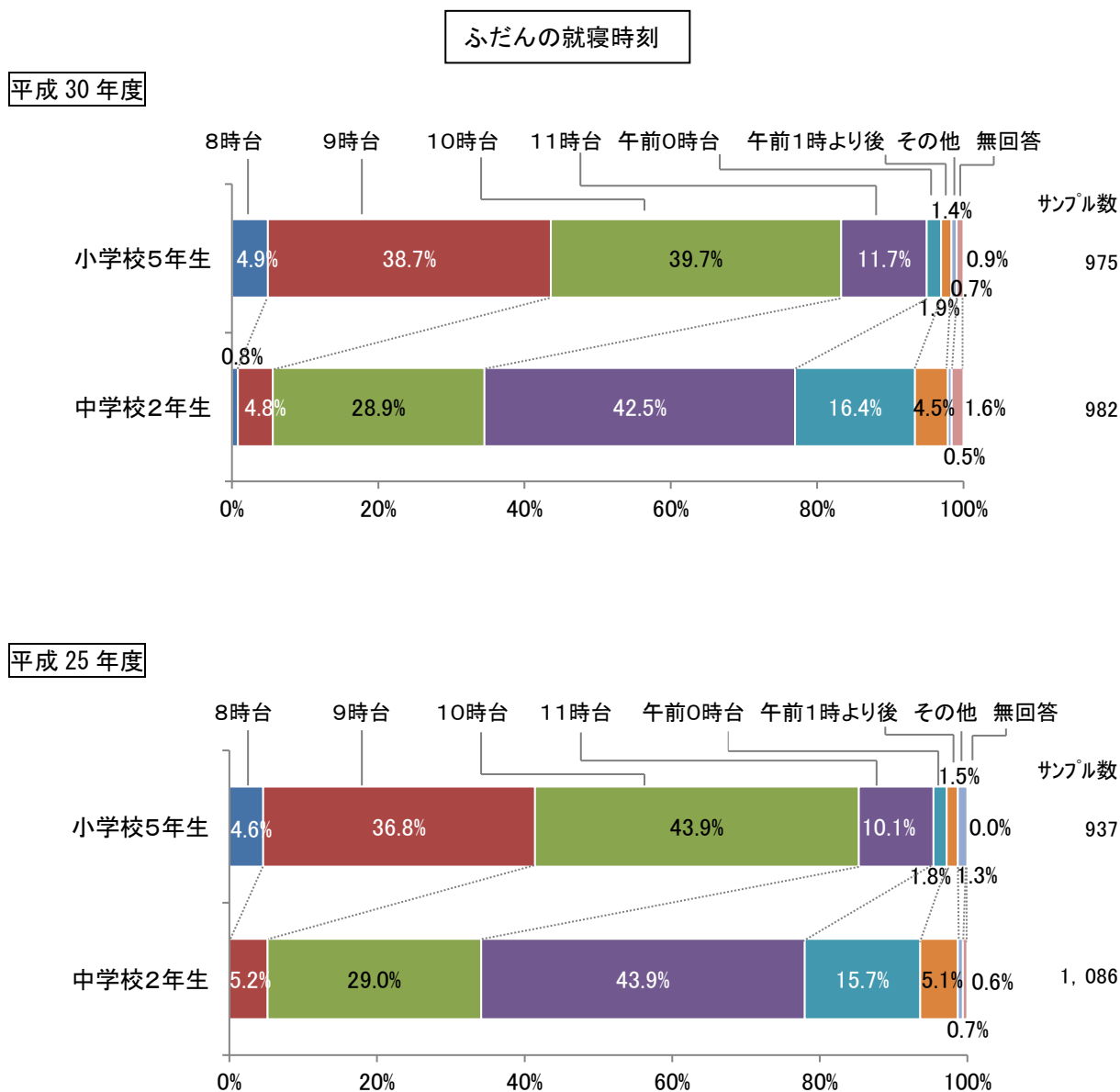
小学生では有意な差がみられる（ $\chi^2=19.8$, $P<0.01$ ）。

中学生では有意な差がみられない（ $\chi^2=3.69$, $P=0.06>0.05$ ）。

II. 食生活等の変化と食育の方向性

⑤ ふだんの就寝時刻

ふだんの就寝時刻を比較すると、「11 時前までに就寝する」とする小学生の割合と、「12 時前までに就寝する」とする中学生の割合は、ほぼ変わらない。



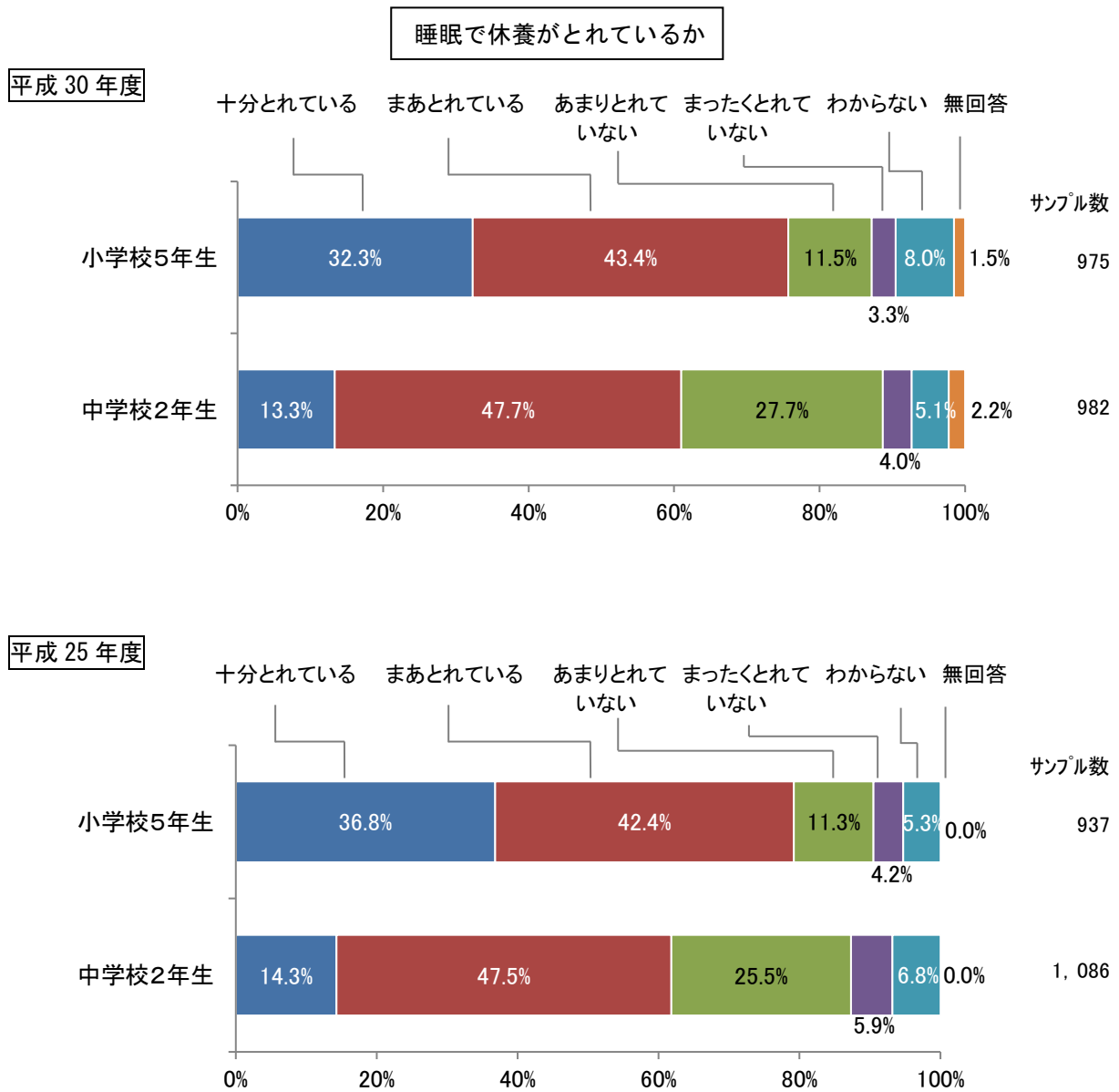
※平成 30 年度と平成 25 年度の「11 時前までに就寝する」とする差について小学生でカイ二乗検定を行った。また、「午前 0 時前までに就寝する」とする差について中学生でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=2.38$, $P=0.12>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=60.30$, $P=0.58>0.05$)。

⑥ 睡眠で休養がとれているか

睡眠で休養がとれているかについて比較すると、「十分とれている」と「まあとれている」を合わせた「(睡眠で休養が)とれている」とする割合が、小学生で3.5ポイント低下している(79.2%→75.7%)。



※平成 30 年度と平成 25 年度の「十分とれている」と「まあとれている」を合わせた「(睡眠で休養が)とれている」とする差について各学年でカイ二乗検定を行った。

小学生では有意な差がみられない ($\chi^2=3.34$, $P=0.06>0.05$)。

中学生では有意な差がみられない ($\chi^2=0.14$, $P=0.71>0.05$)。

2. これからの本県の学校における食育のありかた

(1) 調査結果の概要

① 今回調査と前回調査（平成 25 年度群馬県児童生徒の食生活等実態調査）の比較

平成 30 年度と平成 25 年度の結果を比較し、有意差検定を行った結果、児童生徒の食生活等の主な変化状況は次のとおりである。

記号の説明 ○印：向上している ▼印：低下している - 印：有意差がみられない

指針	質問事項		小学校5年生					中学校2年生				
			H20	H25		H30		H20	H25		H30	
食事はコミュニケーションの場	食事で気をつけていること	楽しく食べる	77.6	76.8	-	75.0	-	56.1	73.4	○	70.9	-
	食事のあいさつ	いつもする	74.9	78.5	-	76.1	-	55.8	71.2	○	71.9	-
	共食の状況	朝食を家族そろって食べる	31.4	29.1	-	23.9	▼	17.3	20.9	○	19.1	-
		夕食を家族そろって食べる	62.0	56.5	▼	54.8	-	53.9	59.9	○	56.8	-
	食事の協同体験	テーブルの準備	63.1	67.6	○	65.1	-	52.6	58.4	○	58.7	-
		後かたづけ	67.0	68.1	-	62.2	▼	61.2	66.9	○	66.3	-
	食事が楽しいと感じるとき	家族そろって食べるとき	39.3	37.4	-	44.9	○	22.1	26.3	○	31.3	○
学校給食への思い	みんな(友達や先生)と一緒に食べられる	67.4	60.7	▼	58.4	-	45.3	51.0	○	57.8	○	
食に関する知識・技能の習得と実践化	食育指導の状況	ある	55.8	67.4	○	78.3	○	55.8	67.4	○	74.2	○
	食事で気をつけていること	3回の食事は必ず食べる	88.0	87.8	-	84.9	-	82.4	87.4	○	83.8	▼
		栄養のバランスを考えて食べる	34.1	38.4	-	43.4	○	24.2	38.7	○	43.5	○
	食に関する知識	食品の主な働き(正答率)	70.7	69.1	-	67.9	-	79.1	80.9	-	79.8	-
	食品への関心	生産地や旬を考える	57.1	49.7	▼	51.9	-	42.7	45.1	-	50.4	○
		栄養成分表示を参考にする	45.2	44.8	-	42.0	-	41.2	45.3	-	37.3	▼
	好ききらいの有無	何でも食べる	20.0	24.1	○	23.9	-	22.7	29.1	○	30.4	-
調理技能の習得	米飯を炊ける	68.8	72.8	-	72.5	-	80.6	82.9	-	85.4	-	
	みそ汁を作れる	53.1	52.3	-	50.9	-	72.7	77.4	○	75.7	-	
ダイエット経験	やせたいと思って実行したことがある		26.3	△	26.2	-	28.4	25.6	-	25.9	-	
健康的な生活習慣の形成	朝食	必ず食べる	90.3	89.9	-	89.2	-	83.9	88.7	○	85.6	▼
	間食	ほとんど毎日食べる	47.1	49.2	-	48.6	-	43.5	44.7	-	41.2	-
	夜食	ほとんど毎日食べる	14.7	13.7	-	14.2	-	18.3	18.9	-	12.7	○
	体育授業以外での運動状況	週に3回以上	61.4	46.4	-	56.8	○	80.8	78.9	-	76.0	-
	ふだんの就寝時刻	午前0時前(小学生は11時前)	82.5	85.3	-	83.3	-	73.4	78.9	○	77.0	-
	睡眠による休養	とれている	76.2	79.2	-	75.7	▼	51.6	61.8	○	61.0	-

(2) 調査結果からみた主な課題と本県の学校における食育の方向性

本県の児童生徒の食をめぐる状況としては、本調査が平成 15 年に実施されて以降、小学生については平成 20 年度調査の時点で、中学生においては平成 25 年度の調査の時点で、課題の改善が大幅に進んだ。今回の調査結果においては、大きな変化は見られないが、小学生、中学生ともに、これまでの食に関する指導で学んだ知識や技能を活かし、自分の生活を改善している様子が見えてくる。

今回の調査で改善がみられた点としては、小学生・中学生ともに、学校において食に関して学習する機会が増加し、栄養バランスを考えて食べる児童生徒が増加している。中学生においては、食品に対する関心が高まり、生産地や旬（季節）について考える生徒が増加している。また、「家族そろって食べる時」や「友達や地域のグループの仲間と食べる時」を食事が楽しいと感じている小学生、中学生が増加している。

しかしながら、共食の状況として、朝食を家族そろって食べる小学生の割合が減少し、夕食を家族そろって食べることに限っては、小学生、中学生ともに減少傾向にある。「家族そろって食べる時」「友達や地域のグループの仲間と食べる時」を食事が楽しいと感じている小学生、中学生が増加している一方で、家族そろって食事をするのが難しくなっている状況がある。

家族が食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図ることは食育の原点であり、共食を通じて、食の楽しさを実感するだけでなく、食や生活に関する基礎を習得する機会にもなっていく。家庭や学校給食、地域のグループで、家族や仲間と食事をする機会を増やすとともに、共食の質を高めていくことが望まれる。

これらのことから、今後の学校における食育の方向性は、これまでの基本的なあり方である「みんなが楽しくコミュニケーションを図りながら食事をする」を踏襲しつつ、学習指導要領に基づき、本県の食に関連する各種計画※との関連を図りながら、学校・家庭・地域等、様々な関係者がそれぞれの特性を生かしながら、連携・協働して食育の取組を推進していくこととする。

※（参考）本県の食に関する各種計画

「第 2 期群馬県教育振興基本計画」「第 14 次群馬県総合計画 はばたけぐんまプラン」

「群馬県健康増進計画 元気県ぐんま 21（第 2 次）」

「群馬県食育推進計画（第 3 次） ぐんま食育こころプラン」

II. 食生活等の変化と食育の方向性

調査結果からみた本県の学校における食育の方向性を次に示す。

①学校 ～教育活動全体を通じた食育の推進～

－ 1 知識・技能の習得と実践化

学校においては、食に関する指導の全体計画や学年別年間指導計画に基づき、教科等の授業の中で、食育関連内容を踏まえた指導を確実に実施することにより、食に関する知識と技能を身に付けられるようにする。

特に、食に関する指導を中核的に行う教科である家庭科においては、栄養に関する知識や調理技能を確実に身に付けることができるよう指導する。

－ 2 豊かな体験活動の工夫

食に関する指導に際しては、体験活動の工夫を図り、五感を使った体験を通して食の大切さや感謝の気持ちについて実感を伴って理解できるようにする。

－ 3 学校給食を通じた指導の充実

学校給食の時間は、児童生徒が教科等で学んだ食に関する知識や技能等を、発達の段階に応じて総合的に身に付けることができるよう、食育を推進する際の中心的な指導の場となるようにする。

特に、地場産物を活用した学校給食の提供を通じて、産業や文化に関心を持たせ、自然の恩恵や生産者への感謝の心を育めるようにする。

また、学校給食は児童生徒相互、児童生徒と教職員、親子、地域の人々などとの共食の場であり、楽しい会食を通して豊か人間関係を育めるようにする。

－ 4 個別指導の充実

担任と養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員等が連携し、生活習慣の改善等、個に応じた指導の充実を図る。

・偏食 ・肥満 ・ダイエット ・食物アレルギー ・スポーツ栄養等

②家庭・地域 ～健康的な生活習慣の形成・心豊かな食生活の創造～

－ 1 食事・運動・休養及び睡眠の調和 ～朝食は生活習慣のバロメーター～

学習や生活の基盤となる望ましい生活習慣を形成することができるよう、学校と家庭・地域が連携し、朝食摂取を核とした取組を推進していく。特に、よりよい生活リズムを形成す

る視点から、児童生徒の実情に応じた取組を工夫していく。

(取組の例)

- ・各種便り、学校ホームページによる啓発
- ・学校保健委員会による発表
- ・弁当の日の実施
- ・食育の視点を取り入れた授業参観の実施
- ・学校ホームページの活用
- ・給食試食会の実施
- ・招待給食の実施
- ・チェックカード等の活用による生活習慣改善に関する取組の実施

－ 2 調理技能の習得

食生活の自立を図る観点から、栄養のバランスを考えた調理ができるよう、基礎的な技能の習得が求められている。家庭科の授業で学んだことを生かしたり、家族と一緒に調理をする機会を持ったりすることにより、調理技能を身に付けられるようにする。

－ 3 社会性の涵養

共食による食卓を囲んでの家族の会話や学校給食の場を通じ、豊かな人間性を築くために必要なコミュニケーション能力を育成するとともに、マナーを身に付け、社会のルールや人に対する思いやりを育めるようにする。

③ 食に関する指導体制の整備

食育を適切に推進できるよう、食に関する指導の現状と課題に基づいた研修を通して、学校と家庭・地域社会が連携して食に関する指導を実施できるようにする。特に、学校においては、食に関する指導の全体計画に基づいた「学年別年間指導計画」を活用することを通して、教職員の共通理解を図り、栄養教諭・学校栄養職員と連携して、組織的に食に関する指導を実践できるようにする。

調査結果を踏まえた本県の学校における食育推進の方向性

「ぐんま食育こころプランー群馬県食育推進計画（第3次）ー」基本理念
食の大切さを理解し、食を通して豊かな人間性を育む

群馬県教育委員会食育基本方針

食事は楽しく、ともに語らいながら

- 朝食欠食の改善
- 共食の推進
- 野菜嫌いの解消
- 調理技能の習得
- 食品に関する知識の定着（旬、栄養）
- 不適切な間食・夜食摂取の解消

学 校

～教育活動全体を通じた食育の推進～

知識・技能の習得と実践化

- 「家庭科」「体育」「特別活動」をはじめ、各教科等における指導を通して、食に関する知識と技能を身に付ける

豊かな体験活動の工夫

- 「生活科」や「総合的な学習の時間」では、豊かな体験活動を工夫し、食に関する実感を伴った理解を促す

学校給食を通じた指導の充実

- よく噛んで、食材のおいしさを味わう
- 望ましい食習慣や好ましい人間関係の形成を図る
- 自然の恩恵などへの感謝、食文化、食料事情など、教科等と関連を図った指導を行う

個別指導の充実

- 生活習慣の見直し・改善に関する個に応じた指導を行う

学
習
内
容
を
情
報
発
信

学
校
生
活
に
活
か
す

家 庭・地 域

～健康的な生活習慣の形成～

食事・運動・休養及び睡眠の調和

～朝食は生活習慣のバロメーター～

- 「早寝、早起き、朝ごはん」運動により、生活リズムの向上を図る
- 栄養バランスのよい食事をとる
- 体を動かす習慣を付ける

～心豊かな食生活の創造～

調理技能の習得

- 家族と一緒に調理をする機会をもち、調理技能を身に付ける
- 栄養のバランスを考えた調理ができるようにする

社会性の涵養

- 食事の準備、後片付け等の作業に参加し、協同的に取り組む態度を育てる
- 家族や地域の仲間と楽しく食事することを通して、コミュニケーション能力を高め、マナーを身に付ける

食に関する指導体制の整備 ～学校・家庭・地域の連携～

- 学校：指導の推進体制の整備、全体計画・学年別年間指導計画の見直し、家庭への情報発信
- 家庭：学校と連携した取組の実践、望ましい生活習慣の形成、食に関する生活体験の実施
- 地域：学校と連携した体験活動の推進、学校給食における地場産物の活用

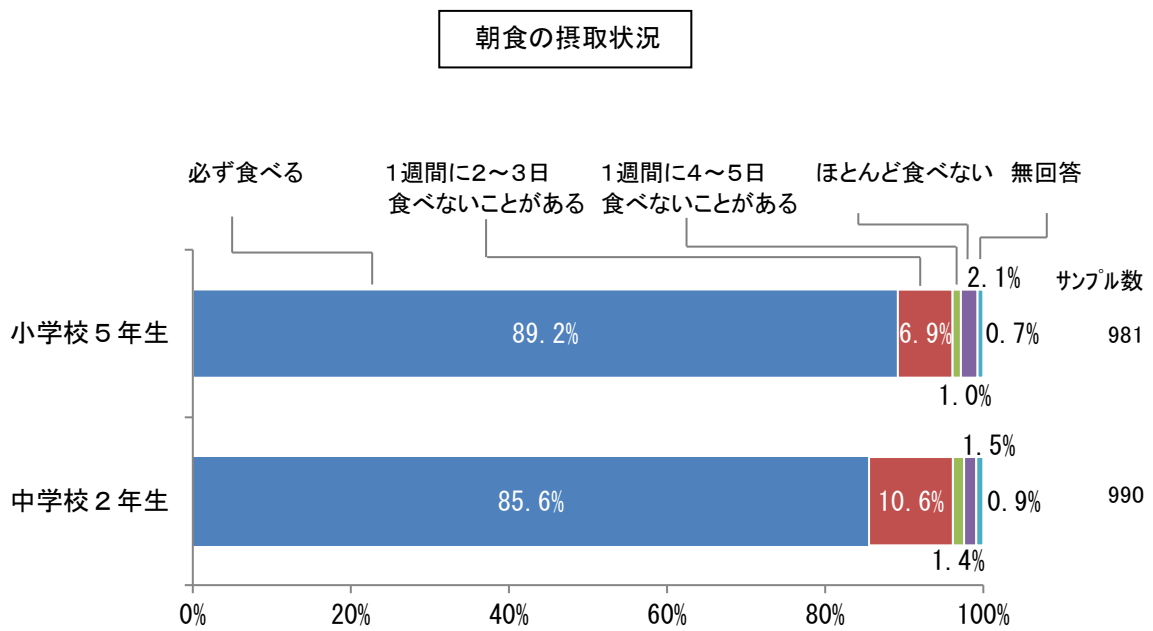
Ⅲ. 調査結果（単純集計）

1. 食事状況

（1）朝食

① 食の摂取状況

朝食の摂取状況としては、小学生が約9割、中学生約8割半が毎日朝食を摂っている。

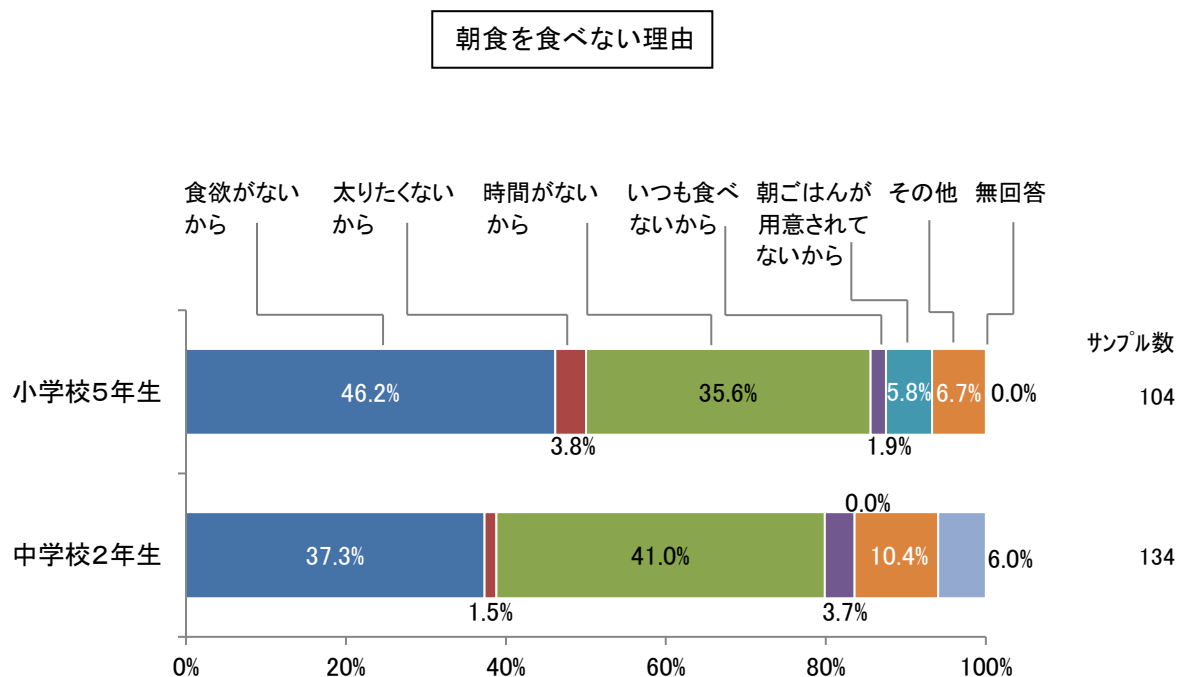


Ⅲ. 調査結果（単純集計）

② 朝食を食べない理由

朝食を食べない最も多い理由として、小学生は「食欲がないから」で4割半、中学生は「時間がないから」で約4割となっている。

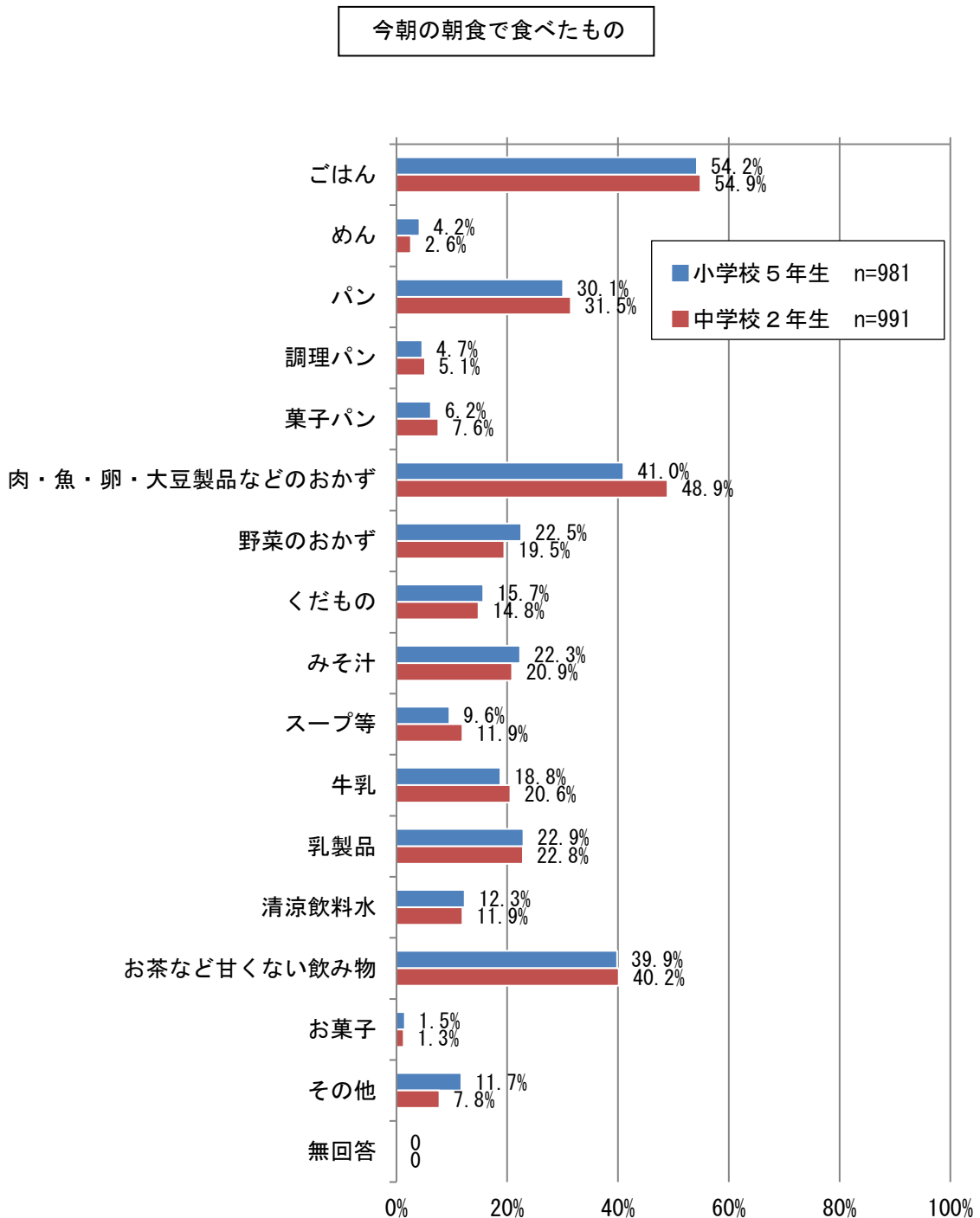
※朝食を一週間に2～3日以上食べないことがあると回答した児童生徒を対象に集計



③ 今朝の朝食で食べたもの

朝食で食べたものとしては、小学生、中学生も「ごはん」が最も高く（小学生 54.2%、中学生 54.9%）、「肉・魚・卵・大豆製品などのおかず」が続く（小学生 41.0%、中学生 48.9%）。小学生、中学生ともに、主食では、パンよりもごはんを摂る割合が高く、おかずでは、野菜のおかずよりも肉・魚等のおかずを摂る割合が高くなっている。

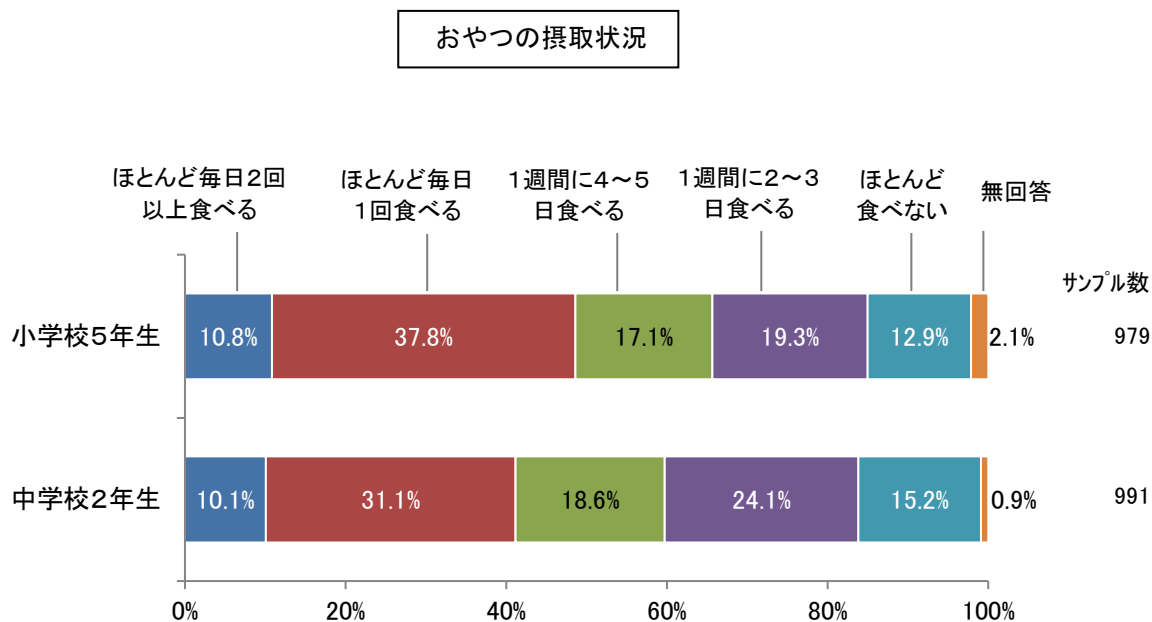
※今朝、朝食を食べたと回答した児童生徒を対象に集計



（２）間食・夜食

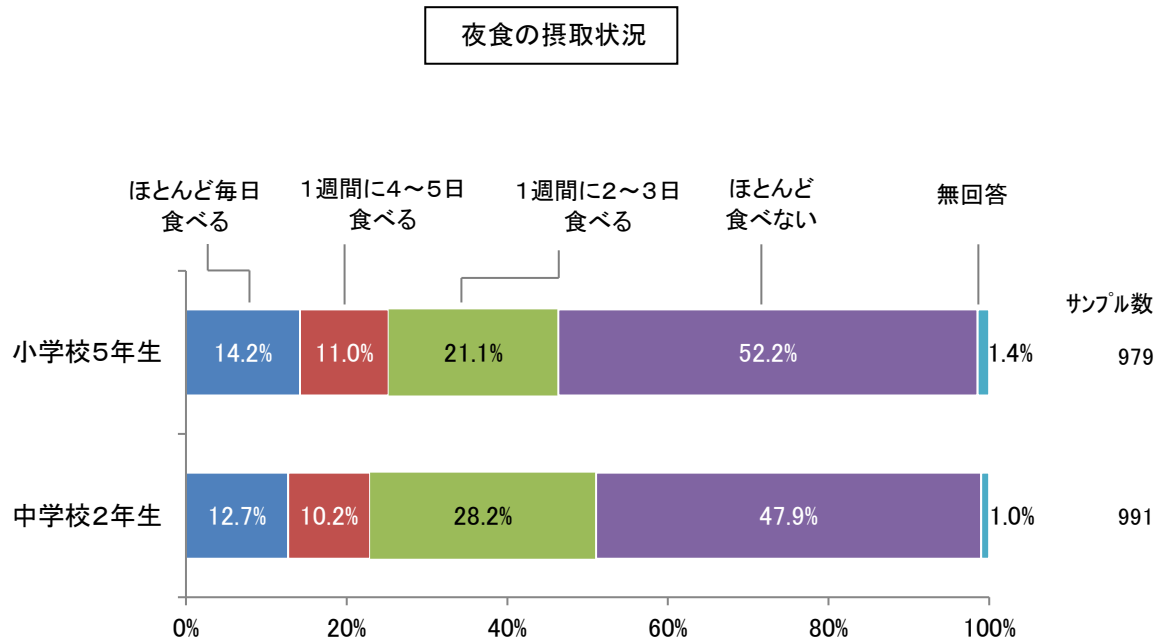
① おやつ摂食状況

おやつの摂取状況としては、「ほとんど毎日2回以上食べる」と「ほとんど毎日1回食べる」を合わせた「(おやつを) 毎日食べる」割合をみると、小学生は約5割、中学生で約4割となっている。



② 夜食の摂食状況

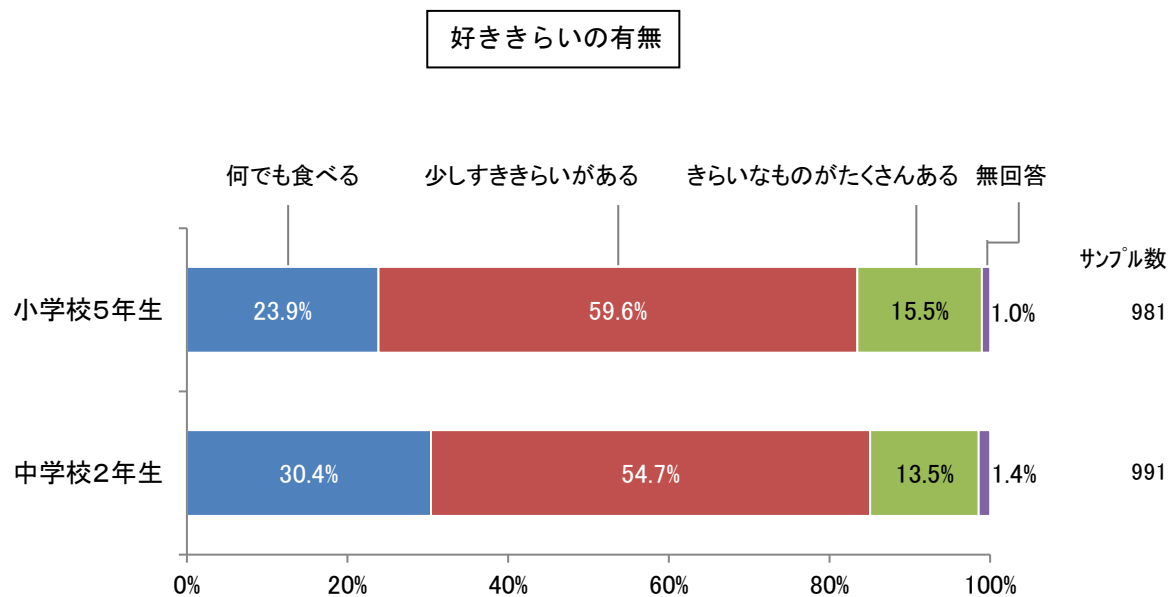
夜食の摂取状況としては、「(夜食を) ほとんど毎日食べる」とする割合は、中学生に比べ小学生が高くなっている（小学生 14.2%、中学生 12.7%）。また、「ほとんど食べない」とする割合も、中学生に比べ小学生が高くなっている（小学生 52.2%、中学生 47.9%）。



（３）好ききらい

① 好ききらいの有無

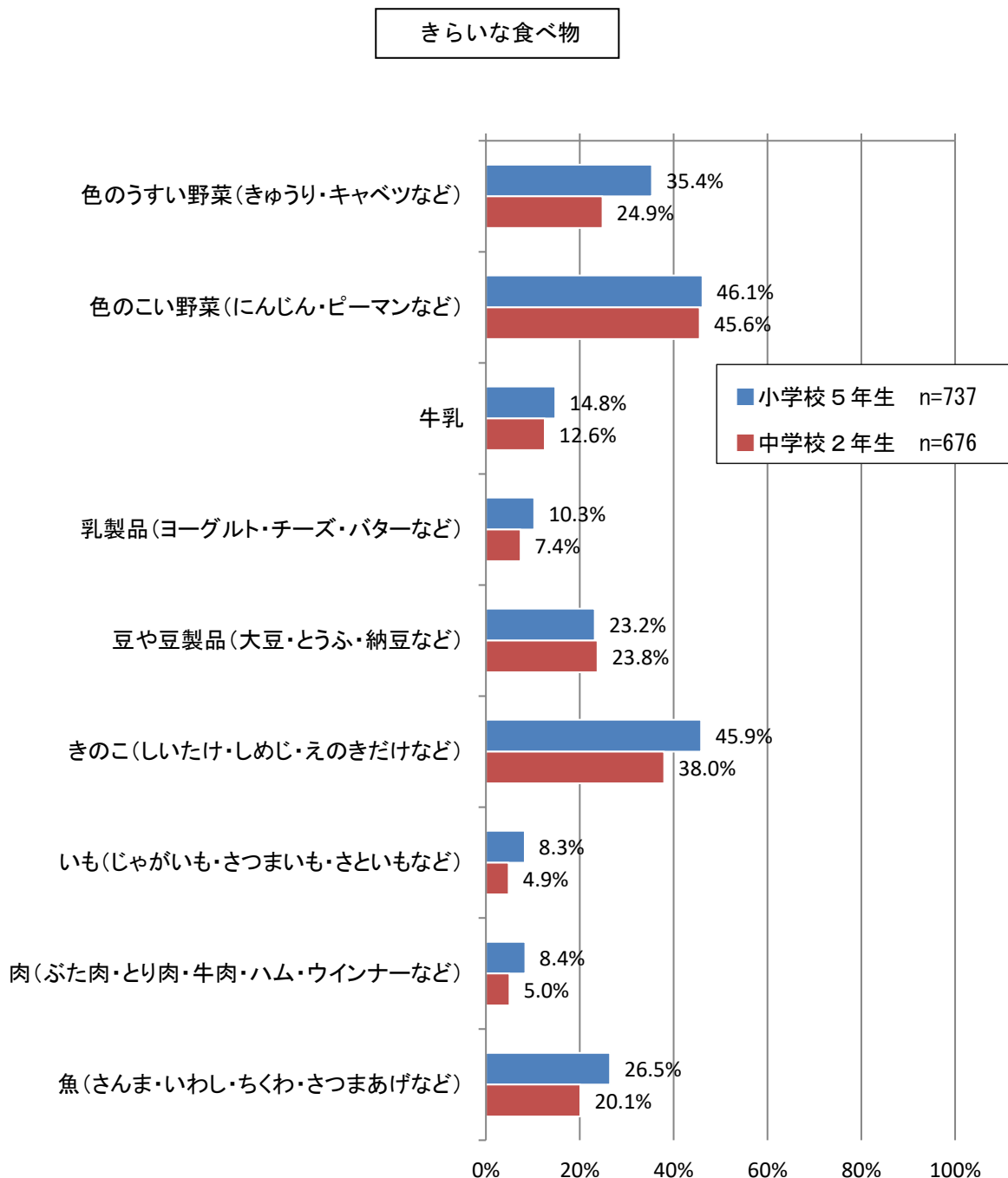
好ききらいの有無としては、小学生 23.9%、中学生 30.4%が「(好ききらいなく) 何でも食べる」としている。小学生に比べ中学生の方が「何でも食べる」とする割合が高い。一方、「きれいなものがたくさんある」は、小学生 15.5%、中学生 13.5%となっている。



② きらいな食べ物

きらいな食べ物としては、小学生、中学生とも「色のうすい淡色野菜」「色のこい緑黄色野菜」「きのこ」が高い。また、「色のうすい淡色野菜」「色のこい緑黄色野菜」「きのこ」とも、中学生に比べ小学生の割合が高くなっている（「色のうすい淡色野菜」小学生 35.4%、中学生 24.9%、「色のこい緑黄色野菜」小学生 46.1%、中学生 45.6%、「きのこ」小学生 45.9%、中学生 38.0%）。

※好ききらいがあると回答した児童生徒を対象に集計

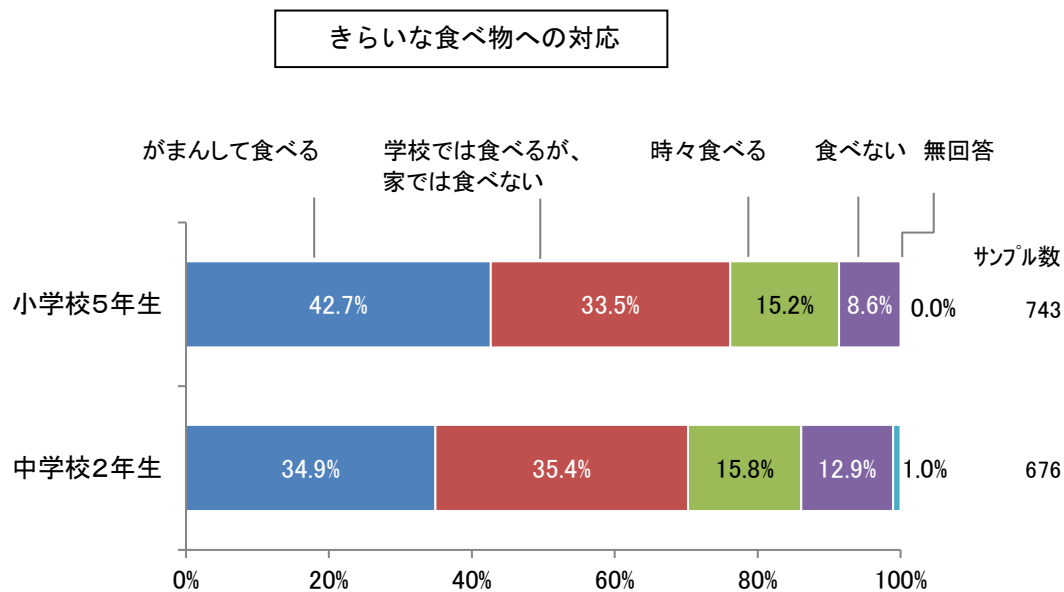


Ⅲ. 調査結果（単純集計）

③ きらいな食べ物への対応

きらいな食べ物への対応としては、小学生 42.7%、中学生 34.9%が「がまんして食べる」としている。中学生に比べ小学生の方が我慢して食べる割合が高くなっている。一方、「食べない」とする割合は、小学生 8.6%、中学生 12.9%となっている。

※好ききらいのあると回答した児童生徒を対象に集計

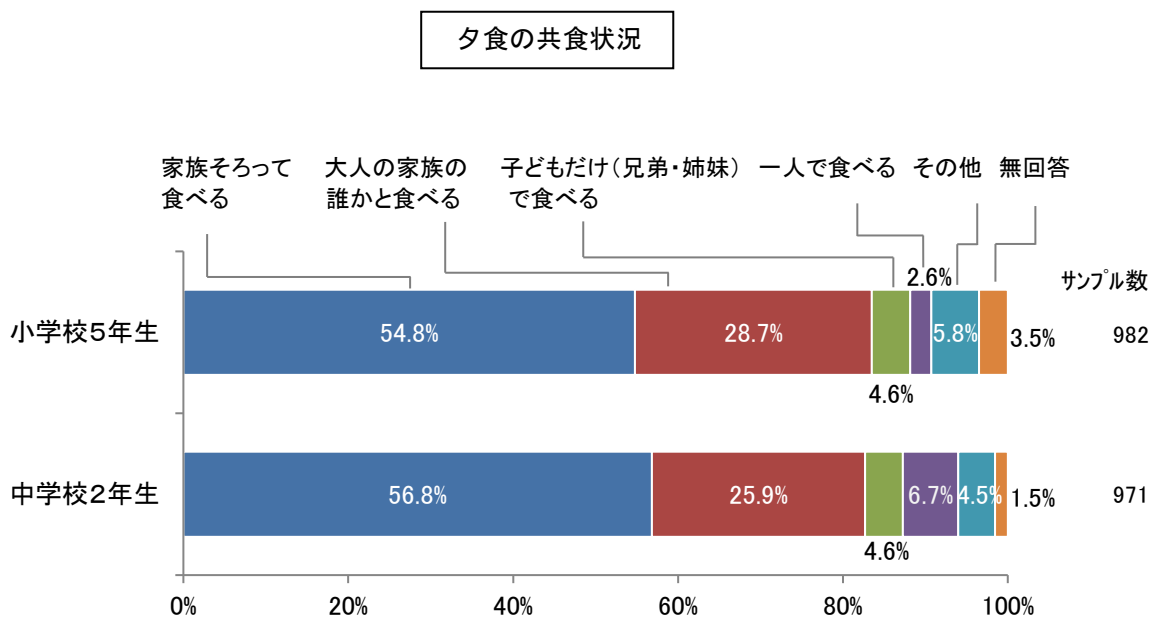
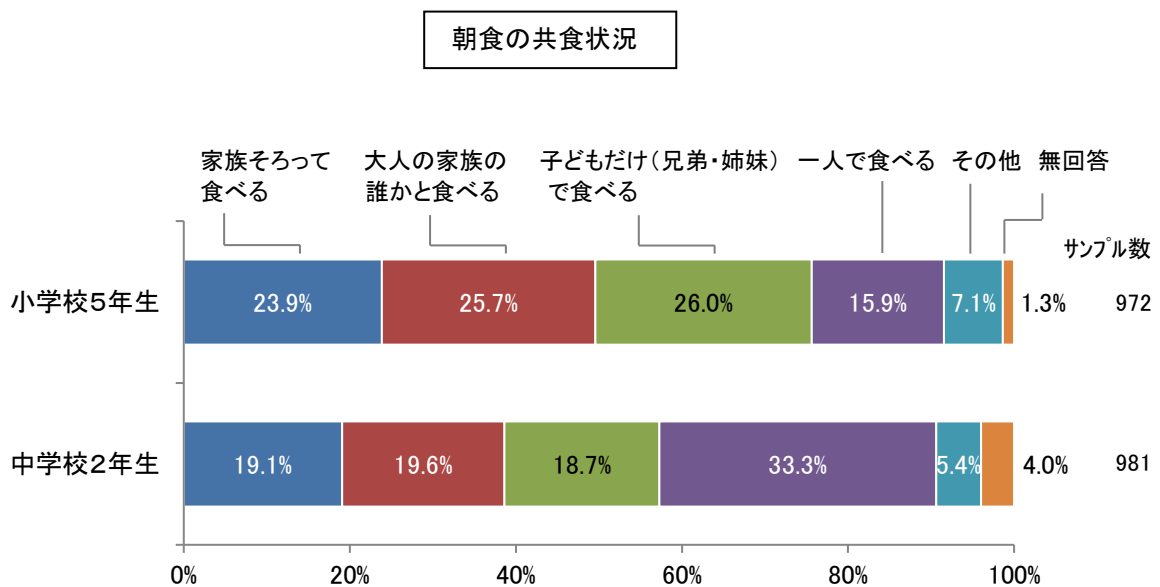


（４）食事環境

① 共食状況（朝食・夕食）

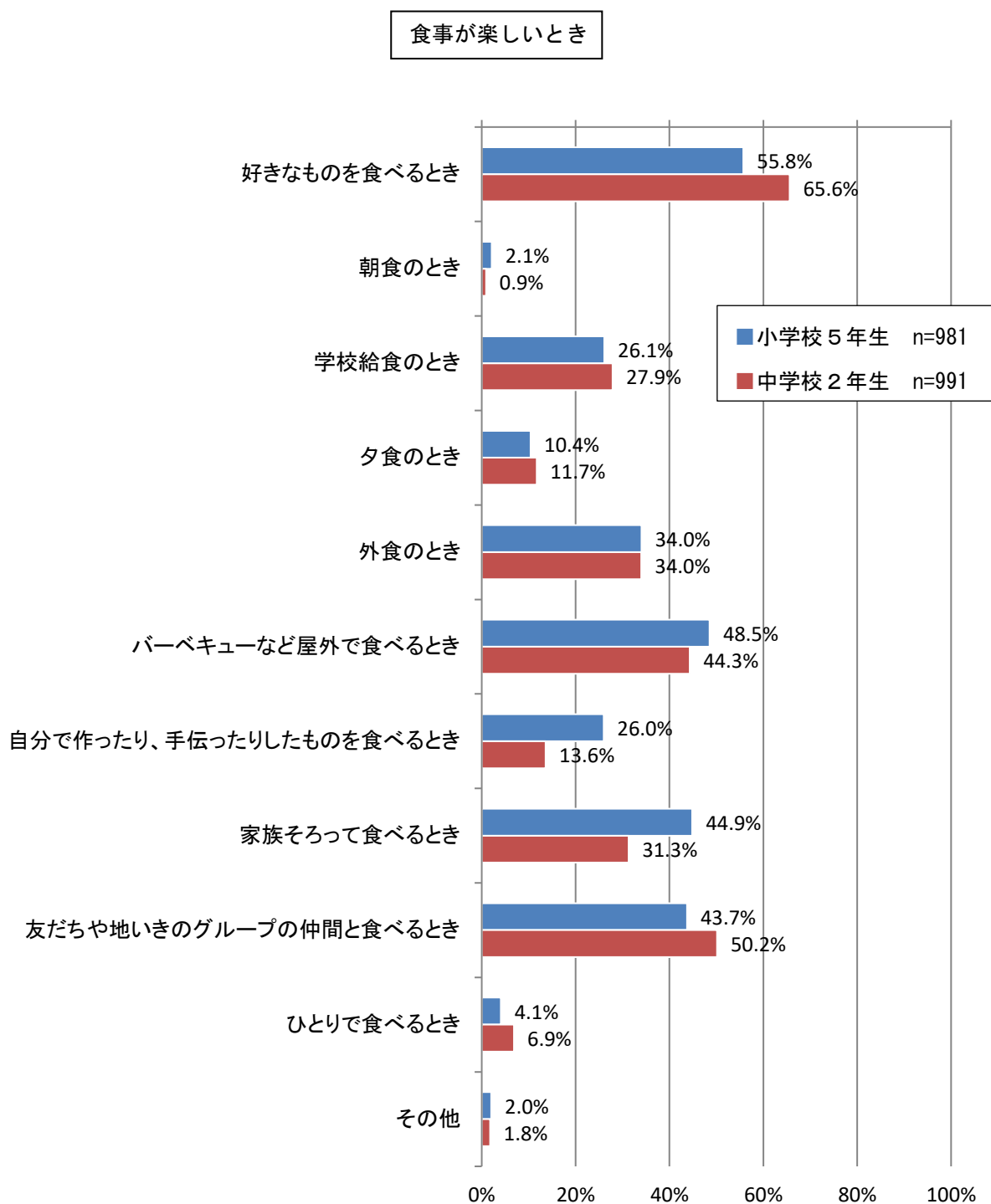
朝食の共食状況としては、「(朝食を)家族そろって食べる」とする割合が、小学生 23.9%、中学生 19.1%となっている。一方、「一人で食べる」とする割合は、小学生 15.9%、中学生 33.3%となっている。

夕食の共食状況としては、「(夕食を)家族そろって食べる」とする割合が、小学生 54.8%、中学生 56.8%となっている。一方、「一人で食べる」とする割合は、小学生 2.6%、中学生 6.7%となっている。



② 食事が楽しいとき

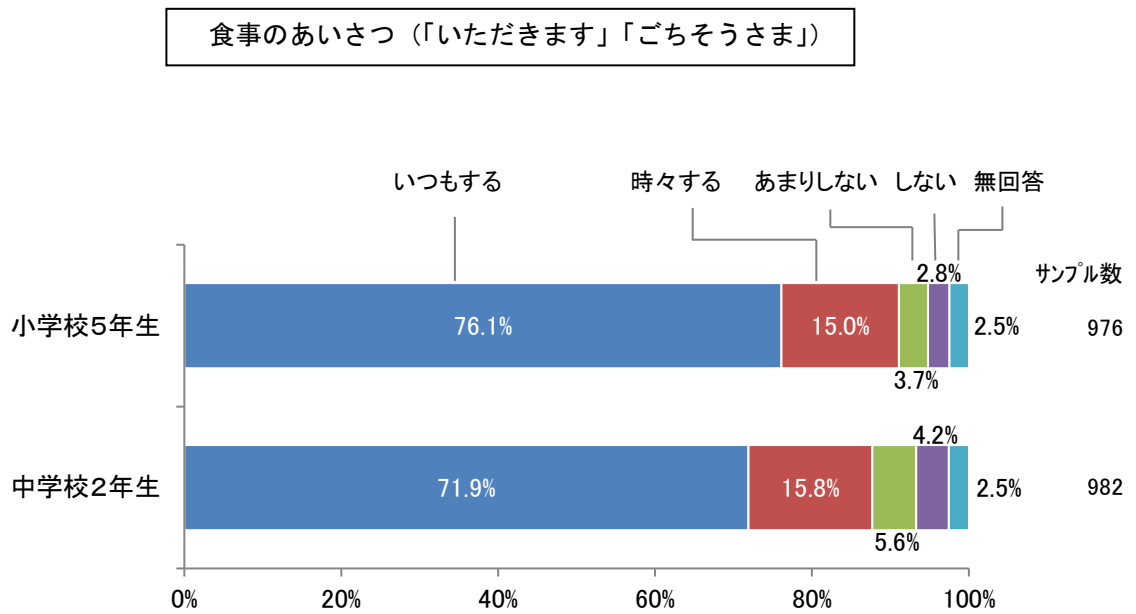
食事が楽しいときについては、小学生、中学校とも「好きなものを食べる時」が最も高い。「家族そろって食べる時」については、中学生に比べ小学生で高くなっている（小学生 44.9%、中学生 31.3%）。また、「友達や地域のグループの仲間と食べる時」については、小学生比べ中学生で高くなっている（小学生 43.7%、中学生 50.2%）。



（５）食事マナー

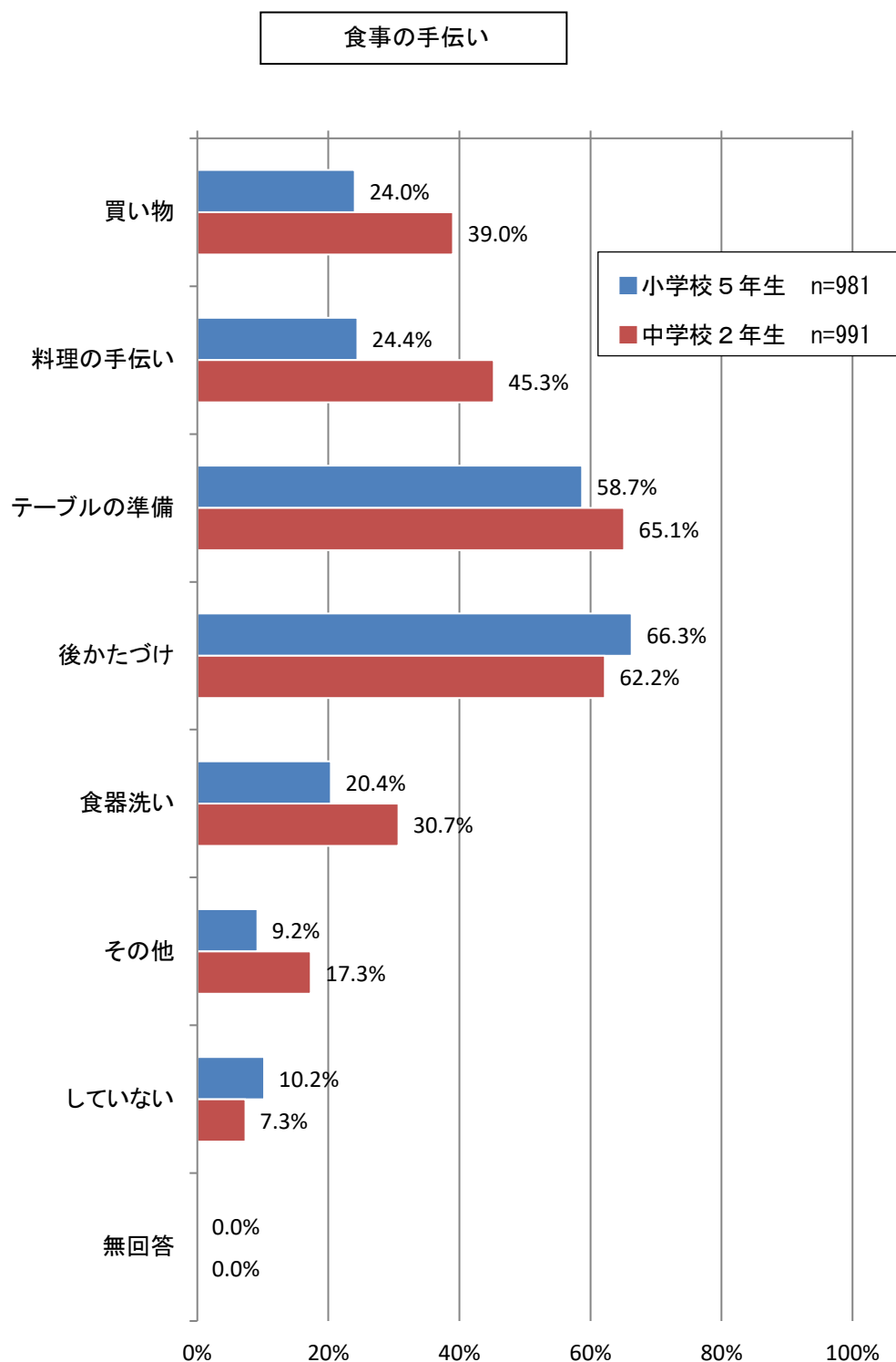
① 食事のあいさつ

食事のあいさつ状況としては、小学生 76.1%、中学生 71.9%が「(食事のときのあいさつを) いつもする」としている。中学生に比べ、小学生の方があいさつをいつもする割合が高い。



② 食事の手伝い（生活経験）

食事の手伝い（生活経験）としては、小学生は「後かたづけ」とする割合が最も高く、中学生は「テーブルの準備」が高い。また、「(手伝いを) していない」は小学生10.2%、中学生7.3%となっている。

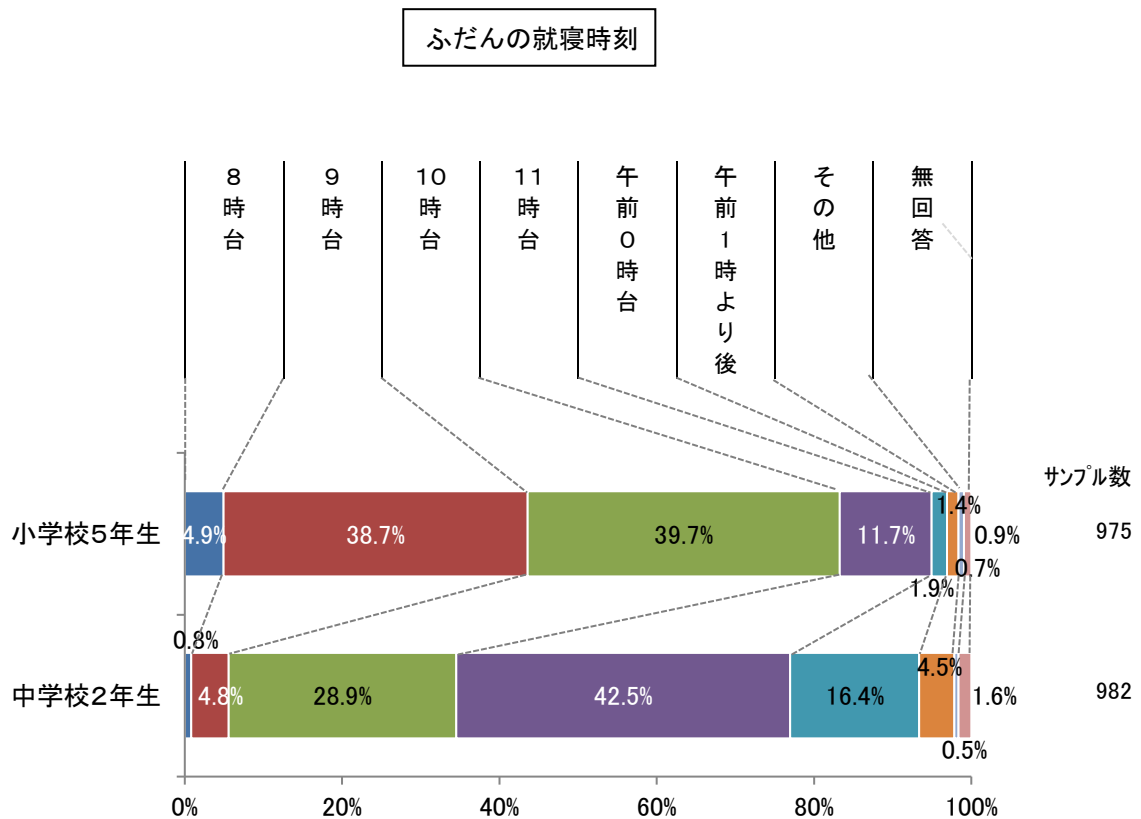


2. 休養、排便と運動

（1）休養

① ふだんの就寝時刻

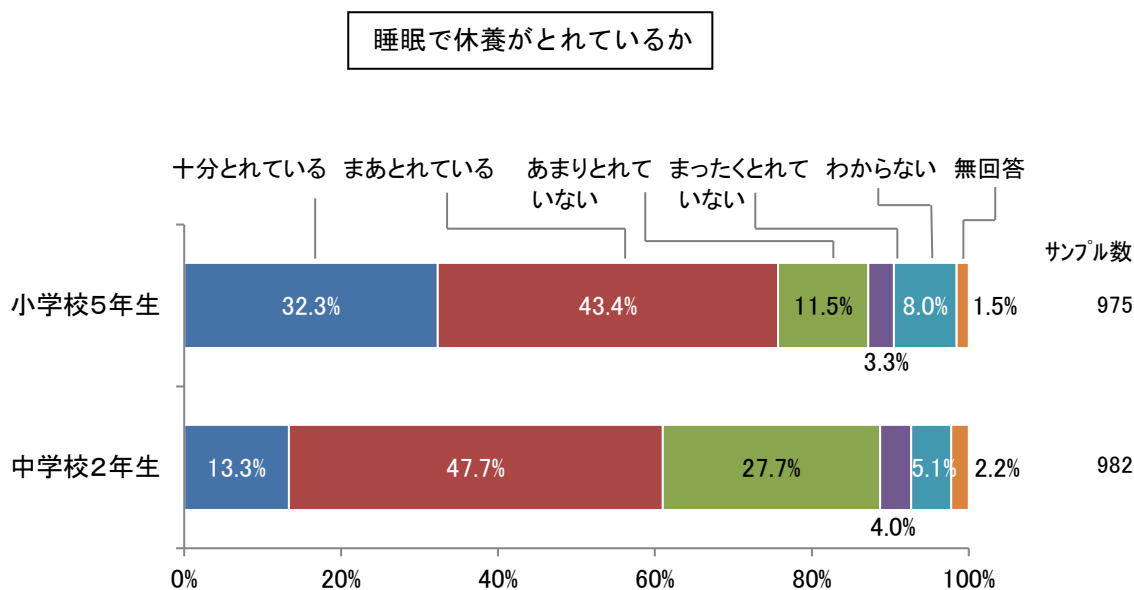
ふだんの就寝時刻としては、小学生で「10時台」、中学生で「11時台」の割合が最も高くなっている。午前0時以降に就寝している児童生徒は、小学生3.3%、中学生20.9%となっている。小学生に比べ中学生は就寝時刻が遅くなる傾向がみられる。



	8時台	9時台	10時台	11時台	午前0時台	午前1時より後	その他	無回答
小学校5年生	4.9%	38.7%	39.7%	11.7%	1.9%	1.4%	0.7%	0.9%
中学校2年生	0.8%	4.8%	28.9%	42.5%	16.4%	4.5%	0.5%	1.6%

② 睡眠で休養がとれているか

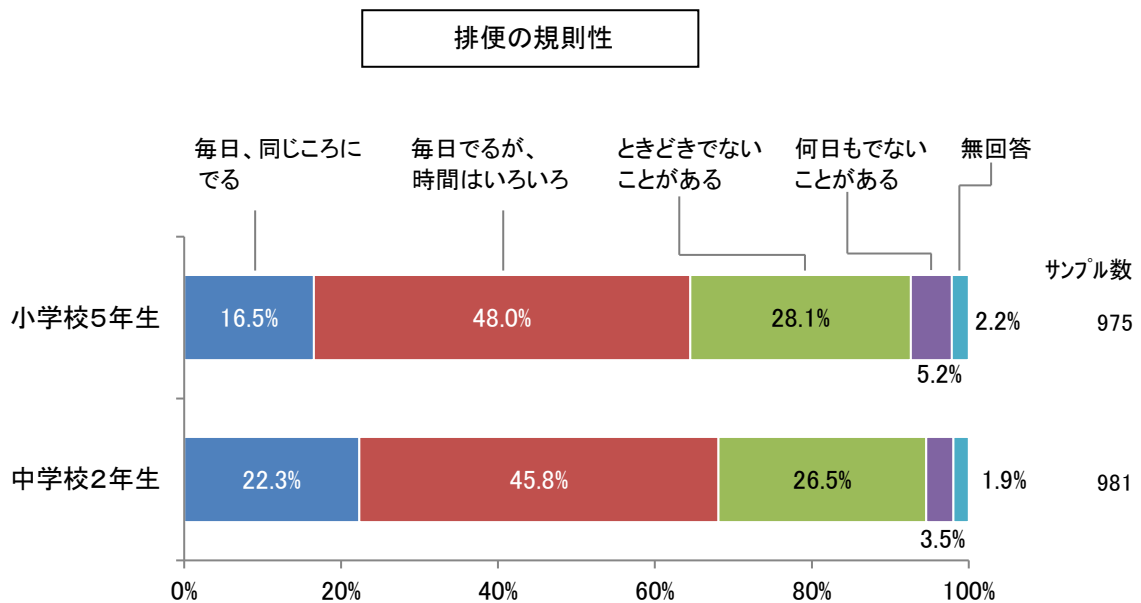
睡眠で休養がとれているかについては、「十分とれている」と「まあとれている」を合わせた「(睡眠で休養が)とれている」とする割合をみると、小学生75.7%、中学生61.0%となっている。中学生に比べ、小学生に睡眠で休養がとれているとする割合が高い。特に、「十分とれている」とする割合をみると、中学生に比べ小学生の割合が高くなっている（小学生32.3%、中学生13.3%）。



（２）排便の規則性

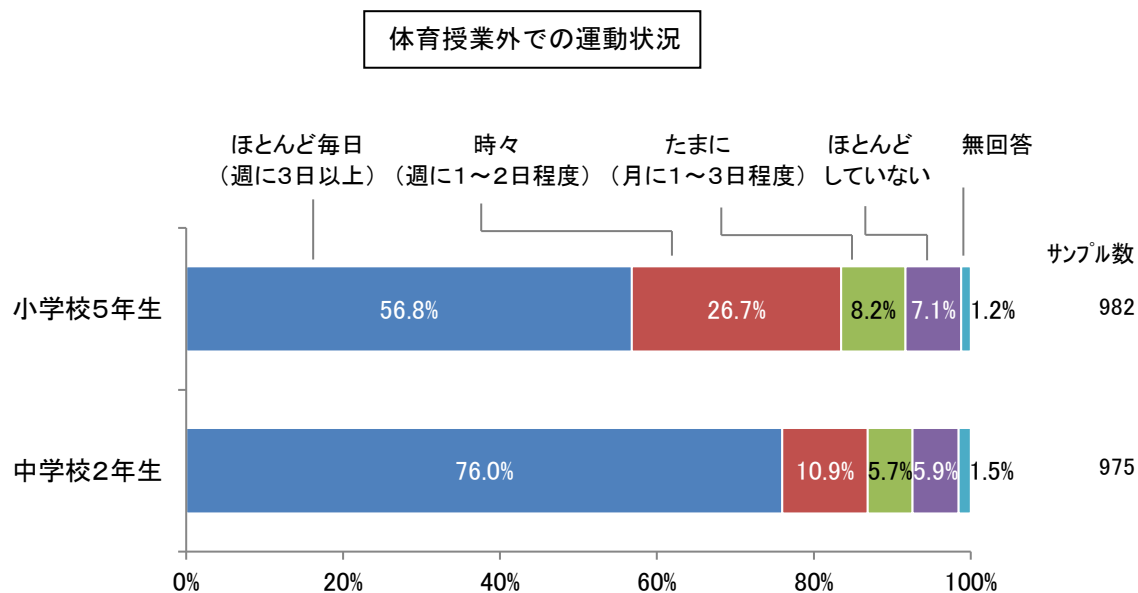
排便の規則性としては、「(便が) 毎日同じころにでる」と「毎日であるが、時間はいろいろ」を合わせた「毎日である」とする割合は、小学生、中学生、高校生とも約6割となっている（小学生64.5%、中学生68.1%）。

また、「(便が) 毎日同じころにでる」割合は、小学生で約1割半、中学生では約2割であり、小学生に比べ中学生の割合が高くなっている。（小学生16.5%、中学生22.3%）。



（３）体育授業外での運動状況

体育授業外での運動状況としては、「(体育授業外で)ほとんど毎日(体を)動かしている」とする割合をみると、小学生 56.8%、中学生 76.0%となっている。小学生に比べ、中学生の割合が高い。



3. 学校給食

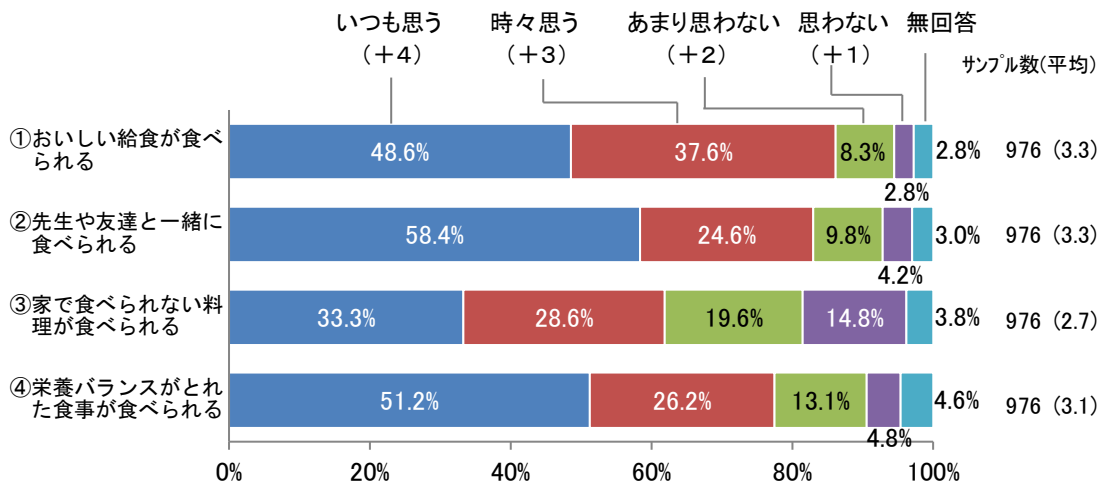
（1）学校給食への思い

学校給食への思いとしては「いつも思う」とする割合が、小学生では「先生や友達と一緒に食べられる」、中学生では「栄養のバランスがとれた食事が食べられる」が最も高い。（小学生 58.4%、中学生 60.0%）

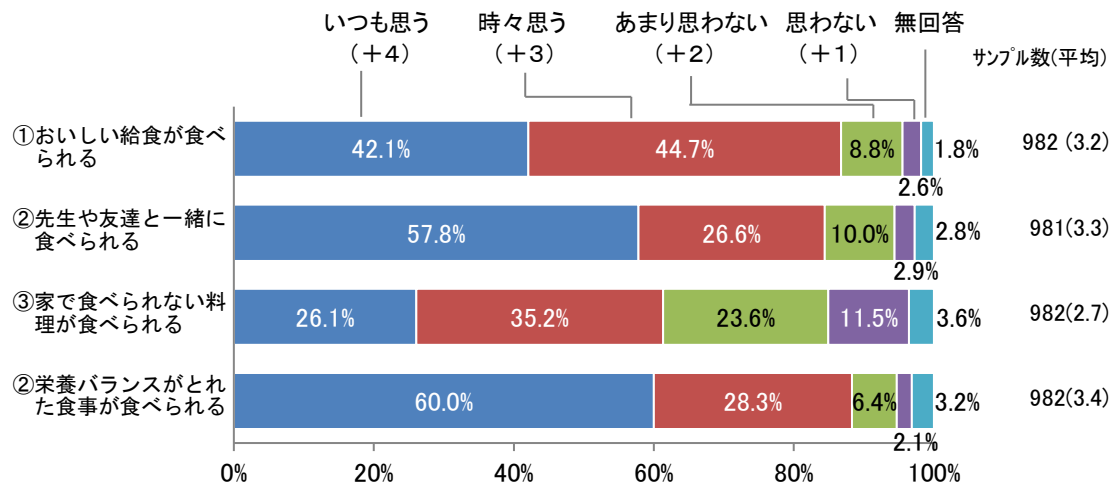
※回答各々に「いつも思う」+4、「時々思う」+3、「あまり思わない」+2、「思わない」+1と点数を与え、平均点を算出している。

学校給食への思い

小学校5年生



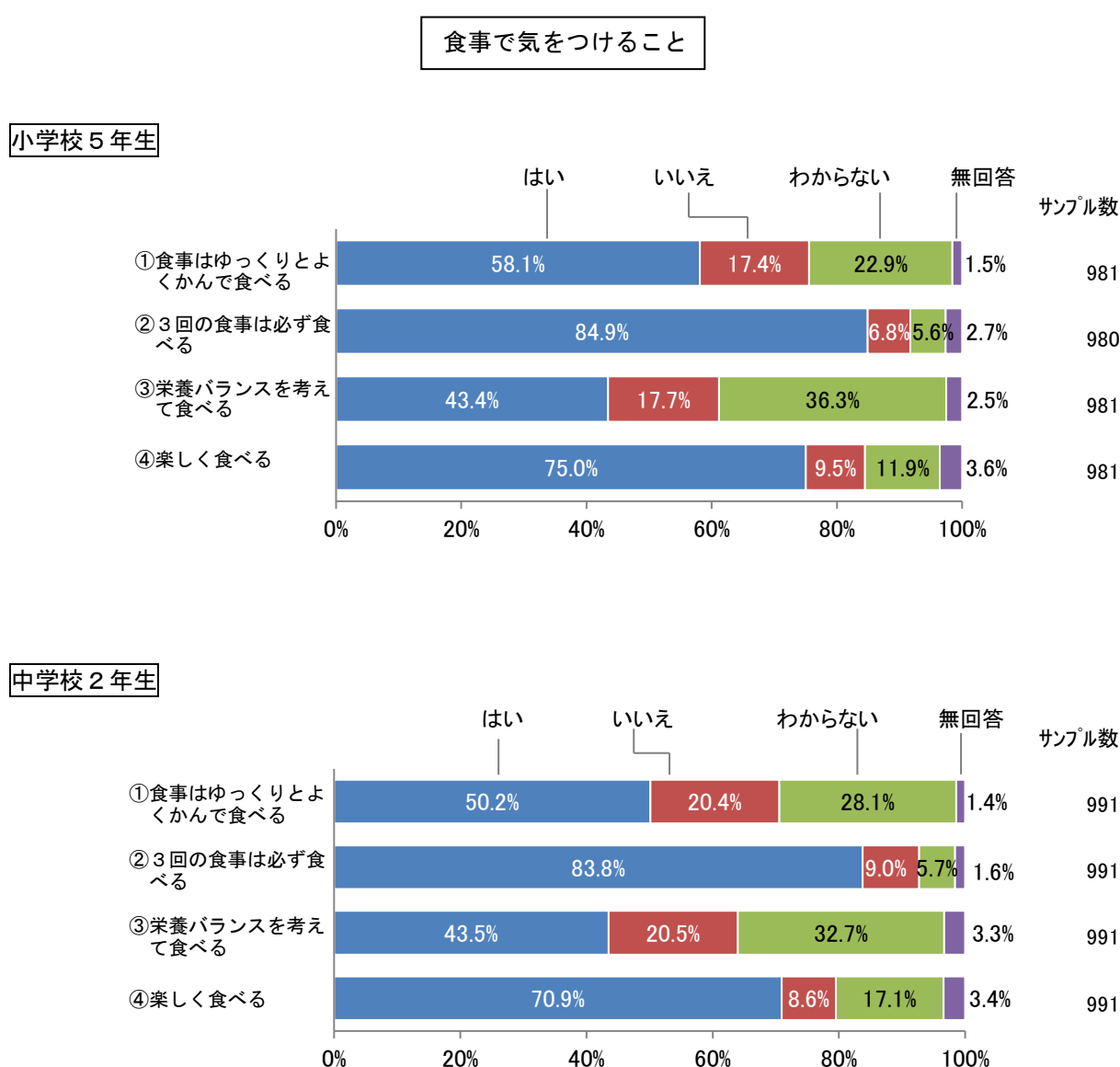
中学校2年生



4. 食に関する知識の実践化

（1）食事で気をつけること

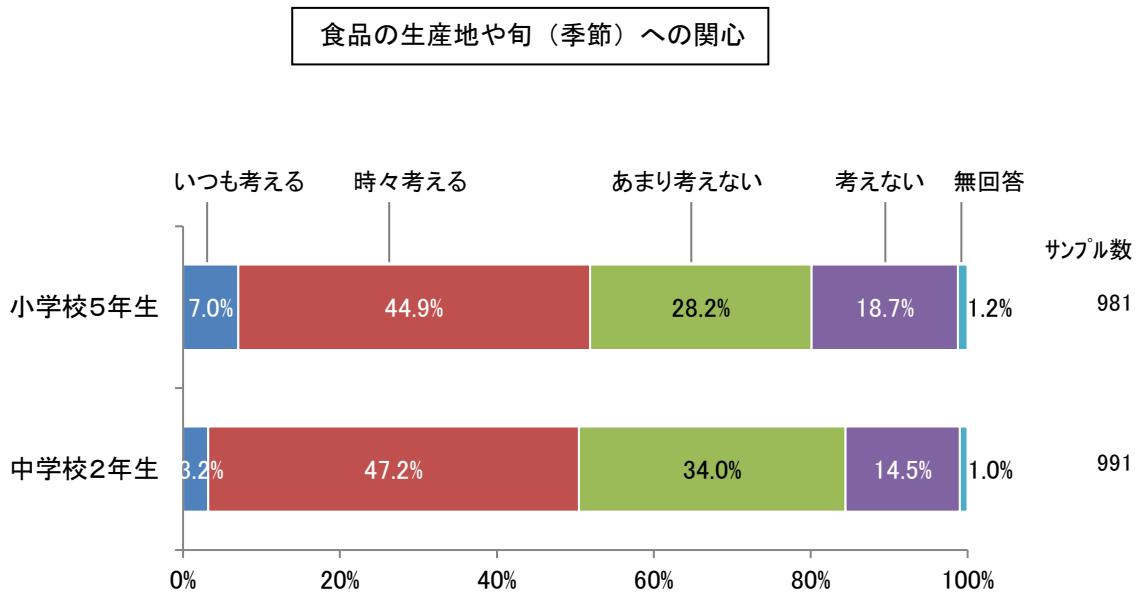
食事で気をつけることについて、「はい（気をつける）」とする割合をみると、小学生、中学生とも「3回の食事は必ず食べる」が最も高く、約8割半となっている。一方、「いいえ（気をつけない）」とする割合をみると、小学生、中学生とも「食事はゆっくりとよく考えて食べる」と「栄養バランスを考えて食べる」とする割合が高く、小学生、中学生とも約2割となっている。



（２）食品に関する知識・関心

① 食品の生産地や旬（季節）への関心

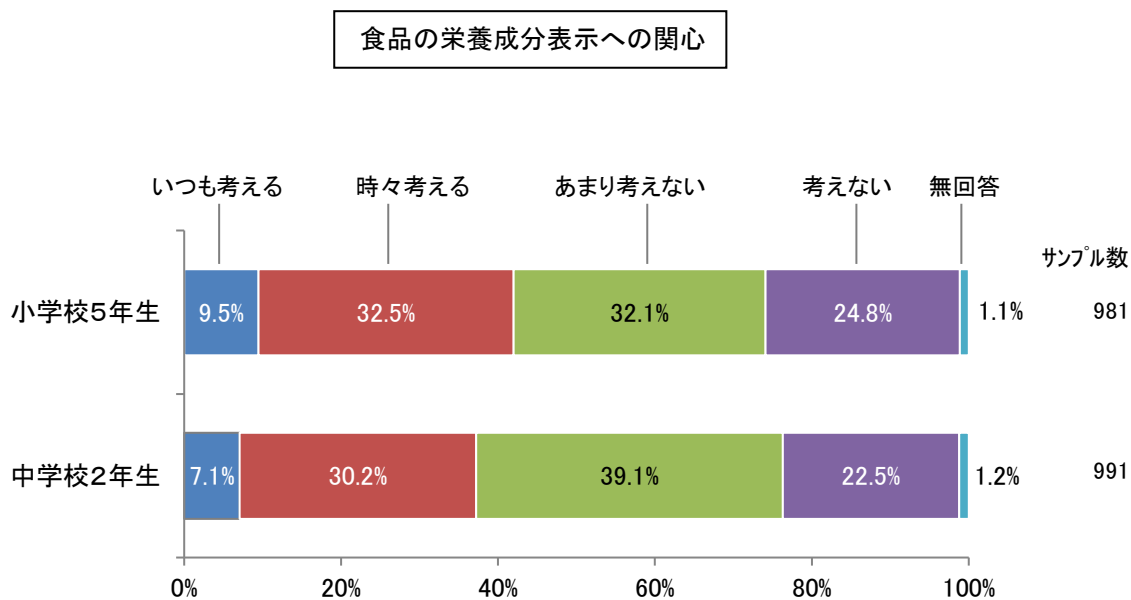
食品の生産地や旬（季節）への関心としては、「いつも考える」と「時々考える」を合わせた「(食品の生産地や旬を)考える」割合をみると、小学校 51.9%、中学校 50.4%となっている。



Ⅲ. 調査結果（単純集計）

② 食品の栄養成分表示への関心

食品の栄養成分表示への関心としては、「いつもしている」と「時々している」を合わせた「(食品の栄養成分表示を参考に) している」割合をみると、小学生 42.0%、中学生 37.3% となっている。



③ 食品の主な働き

食品の主な働きについて、それぞれの食品の正解は、以下のとおりである。

食品	主な働き
ごはん	エネルギーのもとになる
魚	体をつくるもとになる
野菜	体の調子を整えるもとになる
パン	エネルギーのもとになる
牛乳	体をつくるもとになる
果物	体の調子を整えるもとになる

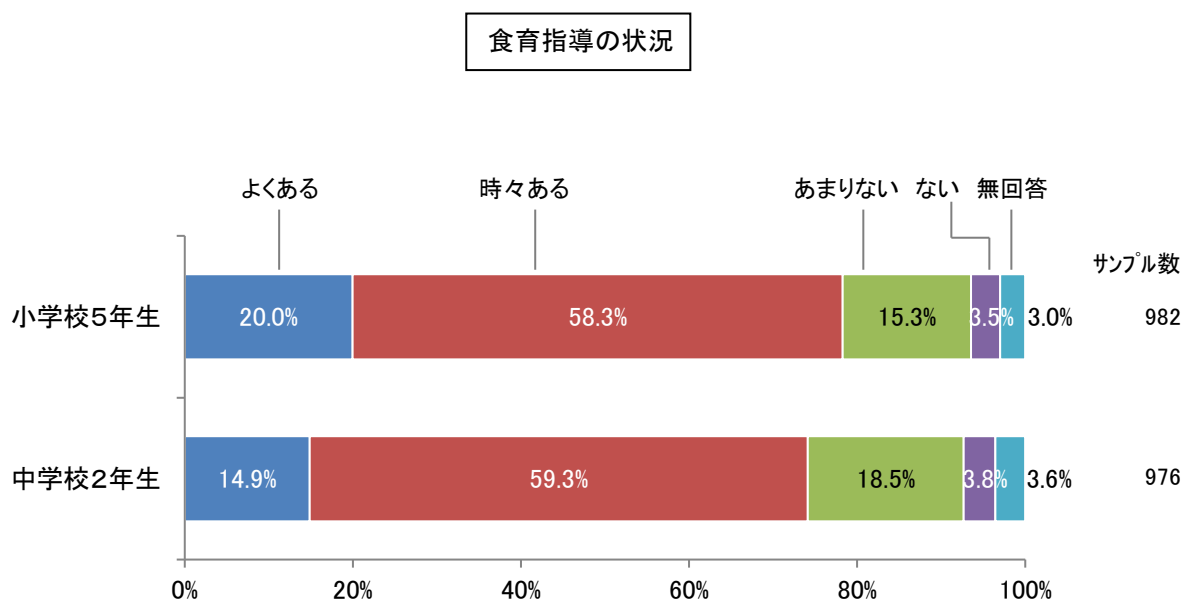
食品の主な働きに関する知識について、正答率をみると、小学生ではいずれの食品においても6割以上の正答率になっている。中学生ではいずれにおいても7割以上の正答率になっている。小学生、中学生とも「野菜」の正答率が高く、小学生の「米飯」、中学生の「牛乳」の正答率が低い。

なお、本内容は、小学校家庭科における「食品の栄養的な特徴を知ること」に関するものであり、調査実施時点での調査対象小学校19校の履修状況は、履修済み校1校、履修中3校、未履修校15校であった。

正答率(%)	米飯	魚	野菜	パン	牛乳	くだもの
小学校5年生	60.5	69.5	83.0	67.1	63.6	63.8
中学校2年生	73.4	82.2	89.9	77.4	71.6	84.4

（3）食育指導の状況

食育指導の状況としては、「よくある」「時々ある」を合わせた「(学校で食に関して学習することが)ある」とする割合をみると、小学生、中学生で約7割半となっている（小学生78.3%、中学生74.2%）。

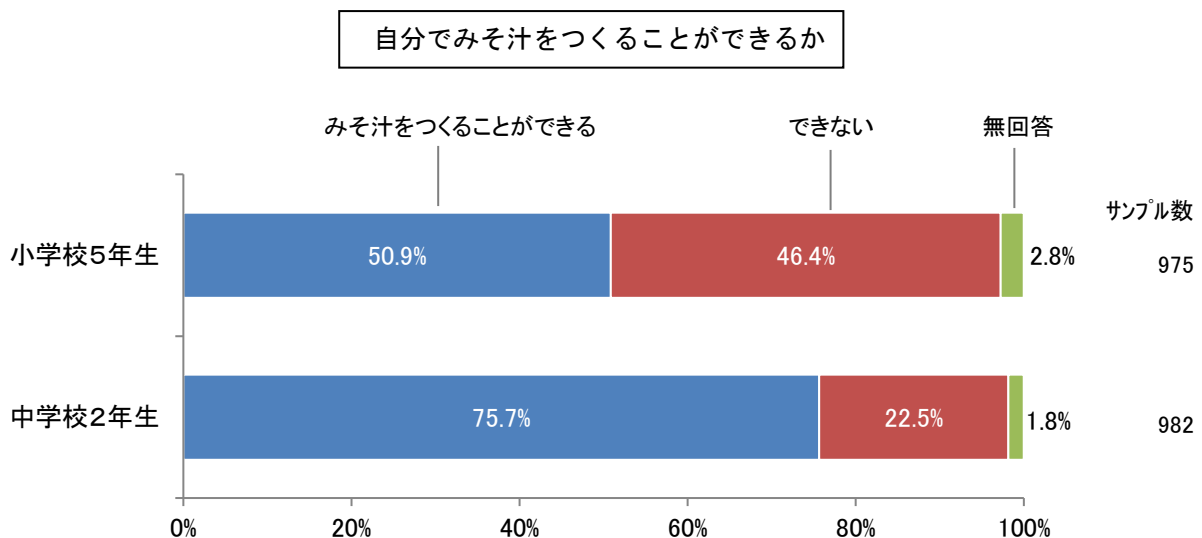
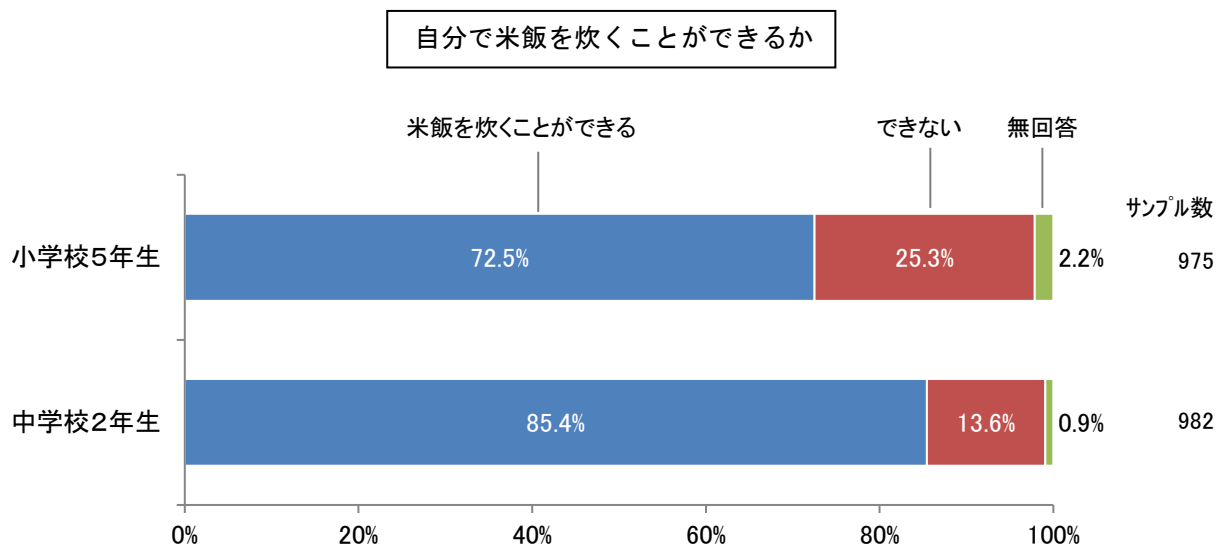


（４）調理状況（米飯及びみそ汁の調理ができるか）

自分で米飯を炊くことができるかについては、小学生で約7割、中学生で約8割半が「(自分で) 米飯を炊くことができる」としている。

自分でみそ汁をつくることができるかについては、小学生で約5割、中学生約7割半が「(自分で) みそ汁をつくることができる」としている。

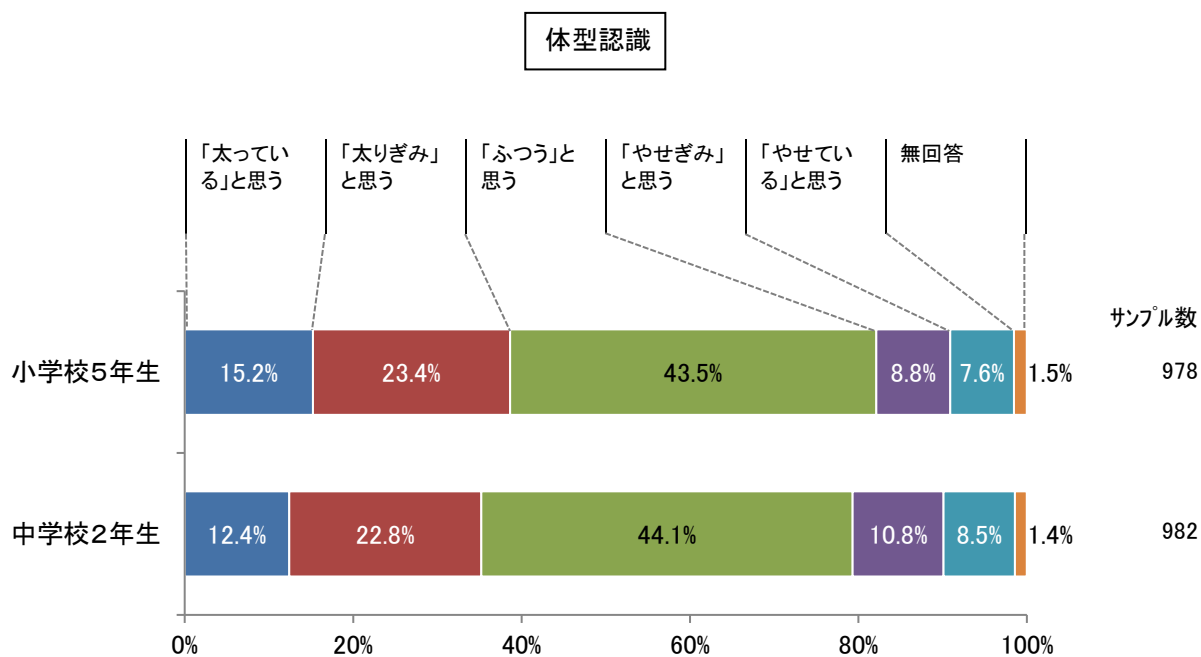
なお、本内容は、小学校家庭科における「米飯及びみそ汁の調理ができること」に関するものである。調査実施時点での調査対象小学校19校の履修状況は、履修済み0校、履修中0校、未履修18校であった。



5. 体型

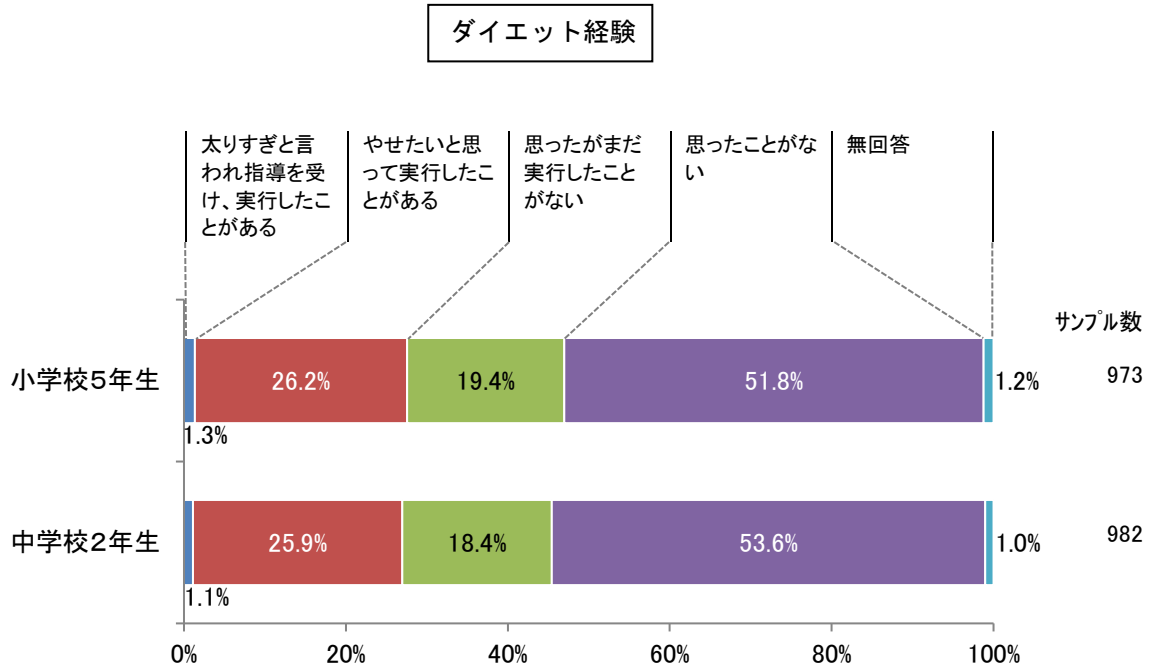
（1）体型認識

自分の体型認識としては、「太っていると思う」と「太りぎみと思う」を合わせた「(自分の体型を) 太りぎみだと思っている」とする割合をみると、小学生 38.6%、中学生 35.2% となっている。



（２）ダイエット経験

ダイエット経験としては、「やせたいと思って実行したことがある」とする割合が、小学生、中学生で約２割半となっている。



IV. 資料

平成30年度群馬県児童生徒の食生活等実態調査【A：小学校5年生】

この調査は、みなさんがどのような食生活をしているかを知り、望ましい食生活のあり方を考えるための資料とするものです。それ以外のことに使いませんのでありのままを正確に教えてください。

- あなた自身のことやあなたの考えに最も近いマーク○をぬりつぶしてください。(HBかBの鉛筆)
○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし
- 書きこみ式の回答は、回答らんからはみ出さないように記入してください。
- この用紙は機械で読み取ります。回答らん以外に書きこみをしたり、用紙をよごしたり、折り目を付けたりしないように注意してください。

- (1) あなたの組と出席番号を記入してください。(身長と体重は、後で先生に記入してもらいます。)

--	--

- (2) あなたは、毎日朝ごはんを食べますか。(1つ回答) N=981 無回答=7

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------|
| <input type="radio"/> 必ず食べる | 875 (89.2%) | <input type="radio"/> 1週間に2～3日食べないことがある | 68 (6.9%) |
| <input type="radio"/> 1週間に4～5日食べないことがある | 10 (1.0%) | <input type="radio"/> ほとんど食べない | 21 (2.1%) |

- (3) (2)で「食べないことがある」「ほとんど食べない」と答えた人は、朝ごはんを食べない理由は何ですか。(1つ回答)

- | | | | | | |
|--------------------------------------|------------|--|----------|-------------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 食欲(しょくよく)がないから | 48 (46.2%) | <input type="radio"/> 太りたくないから・ダイエットしているから | 4 (3.8%) | <input type="radio"/> 時間がないから | N=104 無回答=0
37 (35.6%) |
| <input type="radio"/> いつも食べないから | 2 (1.9%) | <input type="radio"/> 朝ごはんが用意されていないから | 6 (5.8%) | <input type="radio"/> その他 | 7 (6.7%) |

- (4) 今日、朝ごはんを食べた人は、朝ごはんに何を食べましたか。食べたものをすべて選んでください。(複数回答可)

N=981 無回答=0

- | | | | | | |
|---|-------------|--|-------------|--|-------------|
| <input type="radio"/> ごはん | 532 (54.2%) | <input type="radio"/> めん | 41 (4.2%) | <input type="radio"/> パン(食パン・ロールパンなど) | 295 (30.1%) |
| <input type="radio"/> 調理パン(ハンバーガー・サンドイッチなど) | 46 (4.7%) | <input type="radio"/> かしパン(あんパン・メロンパンなど) | 61 (6.2%) | <input type="radio"/> 肉(ハム・ソーセージなど)・魚・卵・大豆製品などのおかず | 402 (41.0%) |
| <input type="radio"/> 野菜のおかず | 221 (22.5%) | <input type="radio"/> くだもの | 154 (15.7%) | <input type="radio"/> みそ汁 | 219 (22.3%) |
| <input type="radio"/> スープ等 | 94 (9.6%) | <input type="radio"/> 牛乳 | 184 (18.8%) | <input type="radio"/> 乳製品(ヨーグルト・チーズなど) | 225 (22.9%) |
| <input type="radio"/> せいりょう飲料水(ジュースなど) | 121 (12.3%) | <input type="radio"/> お茶など甘くない飲み物 | 391 (39.9%) | <input type="radio"/> おかし | 15 (1.5%) |
| <input type="radio"/> その他 | 115 (11.7%) | | | | |

- (5) あなたは、次のようなことに気をつけて食事をしていますか。それぞれについて、「はい」「いいえ」「わからない」のうち、あてはまるものを1つ選んでください。

		はい	いいえ	わからない
1	食事はゆっくりとよくかんで食べる。 N=981 無回答=15	570 (58.1%)	171 (17.4%)	225 (22.9%)
2	3回の食事は必ず食べる。 N=980 無回答=26	832 (84.9%)	67 (6.8%)	55 (5.6%)
3	栄養のバランスを考えて食べる。 N=981 無回答=25	426 (43.4%)	174 (17.7%)	356 (36.3%)
4	楽しく食べる N=981 無回答=35	736 (75.0%)	93 (9.5%)	117 (11.9%)

IV. 資料

- (6) あなたが、食事を楽しんでいるのは、次の中でどのようなときですか。3つまで選んでください。(複数回答可)
N=981 無回答=0
- | | | |
|---|---|---|
| <input type="radio"/> 好きなものを食べるとき 547 (55.8%) | <input type="radio"/> 朝食のとき 21 (2.1%) | <input type="radio"/> 学校給食のとき 256 (26.1%) |
| <input type="radio"/> 夕食のとき 102 (10.4%) | <input type="radio"/> 外食のとき 334 (34.0%) | <input type="radio"/> バーベキューなど屋外で食べるとき 476 (48.5%) |
| <input type="radio"/> 自分で作ったり、手伝ったりしたものを食べるとき 255 (26.0%) | <input type="radio"/> 家族そろって食べるとき 440 (44.9%) | <input type="radio"/> 友だちや地いきのグループの仲間と食べるとき 429 (43.7%) |
| <input type="radio"/> ひとりで食べるとき 40 (4.1%) | <input type="radio"/> その他 20 (2.0%) | |
- (7) あなたは、ふだん食べている食品の生産地や「旬(しゅん)」「季節」などを考えることがありますか。(1つ回答)
N=981 無回答=12
- いつも考える 69 (7.0%) 時々考える 440 (44.9%) あまり考えない 277 (28.2%) 考えない 183 (18.7%)
- (8) あなたは、ふだん外食をするときや食品を買うときに、栄養成分の表示を参考にしますか。(1つ回答)
※「栄養成分表示」とは、おかしや加工食品のふくろにエネルギーやタンパク質などの栄養素をどれくらいふくむかが書いてあるものです。
N=981 無回答=11
- いつも考える 93 (9.5%) 時々考える 319 (32.5%) あまり考えない 315 (32.1%) 考えない 243 (24.8%)
- (9) あなたは、朝ごはんを食べてから夕方ごはんまでの間に、おやつ(せいりょう飲料水などのジュースを飲むこともふくむ)を食べますか。(1つ回答)N=979 無回答=21
- ほとんど毎日2回以上食べる 106 (10.8%) ほとんど毎日1回以上食べる 370 (37.8%) 1週間に4~5日食べる 167 (17.1%)
- 1週間に2~3日食べる 189 (19.3%) ほとんど食べない。 126 (12.9%)
- (10) あなたは、夕方ごはんを食べてからねるまでの間に、夜食(せいりょう飲料水などのジュースを飲むこともふくむ)を食べますか。(1つ回答)N=979 無回答=14
- ほとんど毎日食べる 139 (14.2%) 1週間に4~5日食べる 108 (11.0%) 1週間に2~3日食べる 207 (21.1%)
- ほとんど食べない 511 (52.2%)
- (11) あなたは、好ききらいなく何でも食べますか。(1つ回答)N=981 無回答=10
- 何でも食べる 234 (23.9%) 少し好ききらいがある 585 (59.6%) きらいなものがたくさんある 152 (15.5%)
- (12) (11)で「少し好ききらいがある」「きらいなものがたくさんある」と答えた人は、あなたのきらいな食べ物は何ですか。きらいな食べ物をすべて選んでください。(複数回答可)N=737 無回答=0
- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 色のうすい野菜(きゅうり・キャベツ・たまねぎ・なすなど) 261 (35.4%) | <input type="radio"/> 色のこい野菜(にんじん・ピーマン・ほうれん草・かぼちゃなど) 340 (46.1%) |
| <input type="radio"/> 牛乳 109 (14.8%) | <input type="radio"/> 乳製品(ヨーグルト・チーズ・バターなど) 76 (10.3%) |
| <input type="radio"/> 豆や豆製品(大豆・とうふ・なっとうなど) 171 (23.2%) | <input type="radio"/> きのこと(しいたけ・しめじ・えのきだけ・なめこなど) 338 (45.9%) |
| <input type="radio"/> いも(じゃがいも・さつまいも・さといもなど) 61 (8.3%) | <input type="radio"/> 肉(ぶた肉・とり肉・牛肉・ハム・ウインナーなど) 62 (8.4%) |
| <input type="radio"/> 魚(さんま・いわし・ちくわ・さつまあげなど) 195 (26.5%) | |

(13) (11)で「少し好ききらいがある」「きれいなものがたくさんある」と答えた人は、食事のときどのようにしていますか。(1つ回答) N=743 無回答=0

がまんして食べる 317 (42.7%) 時々食べる 249 (33.5%) 学校では食べるが家では食べない 113 (15.2%) 食べない 64 (8.6%)

(14) 学校では、食に関して学習することがありますか。(1つ回答) N=976 無回答=29

よくある 195 (20.0%) 時々ある 569 (58.3%) あまりない 149 (15.3%) ない 34 (3.5%)

(15) 食品の主な働きには、「おもに体をつくるもとになる」「おもにエネルギーのもとになる」「おもに体の調子を整えるもとになる」があります。次のそれぞれのおもな働きについて、あてはまると思うものを1つ選んでください。

		おもに体をつくるもとになる (赤の食品グループ)	おもにエネルギーのもとになる (黄色の食品グループ)	おもに体の調子を整えるもとになる (緑の食品グループ)
1	米飯 N=973	無回答=28 <input type="radio"/> 316 (32.5%)	<input type="radio"/> 589 (60.5%)	<input type="radio"/> 40 (4.1%)
2	魚 N=972	無回答=22 <input type="radio"/> 676 (69.5%)	<input type="radio"/> 200 (20.6%)	<input type="radio"/> 74 (7.6%)
3	野菜 N=971	無回答=34 <input type="radio"/> 37 (3.8%)	<input type="radio"/> 94 (9.7%)	<input type="radio"/> 806 (83.0%)
4	パン N=974	無回答=60 <input type="radio"/> 211 (21.7%)	<input type="radio"/> 654 (67.1%)	<input type="radio"/> 49 (5.0%)
5	牛乳 N=973	無回答=37 <input type="radio"/> 619 (63.6%)	<input type="radio"/> 245 (25.2%)	<input type="radio"/> 72 (7.4%)
6	くだもの N=973	無回答=52 <input type="radio"/> 94 (9.7%)	<input type="radio"/> 206 (21.2%)	<input type="radio"/> 621 (63.8%)

(16) あなたは学校給食について、どのようなことを思っていますか。それぞれについて、「いつも思う」「時々思う」「あまり思わない」「思わない」のうちあてはまるものを1つ選んでください。

		いつも思う	時々思う	あまり思わない	思わない
1	おいしい給食が食べられる。 N=976 無回答=27	474 (48.6%)	367 (37.6%)	81 (8.3%)	27 (2.8%)
2	先生や友達といっしょに食べられる。 N=976 無回答=29	570 (58.4%)	240 (24.6%)	96 (9.8%)	41 (4.2%)
3	家で食べられない料理が食べられる N=976 無回答=37	325 (33.3%)	279 (28.6%)	191 (19.6%)	144 (14.8%)
4	栄養バランスがとれた食事が食べられる N=976 無回答=45	500 (51.2%)	256 (26.2%)	128 (13.1%)	47 (4.8%)

(17) あなたは、家での食事のとき「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。(1つ回答) N=976 無回答=24

いつもする 743 (76.1%) 時々する 146 (15.0%) あまりしない 36 (3.7%) しない 27 (2.8%)

(18) あなたは、ふだん食事のじゅんぴや片付けで家の人の手伝いをしますか。あてはまるものすべてを選んでください。

(複数回答可) N=981 無回答=0

買い物 383 (39.0%) 料理の手伝い 444 (45.3%) テーブルのじゅんぴ 639 (65.1%) 後かたづけ 610 (62.2%)
 食器洗い 301 (30.7%) その他 170 (17.3%) していない 72 (7.3%)

(19) あなたは、「朝ごはん」のとき、いつもどのように食事をしていますか。(1つ回答) N=972 無回答=13

家族そろって食べる 232 (23.9%) 大人の家族のだけかと食べる 250 (25.7%) 子どもだけ(兄弟・姉妹)で食べる 253 (26.0%)
 一人で食べる 155 (15.9%) その他 69 (7.1%)

IV. 資料

(20) あなたは、「夕ごはん」のとき、いつもどのように食事をしていますか。(1つ回答) N=971 無回答=34

- 家族そろって食べる
 一人で食べる
 大人の家族のだけかと食べる
 その他
 子どもだけ(兄弟・姉妹)で食べる
- 532 (54.8%)
 25 (2.6%)
 279 (28.7%)
 56 (5.8%)
 45 (4.6%)

(21) あなたは、自分で米飯をたいたり、みそしるを作ったりすることができますか。それぞれについて、1つ選んでください。

(1つ回答)

		作ることができる	できない
1	米飯 N=975 無回答=21	<input type="radio"/> 707 (72.5%)	<input type="radio"/> 247 (25.3%)
2	みそしる N=975 無回答=27	<input type="radio"/> 496 (50.9%)	<input type="radio"/> 452 (46.4%)

(22) あなたは、ふだん(学校のある日)の夜は、何時ごろにねることが多いですか。(1つ回答) N=975 無回答=9

- 8時台
 午前0時台
 9時台
 午前1時より後
 10時台
 その他
 11時台
- 48 (4.9%)
 19 (1.9%)
 377 (38.7%)
 14 (1.4%)
 387 (39.7%)
 7 (0.7%)
 114 (11.7%)

(23) あなたは、いつものすいみんで休養が十分とれていると思いますか。(1つ回答) N=975 無回答=15

- 十分とれている
 まあとれている
 あまりとれていない
 まったくとれていない
 わからない
- 315 (32.3%)
 423 (43.4%)
 112 (11.5%)
 32 (3.3%)
 78 (8.0%)

(24) あなたは、毎日、便(うんち)がでますか。(1つ回答) N=975 無回答=21

- 毎日、同じころにでる
 毎日でもでないことがある
 毎日でもでないことがある
 毎日でもでないことがある
- 161 (16.5%)
 51 (5.2%)
 468 (48.0%)
 274 (28.1%)

(25) あなたは、現在の自分の体型についてどう思いますか。(1つ回答) N=978 無回答=15

- 「太っている」と思う
 「やせぎみ」と思う
 「やせている」と思う
 「太りぎみ」と思う
 「ふつう」と思う
- 149 (15.2%)
 86 (8.8%)
 74 (7.6%)
 229 (23.4%)
 425 (43.5%)

(26) あなたは、「体重を減らしたい」と思ったり、「減らすための努力や経験」をしたりしたことがありますか。(1つ回答)

- 太りすぎと医師や先生に言われ、指導を受けて実行したことがある
 したいと思っただが、まだ実行したことがない
 やせたいと思って実行したことがある
 思ったことがない
- 13 (1.3%)
 189 (19.4%)
 255 (26.2%)
 504 (51.8%)

(27) あなたは、運動やスポーツをどのくらいしていますか。(学校の授業をのぞきます)(1つ回答) N=975 無回答=12

- ほとんど毎日(週に3日以上)
 たまに(月に1日~3日くらい)
 時々(週に1~2日くらい)
 ほとんどしない
- 554 (56.8%)
 80 (8.2%)
 260 (26.7%)
 69 (7.1%)

ご協力ありがとうございました。

平成30年度群馬県児童生徒の食生活等実態調査【B：中学校2年生】

この調査は、みなさんがどのような食生活をしているかを知り、望ましい食生活のあり方を考えるための資料とするものです。それ以外のことに使いませんのでありのままを正確に教えてください。

- あなた自身のことやあなたの考えに最も近いマーク○をぬりつぶしてください。(HBかBの鉛筆)
○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし
- 書きこみ式の回答は、回答らんからはみ出さないように記入してください。
- この用紙は機械で読み取ります。回答らん以外に書きこみをしたり、用紙をよごしたり、折り目を付けたりしないように注意してください。

- (1) あなたの組と出席番号を記入してください。(身長と体重は、後で先生に記入してもらいます。)

- (2) あなたは、毎日朝ごはんを食べますか。(1つ回答) N=990 無回答=9

- 必ず食べる 847 (85.6%) ○ 1週間に2～3日食べないことがある 105 (10.6%)
○ 1週間に4～5日食べないことがある 14 (1.4%) ○ ほとんど食べない 15 (1.5%)

- (3) (2)で「食べないことがある」「ほとんど食べない」と答えた人は、朝ごはんを食べない理由は何ですか。(1つ回答)

- 食欲がないから 50 (37.3%) ○ 太りたくないから・ダイエットしているから 2 (1.5%) ○ 時間がないから N=134 無回答=8
○ いつも食べないから 5 (3.7%) ○ 朝ごはんが用意されていないから 0 (0%) ○ その他 14 (10.4%)

- (4) 今日、朝ごはんを食べた人は、朝ごはんに何を食べましたか。食べたものをすべて選んでください。(複数回答可)

N=991 無回答=0

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|--|
| ○ ごはん 544 (54.9%) | ○ めん 26 (2.6%) | ○ パン(食パン・ロールパンなど) 312 (31.5%) |
| ○ 調理パン(ハンバーガー・サンドイッチなど) 51 (5.1%) | ○ 菓子パン(あんパン・メロンパンなど) 75 (7.6%) | ○ 肉(ハム・ソーセージなど)・魚・卵・大豆製品などのおかず 485 (48.9%) |
| ○ 野菜のおかず 193 (19.5%) | ○ くだもの 147 (14.8%) | ○ みそ汁 207 (20.9%) |
| ○ スープ等 118 (11.9%) | ○ 牛乳 204 (20.6%) | ○ 乳製品(ヨーグルト・チーズなど) 226 (22.8%) |
| ○ 清涼飲料水(ジュースなど) 118 (11.9%) | ○ お茶など甘くない飲み物 398 (40.2%) | ○ おかし 13 (1.3%) |
| ○ その他 77 (7.8%) | | |

- (5) あなたは、次のようなことに気をつけて食事をしていますか。それぞれの項目ごとに、「はい」「いいえ」「わからない」のうち、あてはまるものを1つ選んでください。

		はい	いいえ	わからない
1	食事はゆっくりとよくかんで食べる。 N=991 無回答=14	497 (50.2%)	202 (20.4%)	278 (28.1%)
2	3回の食事は必ず食べる。 N=991 無回答=16	830 (83.8%)	89 (9.0%)	56 (5.7%)
3	栄養のバランスを考えて食べる。 N=991 無回答=33	431 (43.5%)	203 (20.5%)	324 (32.7%)
4	楽しく食べる N=991 無回答=34	703 (70.9%)	85 (8.6%)	169 (17.1%)

IV. 資料

- (6) あなたが、食事を楽しいと感じるのは、次の中でどのようなときですか。3つまで選んでください。(複数回答可)
N=991 無回答=0
- | | | | | | |
|--|-------------|----------------------------------|-------------|---|-------------|
| <input type="radio"/> 好きなものを食べる時 | 650 (65.6%) | <input type="radio"/> 朝食のとき | 9 (0.9%) | <input type="radio"/> 学校給食のとき | 276 (27.9%) |
| <input type="radio"/> 夕食のとき | 116 (11.7%) | <input type="radio"/> 外食のとき | 337 (34.0%) | <input type="radio"/> バーベキューなど屋外で食べる時 | 439 (44.3%) |
| <input type="radio"/> 自分で作ったり、手伝ったりしたものを食べる時 | 135 (13.6%) | <input type="radio"/> 家族そろって食べる時 | 310 (31.3%) | <input type="radio"/> 友だちや地域のグループの仲間と食べる時 | 497 (50.2%) |
| <input type="radio"/> ひとりで食べる時 | 68 (6.9%) | <input type="radio"/> その他 | 18 (1.8%) | | |
- (7) あなたは、ふだん食べている食品の生産地や「旬(しゅん)」「季節」などを考えることがありますか。(1つ回答)
N=991 無回答=10
- いつも考える 32 (3.2%) 時々考える 468 (47.2%) あまり考えない 337 (34.0%) 考えない 144 (14.5%)
- (8) あなたは、ふだん外食をするときや食品を買うときに、栄養成分の表示を参考にしますか。(1つ回答) N=991 無回答=12
※「栄養成分表示」とは、お菓子や加工食品の袋にエネルギーやタンパク質などの栄養素をどれくらいふくむかが書いてあるものです。
- いつも考える 70 (7.1%) 時々考える 299 (30.2%) あまり考えない 387 (39.1%) 考えない 223 (22.5%)
- (9) あなたは、朝ごはんを食べてから夕ごはんまでの間に、おやつ(清涼飲料水などのジュースを飲むこともふくむ)を食べますか。(1つ回答) N=991 無回答=9
- | | | | | | |
|-------------------------------------|-------------|-------------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------|
| <input type="radio"/> ほとんど毎日2回以上食べる | 100 (10.1%) | <input type="radio"/> ほとんど毎日1回以上食べる | 308 (31.1%) | <input type="radio"/> 1週間に4~5日食べる | 184 (18.6%) |
| <input type="radio"/> 1週間に2~3日食べる | 239 (24.1%) | <input type="radio"/> ほとんど食べない。 | 151 (15.2%) | | |
- (10) あなたは、夕ごはんを食べてから寝るまでの間に、夜食(清涼飲料水などのジュースを飲むこともふくむ)を食べますか。(1つ回答) N=991 無回答=10
- | | | | | | |
|---------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------|-------------|
| <input type="radio"/> ほとんど毎日食べる | 126 (12.7%) | <input type="radio"/> 1週間に4~5日食べる | 101 (10.2%) | <input type="radio"/> 1週間に2~3日食べる | 279 (28.2%) |
| <input type="radio"/> ほとんど食べない | 475 (47.9%) | | | | |
- (11) あなたは、好ききらいなく何でも食べますか。(1つ回答) N=991 無回答=14
- 何でも食べる 301 (30.4%) 少し好ききらいがある 542 (54.7%) きらいなものがたくさんある 134 (13.5%)
- (12) (11)で「少し好ききらいがある」「きらいなものがたくさんある」と答えた人は、あなたのきらいな食べ物は何ですか。きらいな食べ物をすべて選んでください。(複数回答可) N=676 無回答=0
- | | | | |
|--|-------------|---|-------------|
| <input type="radio"/> 色のうすい淡色野菜(きゅうり・キャベツ・たまねぎ・なすなど) | 168 (24.9%) | <input type="radio"/> 色のこい緑黄色野菜(にんじん・ピーマン・ほうれん草・かぼちゃなど) | 308 (45.6%) |
| <input type="radio"/> 牛乳 | 85 (12.6%) | <input type="radio"/> 乳製品(ヨーグルト・チーズ・バターなど) | 50 (7.4%) |
| <input type="radio"/> 豆や豆製品(大豆・とうふ・なっとうなど) | 161 (23.8%) | <input type="radio"/> きのこと(しいたけ・しめじ・えのきだけ・なめこなど) | 257 (38.0%) |
| <input type="radio"/> いも(じゃがいも・さつまいも・さといもなど) | 33 (4.9%) | <input type="radio"/> 肉(豚肉・とり肉・牛肉・ハム・ウインナーなど) | 34 (5.0%) |
| <input type="radio"/> 魚(さんま・いわし・ちくわ・さつまあげなど) | 136 (20.1%) | | |

(13) (11)で「少し好ききらいがある」「きれいなものがたくさんある」と答えた人は、食事のときどのようにしていますか。(1つ回答) N=676 無回答=7

がまんして食べる 236 (34.9%) 時々食べる 239 (35.4%) 学校では食べるが家では食べない 107 (15.8%) 食べない 87 (12.9%)

(14) 学校では、食に関して学習することがあります。 (1つ回答) N=982 無回答=35

よくある 146 (14.9%) 時々ある 582 (59.3%) あまりない 182 (18.5%) ない 37 (3.8%)

(15) 食品の主な働きには、「おもに体をつくるもとになる」「おもにエネルギーのもとになる」「おもに体の調子を整えるもとになる」があります。次のそれぞれのおもな働きについて、あてはまると思うものを1つ選んでください。

		おもに体をつくるもとになる (赤の食品グループ)	おもにエネルギーのもとになる (黄色の食品グループ)	おもに体の調子を整えるもとになる (緑の食品グループ)
1	米飯	N=982 無回答=28 <input type="radio"/> 227 (23.1%)	<input type="radio"/> 721 (73.4%)	<input type="radio"/> 6 (0.6%)
2	魚	N=982 無回答=29 <input type="radio"/> 807 (82.2%)	<input type="radio"/> 121 (12.3%)	<input type="radio"/> 25 (2.5%)
3	野菜	N=980 無回答=41 <input type="radio"/> 18 (1.8%)	<input type="radio"/> 40 (4.1%)	<input type="radio"/> 881 (89.9%)
4	パン	N=982 無回答=45 <input type="radio"/> 163 (16.6%)	<input type="radio"/> 760 (77.4%)	<input type="radio"/> 14 (1.4%)
5	牛乳	N=982 無回答=40 <input type="radio"/> 703 (71.6%)	<input type="radio"/> 182 (18.5%)	<input type="radio"/> 57 (5.8%)
6	くだもの	N=982 無回答=40 <input type="radio"/> 22 (2.2%)	<input type="radio"/> 91 (9.3%)	<input type="radio"/> 829 (84.4%)

(16) あなたは学校給食について、どのようなことを思っていますか。それぞれの項目について、「いつも思う」「時々思う」「あまり思わない」「思わない」のうちあてはまるものを1つ選んでください。 N=976 無回答=0

		いつも思う	時々思う	あまり思わない	思わない
1	おいしい給食が食べられる。	N=982 無回答=18 <input type="radio"/> 413 (42.1%)	<input type="radio"/> 439 (44.7%)	<input type="radio"/> 86 (8.8%)	<input type="radio"/> 26 (2.6%)
2	先生や友達といっしょに食べられる。	N=981 無回答=27 <input type="radio"/> 567 (57.8%)	<input type="radio"/> 261 (26.6%)	<input type="radio"/> 98 (10.0%)	<input type="radio"/> 28 (2.9%)
3	家で食べられない料理が食べられる	N=982 無回答=35 <input type="radio"/> 256 (26.1%)	<input type="radio"/> 346 (35.2%)	<input type="radio"/> 232 (23.6%)	<input type="radio"/> 113 (11.5%)
4	栄養バランスがとれた食事が食べられる	N=982 無回答=31 <input type="radio"/> 589 (60.0%)	<input type="radio"/> 278 (28.3%)	<input type="radio"/> 63 (6.4%)	<input type="radio"/> 21 (2.1%)

(17) あなたは、家での食事のとき「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。(1つ回答) N=982 無回答=25

いつもする 706 (71.9%) 時々する 155 (15.8%) あまりしない 55 (5.6%) しない 41 (4.2%)

(18) あなたは、ふだん食事の準備や片付けで家の人の手伝いをしますか。あてはまるものすべてを選んでください。

(複数回答可) N=991 無回答=0

買い物 238 (24.0%) 料理の手伝い 242 (24.4%) テーブルのじゅんぴ 582 (58.7%) 後かたづけ 657 (66.3%)
 食器あらい 202 (20.4%) その他 91 (9.2%) していない 101 (10.2%)

(19) あなたは、「朝ごはん」のとき、いつもどのように食事をしていますか。(1つ回答) N=981 無回答=39

家族そろって食べる 187 (19.1%) 大人の家族の誰かと食べる 192 (19.6%) 子どもだけ(兄弟・姉妹)で食べる 183 (18.7%)
 一人で食べる 327 (33.3%) その他 53 (5.4%)

群馬県児童生徒の食生活等実態調査
結果報告書

平成31年3月発行

発行・編集 群馬県教育委員会
健康体育課
住 所 〒371-8570
群馬県前橋市大手町 1-1-1
電 話 027(226)4709
F A X 027(224)8780
